目　　次

第１章　授業アーカイブ・・・

第２章　授業アーカイブの実践・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８９
１　英国教育の概要
１．教育改革の概要
２．教育行政の概要
３．日本との共通点・相違点

２　英国の授業における授業アーカイブ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９８
（１）学校の概要
（２）学校のカリキュラム
（３）授業資料
（４）授業分析結果

第３章　今後の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７１

参考文献・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７３

関係論文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７５
（１）久世・斎藤・松本・川田：学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【Ｖ】
－実践的な教師力を養成するための教材研究－（2009.7）　日本教育情報学会
（２）市川・丸山・斎藤・松本・久世：学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【Ｘ】
－授業研究のための多視点映像教材の開発－（2009.11）　日本教育情報学会
（３）齋藤・久世・長慶寺・阿部・松井・二ノ宮・水端：我が国と諸外国における授業のビデオ分析と教員養成への活用効果に関する研究【Ｉ】～英国の授業デザイン分析手法の開発～（2010.7）日本教育情報学会
（４）長慶寺・阿部・松井・二ノ宮・水端・齋藤・久世：学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【１６】－授業分析に必要な教育資料の構成と総合化－（2010.11）　日本教育情報学会
（５）阿部・長慶寺・松井・二ノ宮・水端・齋藤・久世：学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【１７】－多視点映像教材の流通と授業への活用－（2010.11）　日本教育情報学会

第１章　授業アーカイブ

１．　授業アーカイブ

授業アーカイブとは，行われた授業の記録とともに，授業研究に関連する情報を総合的に記録し，管理し，保管していく手法である．授業研究は，授業分析をはじめとする授業改善への取り組みである．授業研究をすることにより，教師の「暗黙知」の獲得が促進され，実践的な授業力の向上へとつながる．その認識を広げるため，また後世へ伝えるために，現代における優れた授業の授業アーカイブを行う．

授業研究においては，授業を撮影したビデオ映像を対象に分析を行うことが重要である．多くの授業研究では，授業ビデオから教師や学習者の発話等を文字によって表記したプロトコルを作成し，発話内容や行動をカテゴリーに分類し（コーディング），授業における教師や学習者の相互作用を分析したり，教授=学習過程におけるコミュニケーションのパターンを見出したりする作業を行う．そのような授業分析を通して授業改善を繰り返していくことが重要であると同時に，長期保存を考えた授業アーカイブにおける関連教育資料を構成することが必要である．

１．教員に求められる実践的指導力

教職の専門性とその中核をなす「実践的指導力」は，大学における養成教育→教育現場での初任者研修→現職研修の各段階を通じて獲得され，形成される．そのうち大学における養成教育は，その位置づけと性格からみて「完成教育」ではありえず，あくまでも「準備教育」にとどまらざるを得ない．言い換えれば，教職の専門性と「実践的指導力」は，実際に子どもと向き合いながら教育実践を重ね，教師集団のなかで相互に授業分析をし合うことを通じて，本格的に，そしてより豊かに形成されていくものである．

また，学習指導要領に示された，教育のねらいである「生きる力」を育成するためには，教科の授業を中心にして，知の側面である「確かな学力」の定着を図ることが求められている．そのためには，授業を行う教師自身の授業力の向上が不可欠である．授業力の向上には，一人ひとりが自らの授業を振り返り，課題を明らかにし，授業改善に努めることが必要である．そのために授業分析が重要な役割を果たす．

日本の教育現場において，授業研究は，様々な授業分析の成果を残し，研修方法として長年注目され，発展してきた．今日においては日本の授業研究は，世界に広がっている．「時代の変遷とともに子どもが変わり，保護者が変わり，既存の授業方法が成立しにくくなっている今日において，授業研究こそが，教師の実践的力量を育むために求められる研

修方法」（千々布敏弥 2005）である．

平成 22 年 10 月，東京都教育委員会では「小学校教諭教職課程カリキュラムについて」を発表した．その中の「東京都教育委員会が求める教師として最小限必要な資質・能力」において，３領域「①教師の在り方に関する領域」「②各教科等における実践的な指導力に関する領域」「③学級経営に関する領域」を示し，「到達目標」「内容」について背景や趣旨，大学の講義，教育実習等における指導方法等を具体的に示している．この領域②（6）「授業力向上と授業改善」において，到達目標に「授業力を構成する要素や，授業力向上のための PDCA サイクルを理解し，自己の授業実践を改善できる方法を身に付けている．」が示された．このように，実践的な指導力を身に付けるために授業研究方法の習得の必要性が述べられている．

現在に至るまで，多くの優れた授業者は授業研究を行ってきており，その方法も多様に開発されてきた．これまでの授業研究は，主に音声のみや単視点の映像を基に行われてきたものが多いが，それだけでは授業全体の様子が分からない．しかし，音声や正面からの映像だけでなく，児童生徒の学ぶ姿を併せて授業を丸ごと記録できると，授業改善に向けてより多くのことに気付けるはずである．このように，授業研究において重要な段階である授業分析では，授業の様子を記録した音声やビデオ映像という事実を基に作業を行うことが重要である．また，後世に授業の様子や優れた授業技術を伝えていくという点で授業アーカイブの重要性を考えた．そこで，本研究では，それらの記録を何十年，何百年後の授業研究の際にも活用していくために，授業を多視点で撮影した映像を基に，様々な授業分析の方法を用いて授業を実際にデジタル・アーカイブし，長期保存を考えた授業アーカイブにおける関連教育資料の構成と総合化について研究した．

また，授業分析を踏まえた授業改善の取組は，教員養成の段階として行うことは勿論であるが，大学としても授業アーカイブを組織的に行い，授業分析の課題やその成果を共有することが重要である．いつ・どこで・誰が・どんな授業を行って，どんな特徴や効果があったのかを検討し，よりよい授業づくりに向けて，示唆を得られるよう授業者は努力を重ねたい．

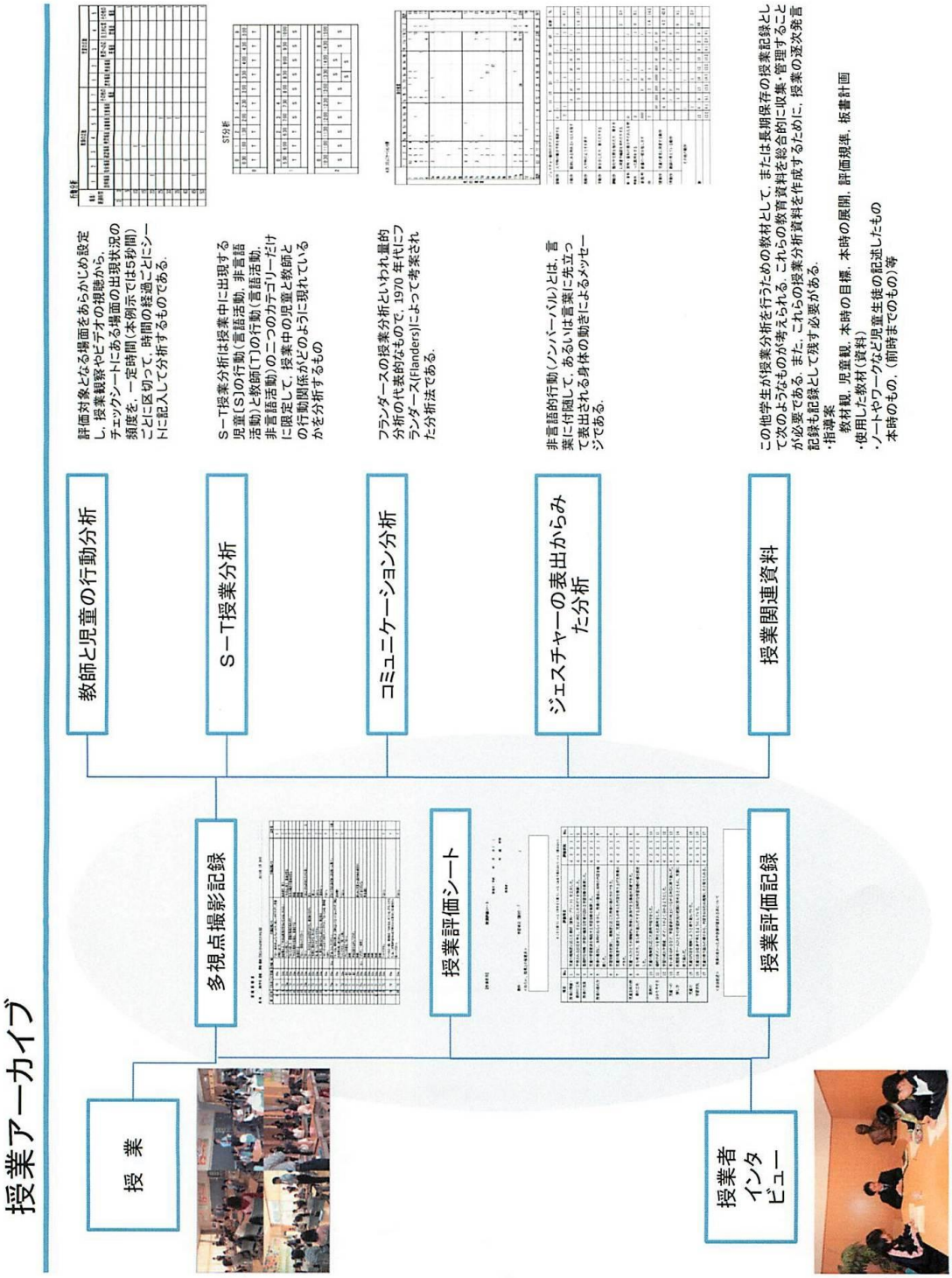

授業アーカイブ
授　業
多視点撮影記録
授業評価シート
授業評価記録
授業者インタビュー
教師と児童の行動分析
S－T授業分析
コミュニケーション分析
ジェスチャーの表出からみた分析
授業関連資料
評価対象となる場面をあらかじめ設定し，授業観察やビデオの視聴から，チェックシートにある場面の出現状況の頻度を，一定時間（本例示では5秒間）ごとに区切って，時間の経過ごとにシートに記入して分析するものである．
S－T授業分析は授業中に出現する児童（S）の行動（言語活動，非言語活動）と教師（T）の行動（言語活動，非言語活動）の二つのカテゴリーだけに限定して，授業中の児童と教師との行動関係がどのように現れているかを分析するもの
フランダースの授業分析といわれ量的分析の代表的なもので，1970年代にフランダース（Flanders）によって考案された分析法である．
非言語的行動（ノンバーバル）とは，言葉に付随して，あるいは言葉に先立って表出される身体の動きによるメッセージである．
この他学生が授業分析を行うための教材として，または長期保存の授業記録として次のようなものが考えられる．これらの教育資料を総合的に収集・管理することが必要である．また，これらの授業分析資料を作成するために，授業の逐次発言記録も記録として残す必要がある．
・指導案
教材観，児童観，本時の目標，本時の展開，評価規準，板書計画
・使用した教材（資料）
・ノートやワークなど児童生徒の記述したもの
本時のもの，（前時までのもの）等

図１　授業アーカイブ

２．授業アーカイブのための関連教育資料

様々な授業を記録・管理・保管する授業アーカイブでは，ビデオ映像だけをアーカイブしても意味がない．その授業について背景等の情報が必要不可欠である．いつ・どこで・誰が・どんな計画をし，どんな思いをもって授業を行ったのか，ということや時代背景等の情報を知ることができると，授業を見る視点がより深まるはずである．そのためには，その授業を記録するための関連教育資料の整備が重要になる．特に，何十年，何百年後にも優れた授業を残していくことを考えると，それらの整理・管理された情報の存在は重要な意味を持つ．

授業アーカイブの大きな目的は，教師の授業力向上と授業改善である．授業を改善へと導くためには，関連教育資料をマネジメントサイクルで構成していくことが必要である．マネジメントサイクルとは，目的を達成するために，多元的に計画し，計画通りに実行できたのかを評価し，次期への行動計画へと結びつける一連の管理システムである．

次のように，典型的なマネジメントサイクルである「ＰＤＣＡサイクル」を基本に，関連教育資料の構成を考えた．例示したものは，アーカイブする関連教育資料として考えられるものである．

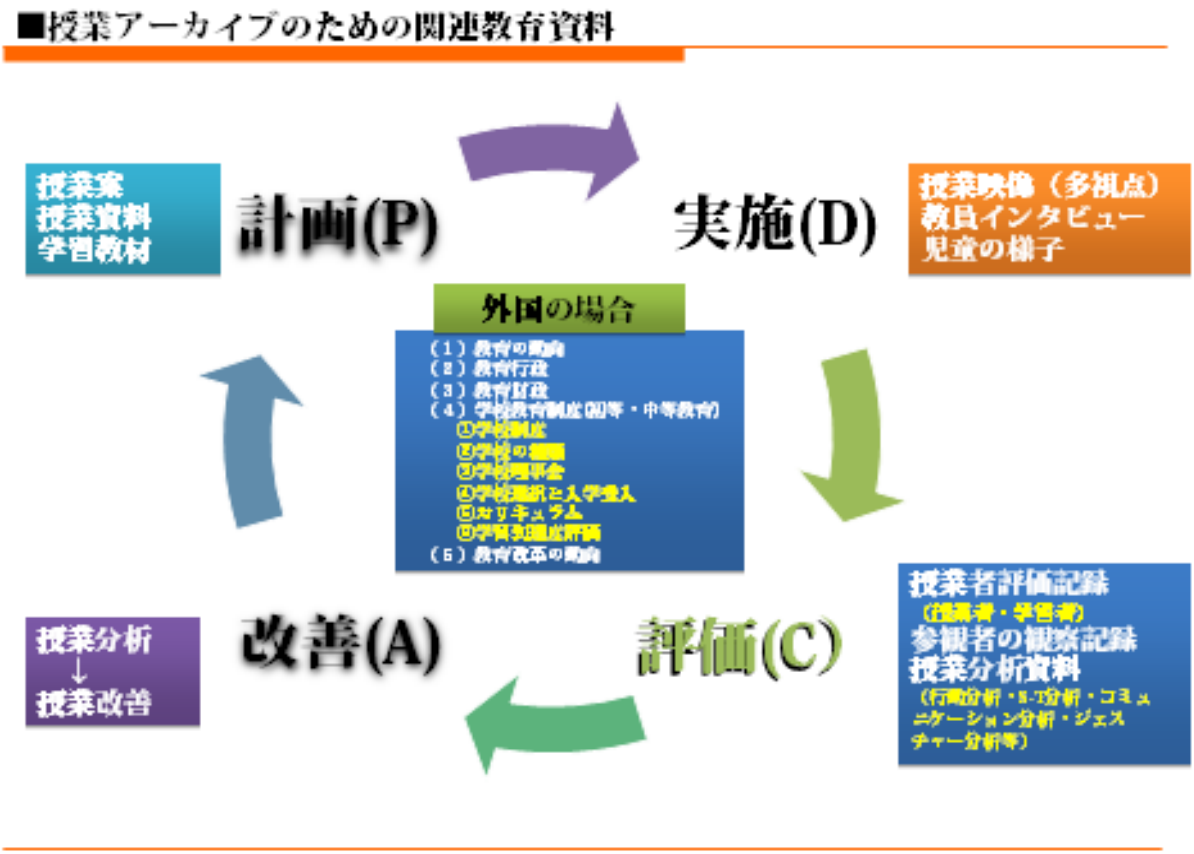


図２　授業アーカイブのための関連教育資料

① 計画（P）段階

授業を行うために授業全体を組み立てる．学習指導案や板書計画などが必要となる．

例：学習指導案・板書計画・教材・テキスト・指導者に関する資料

② 実施（D）段階

授業を実施する．そして授業分析のための資料収集を行う．授業は一過性の面があり，一見しただけでは捉えにくいものである．そこで授業の事実を捉えるために，文字化された記録だけでなく，メディアによる記録も収集し，分析の際に事実がはっきりと分かるようにする．

例：授業実践の記録（多視点映像教材・逐次言語記録）・データ化した授業活動の記録

③ 評価（C）段階

授業分析はこの段階で行われる．収集した授業記録に基づき，一つひとつの事実が持つ意味を明らかにすることを通して，授業における課題を明らかにする．課題を明らかにすることで授業改善が図れるとともに，授業を行うための力量の向上が図れる．従って，授業分析は授業研究において大切な位置を占める．

例：各種分析データの記録・評価カード

④ 改善（A）段階

成果と課題に基づいて具体的な改善策を考える．

例：授業改善のための資料，得られた情報・改善策を活かした実践報告の記録

３．関連教育資料の構成

授業分析は授業という事実に基づいて行われるため，授業を振り返ることができる客観的な資料を収集しておく必要がある．授業研究会では，授業者の力量が高いにもかかわらず，参観者に見せることを意識して，子どもの追究が甘くなってしまった授業，授業に多数の問題がありながらも，参会者から賛辞の言葉しか挙がってこない事後研究会，参観者の間で見解の相違がありながら，追究することなく終わってしまう事後研究会などが見られることが多い．授業分析をするとき，資料を何も用意せずに，授業場面を思い出すだけでは，主観的な分析の域を越えることはできない．授業研究においては，客観的な資料に基づく分析が大切であり，そのなかでも逐次発言記録に基づく授業分析では，正確で客観

的な記録を集めることが重要である．授業研究は感覚的に行うのではなく，事実を基に授業を見つめ直すことができるとより充実したものとなる．

授業分析のための基礎資料としては次のものがある．

（１）授業者による授業評価記録

図３のように，分析しようとする授業について，あらかじめ設定した観点に基づいて授業者自身が評価を行うものである．また，日々取り組まれている授業においても振り返りを行うことで，その蓄積した記録も大切な資料となる．

【授業者用】　　**授業評価シート**

実施日：平成　　年　　月　　日（　　）

年　　組　　校時

授業者：

教科：　　学習単元（題材）：「　　」

＜ねらい、指導上の留意点＞

4（そう思う）→3（ややそう思う）→2（あまり思わない）→1（思わない）

項目	No.	評価項目	評価状況	No.
授業の準備・教材の工夫	1	児童の理解度に応じた教材（資料・プリント）を工夫した。	4　3　2　1	1
	2	予想される反応を考え、それに対応した手だてを準備した。	4　3　2　1	2
授業の充実	3	基礎的な知識・技能の確実な定着が図れる学習活動を展開した。	4　3　2　1	3
	4	児童の学習意欲を喚起する学習活動を展開した。	4　3　2　1	4
授業の進め方	5	授業の最初に、本時のねらいを示し、授業の最後に本時の内容を確認した。	4　3　2　1	5
	6	学習活動を把握し、理解度に応じた授業の進め方ができた。	4　3　2　1	6
	7	児童の発言や発表など、児童自らが考えた内容を取り上げた授業ができた。	4　3　2　1	7
児童主体の授業の工夫	8	児童一人ひとりが積極的に授業に参加できる場面が用意できた。	4　3　2　1	8
	9	自ら考えたり、自ら取り組んだりする主体的な学習活動の場を設定した。	4　3　2　1	9
説明の分かりやすさ	10	児童の理解度に応じた説明や指示をした。	4　3　2　1	10
	11	端的でポイントを押さえた説明をした。	4　3　2　1	11
	12	学習の流れや関連、ポイントがよく分かるようにした。	4　3　2　1	12
児童への接し方	13	良い点をほめるなど、学習意欲の向上につながる対応に取り組んだ。	4　3　2　1	13
	14	机間指導で一人ひとりの学習状況の把握に努めるとともに、支援に取り組んだ。	4　3　2　1	14
児童の学習状況	15	児童は内容を理解しようと取り組んでいた。	4　3　2　1	15
	16	児童は自分自身で考えるようにしていた。	4　3　2　1	16
	17	児童の取り組みの様子から、内容をおおむね理解したと捉えられる。	4　3　2　1	17

＜自由記述＞　　授業の良かった点や改善が望まれる点について

図３　授業評価シート

（２）授業評価記録

授業者自身の自己評価と同様に，図４のように示したような項目の観点などに基づいて，児童や授業参観者から評価を受ける授業評価記録を取ることが必要となる．

観点	評価項目
授業の進め方	今日の学習の「ねらい（目標)」に対する説明があった．
	クラス全体の学習状況に応じて進められる授業だった．
	発言や発表など，生徒自らが考えた内容を取り上げてくれる授業だった．
授業の工夫	一人ひとりが積極的に参加できる授業だった．
	自ら考えたり，自ら取り組んだりできる授業だった．
説明の分かりやすさ	理解度に応じた説明や指示があった．
	端的でポイントを押さえた説明があった．
	学習の流れや関連，ポイントがよく分かる板書だった．
	先生が用意した教材・教具は学習に役立った．
接し方	良い点をほめてくれるなど，認めてくれた．
	授業の中で一人ひとりの状況に応じたアドバイスをしてくれた．
自己学習状況	内容を理解しようと取り組んだ．
	自分自身で考えるようにした．
	予習して授業に臨んでいた．
	復習して授業に臨んでいた．

図４　児童・生徒による授業評価項目の例

（３）多視点授業映像記録

ＨＤビデオを使って授業を記録するものである．音声とともに教師や児童の様子を映像で再現できるところに音声記録との明らかな違いがある．特に，本学では，デジタル・アーカイブ手法を活用した多視点授業映像記録を行っている．図５のような多視点授業映像では，従来の単視点映像に比べて，児童生徒の様子がよくわかり，授業分析するための記録として重要な役割をもつ．ビデオ記録を活用した授業リフレクションについては，藤岡（1998）が，「授業リフレクションを通じ，教師は子どもの見方を再構築し，さらには自分自身についての見方も再構築していくことができる」と述べている．

図５　多視点授業映像記録

（４）授業者インタビュー

授業を撮影した後に，授業担当者と授業を参観した学生によるインタビューを行い(オーラル・ヒストリー)その様子を撮影する．

インタビュー実施には，授業で何が起こったのか理解を深めることや授業に関する様々な見方・考え方を交流し深めることなどの目的があり，授業に対してより深い理解を得ることができる．ただし，授業担当者へのインタビューでは，教師が授業中の各場面で何を考えていたか正確に記憶しているとは考えにくく，インタビュー内容が必ずしも授業中の教師の思考を正確に反映しているわけではない，という問題点もある．それでも教師の思考については本人に尋ねる以外ない．教師にインタビューしつつ，授業中の教師の態度との整合性を検討するなどして，教師の授業デザインの思考を明らかにしていくことが重要となる．

図６　授業者インタビューの様子

（５）参観者による観察記録

授業の参観者が，見聞きしながら直に記録するものである．図７のように，あらかじめ作成されている用紙に記録する．多視点映像記録では分からない，授業全体の雰囲気や授業者の問いかけに対する児童の表情などの非言語活動も捉えることができる．

「学校教育実習Ⅰ」（授業記録用紙）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　月　日（　）　校時

＜　－　＞ 学生番号【E　】名前【　】

クラス【　－　】教科【　】単元【　】授業者【　】

展　開	教授行為（発問、説明、指示、助言、評価等）	子どもの学習行為（発言、つぶやき、かかわり合い等）

－（　）－

図７　参観者の観察記録

２．　授業分析

１．授業分析資料の構成

授業分析は，授業改善を行うために，学習指導案，速記録，逐語記録，授業評価記録，多視点授業映像記録等を基にして行う必要がある．

授業分析は，教科や学年などのグループまたは学校全体で取り組むことが多いが，参観者の経験則にしたがって授業を参観，分析するだけではよりよい授業分析にはならない．特に，授業経験のない学生が，より客観的な授業分析を行うためには，資料に基づいた授業の分析が大切になる．

資料に基づく授業分析を行うためには，学習指導案，授業評価記録の結果など文字化された資料が重要になる．それと共に，授業者や学習者の非言語活動（文字化された資料では読み取ることができない活動）を読み取るために，授業中における授業者や学習者の様子を収録したビデオ記録を用意し，併用しながら分析に臨むことが重要である．

２．授業分析の種類

授業分析は，分析の仕方によって，量的分析と質的分析の二つに分けることができる．

（１）量的な分析

量的分析とは，教授活動や学習活動をいくつかのカテゴリーに分類し，それらのカテゴリーの出現頻度を分析するものである．量的分析では，あらかじめ設定された分析の「ねらい」を基に授業中の事象を分類することから，授業改善に向け客観的な示唆を得ることができ，授業の全体像をつかむことができる．

- 授業者，学習者の行動項目を設定し，それを数量化（項目別の出現頻度･割合など）する．
- 持続時間，頻度，度数に焦点を当てる．
- 集団全体を焦点化する．
- 統計量に基づくものである．

（２）質的な分析

質的分析では，授業中の授業者と学習者の発言や動作などの記述や記録に基づいて分析が行われる．このことにより，授業改善へ向けて，より実際的な示唆を得ることができる．

・ 授業事象･現象をありのまま記述・描写し，教師の意図や指導の手立てを比較する．
・ 発言内容，活動内容のカテゴリー化や順序性に焦点を当てる．
・ 個人を焦点化する．
・ 記述や記録に基づくものである．

３．授業分析とその方法

以下に分析方法として量的分析の例を挙げる．量的分析では，いずれの分析方法を行うにあたっても，教師と学習者の言動を対象に分析を行っていくため，逐次発言記録が必要になる．参観しながら記録（速記録）していくことは経験が問われ，難しい．したがって，映像を基にして取った逐次発言記録が，あらゆる分析方法において重要な資料になる．

（１）教師と児童の行動分析

評価対象となる場面をあらかじめ設定し，授業観察やビデオの視聴から，チェックシートにある場面の出現状況の頻度を，一定時間（本例示では５秒間）ごとに区切って，時間の経過ごとにシートに記入して分析するものである．例示したものは教師の活動場面として「説明」，「指示」，「確認」，「発問」，「板書」，「支援」，「その他」の７つの場面を，児童の活動場面として「思考」，「発表」，「発問への応答」，「自主的な質問」，「その他」の５つの場面を設定し，図８のように授業においてどの活動場面が見られたのかを把握するために記録したものである．

手順　①映像記録，逐次発言記録を用意する．逐次発言記録は５秒ごとに区切る．
②カテゴリー・システムを設定する．
③カテゴリー分けをする．
（→あらかじめ設定したカテゴリー・システムに当てはまらなければ，再編する．）
④表にチェックを入れる．
⑤各カテゴリーにおける回数や分布の様子を見て，教授活動や学習活動における特徴を分析する．

場面/経過時間		教師の活動							児童の活動				
		1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5
		説明場面	指示場面	確認場面	発問場面	板書場面	支援場面	その他の場面	思考場面	発表場面	発問への応答場面	自主的な質問場面	その他の場面
0	0												1
	5		1										1
	10			1									1
	15			1									1
	20	1											1
	25					1							1
	30					1							1
	35					1							1
	40		1										1
	45	1											1
	50				1								1
	55			1							1		
1	0				1								1
	5	1											1
	10							1				1	
	15	1											1
	20	1											1
	25							1					1
	30							1					1

図８　教師と児童の行動分析

＜分析方法の特徴＞

・観察した授業において，教師の活動と生徒の活動にどのような場面が多く見られたのか，見られなかったのかを客観的に見ることができる．

・授業の経過時間に伴って，それぞれの活動場面がどのように推移していくのかも見ることができる．

（２）Ｓ－Ｔ授業分析

Ｓ－Ｔ授業分析は授業中に出現する児童〔Ｓ〕の行動（言語活動，非言語活動）と教師〔Ｔ〕の行動（言語活動，非言語活動）の二つのカテゴリーだけに限定し，主体者になる立場に着目して，図９のように授業中の児童と教師との行動関係がどのように現れているかを分析するものである．

手順　①映像記録，逐次発言記録を用意する．

②３０秒ごとに授業の主体者は児童〔S〕なのか教師〔T〕なのか，表に記入する．

③折れ線グラフ（縦軸：児童〔S〕横軸：教師〔T〕）を作成する．

④授業の主体者に着目し，活動の主体の傾向を分析する．

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	0:30	1:00	1:30	2:00	2:30	3:00	3:30	4:00	4:30	5:00
	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	5:30	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00
	T	T	T	S	S	S	S	S	S	S
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00
	S	S	S	S	T	S	S	S	S	S
							S	S		

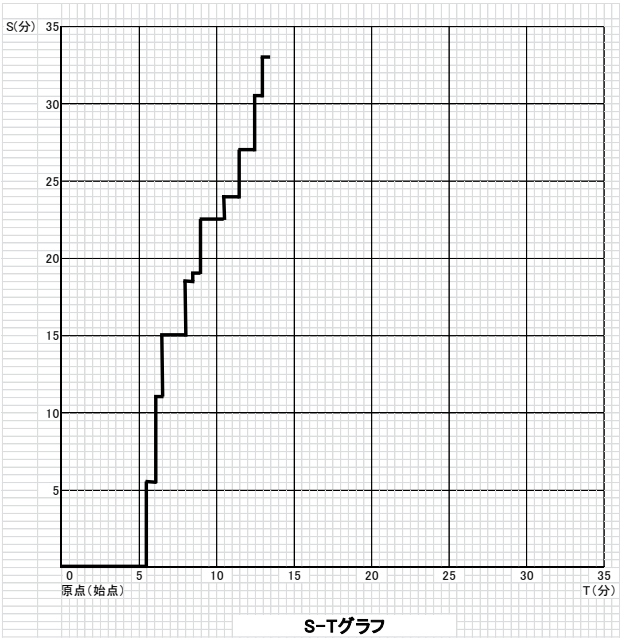


図９　Ｓ－Ｔ授業分析

＜分析方法の特徴＞

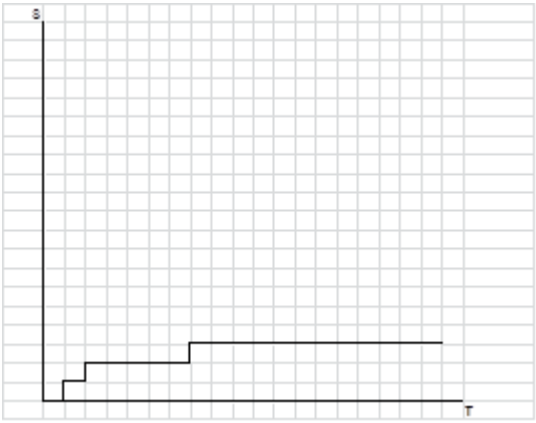
・児童〔S〕，教師〔T〕それぞれの主体となった行動を累積した折れ線グラフで表す．

・授業の主体を数値化することにより，授業のパターンを見出せる．

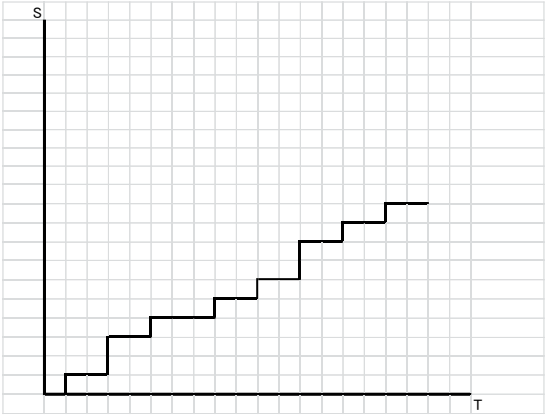
・児童と教師だけでなく，児童同士の関わりを見ることができる．

・上記のグラフは，教師の働きかけによる児童主体の授業であったという特徴を証明している．

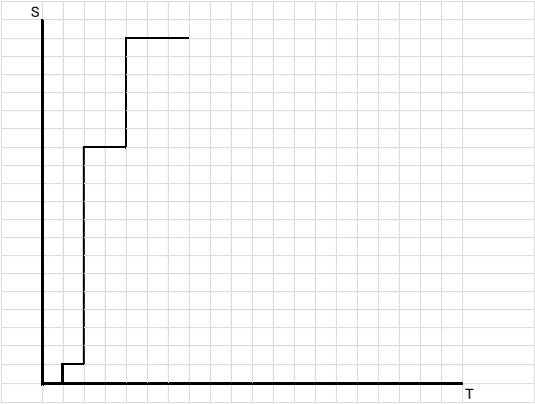
・講義型授業にみられるパターン



・対話型授業にみられるパターン



・演習型授業にみられるパターン



・指導型授業にみられるパターン

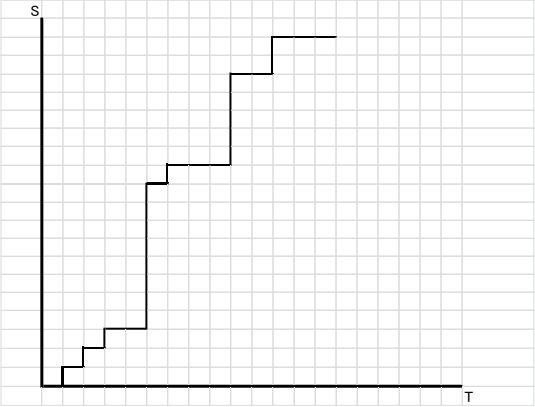


図１０　Ｓ－Ｔグラフのパターン

〇教師の行動場面

　解説，説明，音読，模範演技，教師実験，板書，教材提示，発問，指名，評価

〇児童の行動場面

　思考・表現，発表，実験・実習，演技，作業

※例に示した表において，13:00～14:00 は，Ｓ（児童）が主体であるが，異なる児童が主体となっていることを示すため，線を引いて区別してある．同様の場面があるときには，このように記入する．

（３）コミュニケーション分析

フランダースの授業分析といわれる量的分析の代表的なもので，1970 年代にフランダース(Flanders)によって考案された分析法である．図１０のように授業の流れを，５秒ごとに区切り先の発言と後の発言を表の分析カテゴリーで分類して授業の雰囲気を明らかにするものである．

フランダースの分析手法は，教師と生徒の相互作用を言語活動に限定して分析をかけるものである．コミュニケーションの方法は大きく分けて，言語と非言語によるものがあるが，あえて言語に焦点を当てたのは，それが相互作用を代表する適切なサンプルと考えたからである．

彼の分析カテゴリーは，主に教師の活動，生徒の活動，沈黙・混乱の３分野に分けられた．そして教師の活動，生徒の活動とも細分化される．教師の活動は生徒の活動に対して多くのカテゴリーに分けられたが，それは教室での活動は，やはり教師が影響を与えることが多いと考えられたからである．その教師の影響には，間接的影響と直接的影響とがある．間接的影響とは，生徒を支持し，その発言の自由を拡張しようとするものであるのに対し，直接的影響は生徒の発言の自由を限定し，教師の側で学習活動をコントロールしようとするものである．

その後，どこまでを間接的影響，直接的影響と見るかについて，カテゴリーは変化していく．大きく分けると，間接的影響に分類されていたものを「応答」にしたり，直接的影響に分類されていたものを「自発」としたりしている．

フランダースのカテゴリー分類は，フランダース自身，微妙な変化を重ねているが，他の研究者の間でも盛んに研究された．アミドンとハンター（1966）は，フランダースの相互作用分析カテゴリー・システム（FIACS）を改良し，VICS を開発した．今回のコミュニケーション分析は，そのカテゴリー・システムを応用し，本学で作成したカテゴリー・システムを用いて行った．

手順　①映像記録，逐次発言記録を用意する．逐次発言記録は５秒ごとに区切る．
②カテゴリー・システムを設定する．
③５秒ごとの言語活動をカテゴリー分けをする．
（→あらかじめ設定したカテゴリー・システムに当てはまらなければ，再編する．）
④映像記録を視聴し，T（教師）と S（児童）それぞれの欄に，カテゴリーの記号を記入する．（S は，児童全体と児童発言者に分けてある．）
⑤先の発言と後の発言の主となるものを取り出し，組み合わせる．（※図１３参照）
⑥出現率（%）に換算し，マトリックス表を作成する．先の発言を縦軸に，後の発言を横軸に置く．
⑦マトリックス表から各領域の特徴と照らし合わせ，教授活動や学習活動における特徴を分析する．

活　動　原　簿　表

教　材　　第6学年　道徳　　尊敬・感謝　『おじいさんのあたたかな目』　　2010年　1月　26日

時　分	秒	T(教師)	S(児童)	S(児童　発)	行動記録メモ	行動記録メモ
0	0	2	9a		「はい、始めましょう。ちょっとそこ机しっかり下げて」児童の机に近づく	
	5	1	7d		机を整える 「今日は教室がきれいだよね、みんな」	机を直す　笑う
	10	5a	7d		「いつもと同じで」	「今日は」笑う　黒板を見る
	15	2	9a		「はいじゃあ、え一道徳の勉強を始めます」	先生の動きや黒板を見る
	20	1	9a		「今日の資料の名前は」 板書をする	同様
	25	1	9a		板書をする	同様
	30	1	9a		「はい、一回読んでください」	同様
	35	5b	7a		「はい」	「おじいさんのあたたかな目」
	40	1	7c		「えー、今日の主人公は『ぼく』です」 紙を貼りながら	笑う
	45	3	7a		「名前は、読めるかな、みんな」	「裕二」
	50	1	7a		「あ、裕二くんです。いいですか」	「はい」
	55	3	7a		「で、後は、読めるかな。おじいさん」 紙を貼る	「読める一」
1	0	1	7a		「おじいさんも出てきます。いいですか」 「はいじゃあ、資料配ります」	「はい」
	5	5a	9a	11a	②「あ、うん。そうそう。」	①S1「『ぼく』と『裕二』は同一人物？」
	10	1	9a		「えーとね、資料は僕しか、『僕は』ってなってるんだけど、『僕』の名前は裕二君だから」	話を聴く
	15	3	7a		「いいですか」 「同一人物」	「はい」
	20	1	12		プリントを配る 「はい」	
	25	1	12		同様	
	30	1	12		声色を変えながら「どうぞ」	

図１１　活動原簿表

カテゴリー・システム

自発	教師の始めた会話	1　提示			
		2　指示			
		3　せまい質問			
		4　広い質問			
応答	教師の反応	5　受容	5a	アイデア	
			5b	行動	
			5c	感情	
			5d	視聴	
		6　拒否	6a	アイデア	
			6b	行動	
			6c	感情	
応答	児童の反応	7　反応	7a	対　教師	予測可能
			7b		予測不能
			7c	対　児童	
			7d	感情	
		8　活動	8a	個人	
			8b	グループ	
		9　視聴	9a	対　教師	
			9b	対　児童	
		10　拒否	10a	対　教師	
			10b	対　児童	
自発	児童の始めた会話	11　発言	11a	対　個	
			11b	対　全体	
その他		12　沈黙			
		Z　無関係			

図１２　分析のためのカテゴリー

❶言語活動の主体者を挙げる		❷主体者による言語活動が連続するようにカテゴリーの記号を取りだして並べる		❸後の発言として1マスずらしたものを隣へ付ける		
主体者					2	←❹最初と最後の飛び出すものは除いて、クロス表を作る
T		00秒 …	2	2	1	
T		05秒 …	1	1	7d	
T		・	7d	7d	5a	
T		・	5a	5a	7d	
T		・	7d	7d	2	
T			2	2	1	
T			1	1	1	
	S		1	1	1	
T			1	1	1	
			1	1	7a	
T			7a	7a	1	
T			1	1	7c	
T			7c	7c	3	
	S発		3	3	7a	
T			7a	7a	1	
T			1	1		

図１３　先の発言と後の発言の組み合わせ方について（⑤）

コミュニケーション分析

		後の発言																							
		1	2	3	4	5a	5b	5c	5d	6a	6b	7a	7b	7c	7d	8a	8b	9a	9b	10	11a	11b	12	Z	総計
先の発言	1	62	2	4	4	1						3		1	1	3					1	1			83
	2	4	5	1					1			1			1	1						13	1		28
	3	2	1	3	3							6							1				1		17
	4	1			4	1					1	1	1								4	3	1		17
	5a	2		1	1	1									1							2		1	9
	5b				1																				1
	5c											1										1			2
	5d		1																						1
	6a																								0
	6b			1																					1
	7a	6	2	3				1																	12
	7b				1								1												2
	7c	2		1	1																7	14			25
	7d		1			1									1							1			4
	8a		2	1												51	1				1				56
	8b		1														67								68
	9a																								0
	9b		1																1						2
	10																								0
	11a	1	9		1	2										1					14	6	2	1	37
	11b	2	1	1	1	3		1						24							10	176	1		220
	12	1	1				1															3	4		10
	Z		1	1																					2
	総計	83	28	17	17	9	1	2	1	0	1	12	2	25	4	56	68	0	2	0	37	220	10	2	597

図１４　マトリックス表

＜分析方法の特徴＞

・授業中の生徒と教師との言語活動関係がどのように現れているかが分かる．

・分析はマトリックス表を見て，頻度の高い升目に着目して解釈を加えたり，教師の発言率や生徒の発言率から解釈を加えたりする．

（４）ジェスチャーの表出からみた分析

非言語的行動（ノンバーバル）とは，言葉に付随して，あるいは言葉に先立って表出される身体の動きによるメッセージである．図１５のように非言語活動の一つであるジェスチャーの表出を調べることで授業におけるジェスチャーの効果を分析するものである．

手順　①映像記録，逐次発言記録を用意する．

②カテゴリー・システムを設定する．

③多視点映像の教師のジェスチャーを見て，それぞれのカテゴリーに５分ごとにカウントする．

④出現率（%）で表す．

ジェスチャー動作のカテゴリー		5	10	15	20	25	30	35	40	45		総数	%
模倣動作	人や物の動きや形を模倣する	//	/			/			/		/		
		2	1			1			1		1	6	6.1
指示動作	眼前にある物あるいは人を指す			//	///	/	///	///	//		/		
				2	3	1	3	3	2		1	15	15.3
様態動作	人や物のようすを表す												
数字動作	数を示したり、数えたりする												
強調動作	語句や文節を強めたり、聞き手に同意や確認を求めたりする					/		/					
						1		1				2	2
実演・資料説明動作	実物・資料の提示やそれらを使った説明をする	///				//	/	/			/		
		3				2	1	1			1	8	8.1
黒板説明動作	板書の一部を指し示す	///////			//	///	/				/		
		7			2	3	1				1	14	14.2
同意動作	児童の意見に同意する動作		////	//////	//////	///////	//////	///	/////	//	///		
			4	6	6	7	6	3	5	2	3	42	42.8
思考動作	教師の考えている動作			/	//		/	//	/		//		
				1	2		1	2	1		2	9	9.1
その他の動作			/			/							
			1			1						2	2
総数		12	6	9	13	16	12	10	9	2	9	98	
%		12.2	6.1	9.1	13.2	16.3	12.2	10.2	9.1	2	9.1		

図１５　チェックシート

＜分析方法の特徴＞

・授業の中で教師がどんなジェスチャーを示しているのか調査することができる．

４．多視点映像記録

多視点映像とは，撮影対象を多数のカメラで同時に撮影した映像データである．

従来の単視点のみの撮影による映像記録では，授業中の教師と学習者双方の様子を全体的に見ることは難しい．撮影者の意図が反映され，多様な視点を必要とする授業分析においては，不十分な点も多い．また，実際に授業の現場で観察を行った場合と比べると，臨場感に欠け，視野も狭いため，限られた対象しか分析できない．また，授業展開において確かめたい部分があるときに，その対象の映像が記録されていない場合も多くある．そのため，複数のビデオカメラを設置してより多くの角度から映像を記録しておく必要性が生じる．多視点映像記録は，より広い視野による観察・分析を可能にすると考えられる．実際に授業を参観する際には，参観者はその時その一か所にしかいられないが，多視点映像記録によって，自分がいられなかった場所の様子を知ることができ，見られなかったポイントを観察できるようになる．

そこで本研究では，５つの視点による多視点同時撮影で映像記録を行った．教室の四隅に各１台ずつ設置し，主に児童の姿を記録するカメラ（固定）と教師を追うカメラの計５台のカメラを設置した．授業においては教授者と学習者の関係が重要であり，授業分析を行うには，教師と児童の様子をどちらも網羅的に記録できる，この５つの視点が最低限必要になると考えたためである．この時，撮影の仕方で留意すべき事項を以下に示した．

図１６　多視点映像記録

①４台のカメラの高さを統一する．高さは，なるべく児童の目線に近い位置で設定するとよい．子どもからみた目線で授業を捉えることができる．

②中心からの距離と画角の大きさを４台のカメラで統一する．カメラは，教室のすべての範囲が入るように，同心円周上の（中心からの距離が同じ）位置に設置する．位置決め

は，微妙な調整を必要とし容易なことではないため，事前に机の配置や中心となる場所など教室の環境を確認しておくとよい．

③撮影開始の瞬間を合わせる．多視点で同時撮影を行うとき，開始点となる音を入れるなど合図をして，映像が同時に進行していくようにする．

④カメラの高さ，位置等を記録した設計図を残しておく．

教師を追うカメラによる映像は，教師がどんな意図で授業を行い，どんな表情で子どもと接していたのか，捉える資料となるため重要である．分析の際，逐語発言記録の教師の部分は，このカメラの記録を基にすると取りやすい．教師には，別でマイクをつけてもらうなど，音声をクリアに記録しておくことが必要である．

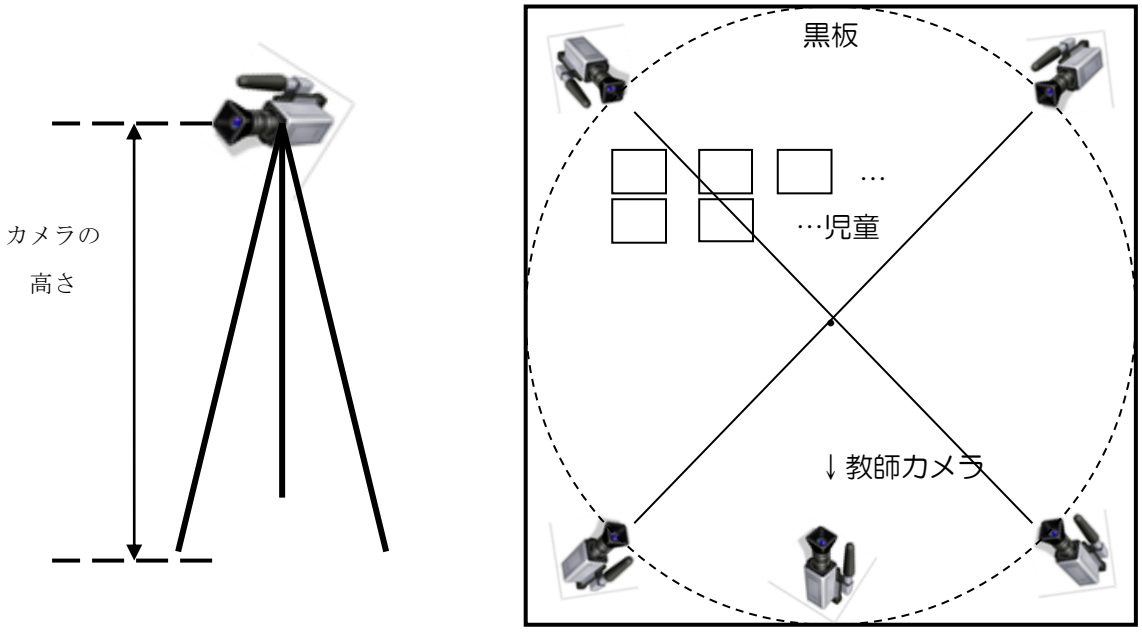


図１７　多視点同時撮影の配置図

【多視点映像記録】

多視点映像は，多方向からの映像を，動画処理ソフトを利用し，１画面に纏めたものである．児童の様子や，授業の全体を見渡すことができ，授業分析をする場合には有効な映像である．しかし，４画面の同期をとることが必要になることが工夫を要する．

4画面.Still005

4画面.Still006

4画面.Still007

4画面.Still008

4画面.Still009

4画面.Still010

4画面.Still011

4画面.Still012

4画面.Still013

4画面.Still014

4画面.Still015

4画面.Still016

4画面.Still017

4画面.Still018

4画面.Still019

4画面.Still020

4画面.Still021

4画面.Still022

4画面.Still023

4画面.Still024

4画面.Still025

4画面.Still026

4画面.Still027

4画面.Still028

4画面.Still029

4画面.Still030

4画面.Still031

4画面.Still032

4画面.Still033

4画面.Still034

4画面.Still035

4画面.Still036

4画面.Still037

4画面.Still038

4画面.Still039

５．授業アーカイブによる授業分析

ここでは，小学校６年生の「道徳」の授業記録（ＤＶＤ）と関連資料（１）～（４）を参考にしながら，実際に授業分析を行ってみましょう．

＜授業の概要＞

授業科目：道徳
主題：２－（５）尊敬・感謝　　資料：「おじいさんのあたたかな目」学習研究社（引用）
対象：小学校６年生

＜関連資料＞

（１）資料

おじいさんのあたたかな目

（中村とも子作＝日本文教出版）

「おじいさん、ぼくの絵、どうでしょう。」

ぼくは、ちょっとはずかしそうに、おじいさんに絵を見せました。

「ほう、これは、なかなかいい。」

おじいさんは、ぼくの絵をじっと見

（２）指導案

６年1組　道徳学習指導案

日　時　平成２２年１月２６日 第３校時
場　所　６年１組教室
授業者

１．主題名　　２－（５）尊敬・感謝（『おじいさんのあたたかな目』学習研究所）

２．ねらい
自分を支えてくれている周りの人へ感謝の気持ちが薄らいでいることに気付き、周りの人に感謝し、それにこたえて生活しようとする気持ちを育てる。

３．資料について
主人公は、夕方、友人と遊ぶために自転車で家を出る。途中、近所に住むおじいさんから、「夕方は危ないから、暗くなるまでに早く帰るように」と声をかけられるが、主人公はその心配を素直に受け止めることができず、そのまま友人宅に向かう。友人宅で遊びに夢中になった主人公は、時間が遅くなったことに気付き、急いで帰る。主人公の帰りが遅いのに気が付いた父親が心配で迎えに来た時に、父親からおじいさんが心配していたことを聞き、自分の行いを振り返る内容である。本時は、主人公が自分の行いを反省し、自分が周りに支えられて生活していることに気付かせ、周りの人へ感謝することの大切さを感じとらせたい。

４．学習過程

段	ねらい	学習活動	指導・援助
自分に気づく	・主人公に対する共感、疑問、感動から話し合う話題をもつことができる。	**１　資料「おじいさんのあたたかな目」を、読んで、主人公の言動に感想をもち、交流する。** ・おじいさんの注意を素直に聞けなかった主人公の気持ちは分かる。本当はいけないことだけど、自分もそうしていまいそうな気がする。 ・はっとしてしまった主人公の気持ちをみんなで話し合いたい。	・価値にかかわる話題を設定するために、感想の中の考え方の違いを明らかにすることで話し合う話題を明確にする。
自他を知る	・おじいさんの忠告に感謝をすることなく節介という気持ちが生じてきた主人公の気持ちに気付くことができる。	**２　おじいさんの忠告を聞かずに、無視した主人公の気持ちを話し合う。** ・暗くなる前に帰ってくることなんか分かっている。いちいちうるさいな。 ・大きなお世話だ。僕はもう小さくないんだから、いつまでもやかましく言ってほしくないな。	・おじいさんの忠告を無視してしまった主人公の気持ちに共感させるために、自分ならどうするか補助発問をする。
	・周りの人への感謝の気持ちが薄らいでいた主人公の気持ちに気付くことができる。	**３　心配して迎えに来たおとうさんに会って、はっとした主人公の気持ちを話し合う。** ・おじいさんは、僕のことを心配して声をかけてくれたのに、僕は無視をしてしまったので申し訳ない。 ・いつも僕のことを心配してくれていることに感謝もしなくて、文句を言っていた自分が許せない。おじいさんに会ったらすぐに謝りたい。	・主人公が周りの人への感謝が薄らいでいたことに気付いたことを明らかにするために、主人公は、自分のどんな行為に対してはっとしたのか視点をあてる。
	・主人公の言葉を考えることを通して、本時の価値に迫ることができる。	**４　主人公がおじいさんにどんな声をかけるのか話し合う。** ・おじいさん、昨日は無視をしてごめんなさい。それに、いつも僕のことを心配してくれてありがとう。これからも僕のことを見守ってね。	・主人公の言葉がおじいさんへの謝罪ばかりにならないように、補助発問を入れる。
自己に問いかける	・主人公の気持ちを深めながら自分を支えてくれる周りの人に感謝の気持ちをもつことの大切さに気付くことができる。	**５　どうして主人公は、幸せな気持ちになったのか考える。** ・たくさんの人が支えてくれていることに気が付いたから、幸せな気分になったと思う。 ・自分のことを本当に大切に思ってくれる人がいることに感謝したい。それにこたえられるようにしていきたい。	・主人公の幸せな気分になった気持ちに触れることで、価値を深めさせる。

（３）授業アーカイブ映像記録【教師カメラ映像記録】　（２０秒ごと）

道徳授業(教師).Still001

道徳授業(教師).Still002

道徳授業(教師).Still003

道徳授業(教師).Still004

道徳授業(教師).Still005

道徳授業(教師).Still006

道徳授業(教師).Still007

道徳授業(教師).Still008

道徳授業(教師).Still009

道徳授業(教師).Still010

道徳授業(教師).Still011

道徳授業(教師).Still012

道徳授業(教師).Still013

道徳授業(教師).Still014

道徳授業(教師).Still015

道徳授業(教師).Still016

道徳授業(教師).Still017

道徳授業(教師).Still018

道徳授業(教師).Still019

道徳授業(教師).Still020

道徳授業(教師).Still021

道徳授業(教師).Still022

道徳授業(教師).Still023

道徳授業(教師).Still024

道徳授業(教師).Still025

道徳授業(教師).Still026

道徳授業(教師).Still027

道徳授業(教師).Still028

道徳授業(教師).Still029

道徳授業(教師).Still030

道徳授業(教師).Still031

道徳授業(教師).Still032

道徳授業(教師).Still033

道徳授業(教師).Still034

道徳授業(教師).Still035

道徳授業(教師).Still036

道徳授業(教師).Still037

道徳授業(教師).Still038

道徳授業(教師).Still039

道徳授業(教師).Still040

道徳授業(教師).Still041

道徳授業(教師).Still042

道徳授業(教師).Still043

道徳授業(教師).Still044

道徳授業(教師).Still045

道徳授業(教師).Still046

道徳授業(教師).Still047

道徳授業(教師).Still048

道徳授業(教師).Still049

道徳授業(教師).Still050

道徳授業(教師).Still051

道徳授業(教師).Still052

道徳授業(教師).Still053

道徳授業(教師).Still054

道徳授業(教師).Still055

道徳授業(教師).Still056

道徳授業(教師).Still057

道徳授業(教師).Still058

道徳授業(教師).Still059

道徳授業(教師).Still060

道徳授業(教師).Still061

道徳授業(教師).Still062

道徳授業(教師).Still063

道徳授業(教師).Still064

道徳授業(教師).Still065

道徳授業(教師).Still066

道徳授業(教師).Still067

道徳授業(教師).Still068

道徳授業(教師).Still069

道徳授業(教師).Still070

道徳授業(教師).Still071

道徳授業(教師).Still072

道徳授業(教師).Still073

道徳授業(教師).Still074

道徳授業(教師).Still075

道徳授業(教師).Still076

道徳授業(教師).Still077

道徳授業(教師).Still078

道徳授業(教師).Still079

道徳授業(教師).Still080

道徳授業(教師).Still081

道徳授業(教師).Still082

道徳授業(教師).Still083

道徳授業(教師).Still084

道徳授業(教師).Still085

道徳授業(教師).Still086

道徳授業(教師).Still087

道徳授業(教師).Still088

道徳授業(教師).Still089

道徳授業(教師).Still090

道徳授業(教師).Still091

道徳授業(教師).Still092

道徳授業(教師).Still093

道徳授業(教師).Still094

道徳授業(教師).Still095

道徳授業(教師).Still096

道徳授業(教師).Still097

道徳授業(教師).Still098

道徳授業(教師).Still099

道徳授業(教師).Still100

道徳授業(教師).Still101

道徳授業(教師).Still102

道徳授業(教師).Still103

道徳授業(教師).Still104

道徳授業(教師).Still105

道徳授業(教師).Still106

道徳授業(教師).Still107

道徳授業(教師).Still108

道徳授業(教師).Still109

道徳授業(教師).Still110

道徳授業(教師).Still111

道徳授業(教師).Still112

道徳授業(教師).Still113

道徳授業(教師).Still114

道徳授業(教師).Still115

道徳授業(教師).Still116

道徳授業(教師).Still117

道徳授業(教師).Still118

道徳授業(教師).Still119

道徳授業(教師).Still120

道徳授業(教師).Still121

道徳授業(教師).Still122

道徳授業(教師).Still123

道徳授業(教師).Still124

道徳授業(教師).Still125

道徳授業(教師).Still126

道徳授業(教師).Still127

道徳授業(教師).Still128

道徳授業(教師).Still129

道徳授業(教師).Still130

道徳授業(教師).Still131

道徳授業(教師).Still132

道徳授業(教師).Still133

道徳授業(教師).Still134

道徳授業(教師).Still135

道徳授業(教師).Still136

道徳授業(教師).Still137

道徳授業(教師).Still138

道徳授業(教師).Still139

道徳授業(教師).Still140

道徳授業(教師).Still141

道徳授業(教師).Still142

道徳授業(教師).Still143

道徳授業(教師).Still144

道徳授業(教師).Still145

道徳授業(教師).Still146

（4）コミュニケーション分析記録表

教　材　　第6学年　道徳　　尊敬・感謝

『おじいさんのあたたかな目』　　2010年　1月26日

時 分	秒	T(先生)	S（児童）	S（児童発）	行動記録メモ（T）	行動記録メモ（S）	主体者	
0	0				「はい，始めましょう．ちょっとそこ机しっかり下げて」児童の机に近づく			
	5				机を整える　「今日は教室がきれいだよね，みんな」	机を直す　笑う		
	10				「いつもと同じで」	「今日は」笑う　黒板を見る		
	15				「はいじゃあ，えー道徳の勉強を始めます」	先生の動きや黒板を見る		
	20				「今日の資料の名前は」　板書をする	同様		
	25				板書をする	同様		
	30				「はい，一回読んでください」	同様		
	35				「はい」	「おじいさんのあたたかな目」		
	40				「えー，今日の主人公は『ぼく』です」　紙を貼りながら	笑う		
	45				「名前は，読めるかな，みんな」	「裕二」		
	50				「あ，裕二くんです．いいですか」	「はい」		
	55				「で，後は，読めるかな．おじいさん」　紙を貼る	「読めるー」		
1	0				「おじいさんも出てきます．いいですか」　「はいじゃあ，資料配ります」	「はい」		

	5				②「あ，うん．そうそう．」	①Ｓ１「『ぼく』と『裕二』は同一人物？」		
	10				「えーとね，資料は僕しか，『僕は』ってなってるんだけど，『僕』の名前は裕二君だから」	話を聴く		
	15				「いいですか」　「同一人物」	「はい」		
	20				プリントを配る　「はい」			
	25				同様			
	30				声色を変えながら 「どうぞ」			
	35				同様	配られた児童から読み始め線を引く		
	40				「どうぞ」　一同笑う	Ｓ２「ありがとう」		
	45				準備	各自読む		
	50				同様			
	55				同様			
2	0				同様			
	5				同様			
	10				「いいですか」	「はい」		
	15				「いつもと一緒」　紙を貼る「分かるな，すごいな，どうしてだろう，ね，この気持ちをみんなで考えたいと言うところに線を引っ張ってください」			
	20					「はい」		
	25				「はいじゃあ，読むよ」	先生の音読に合わせて追う		
	30				資料を読む			
	35				同様			
	40				同様			
	45				同様			
	50				「ね，おじいさん」と言いながら挿絵を張る			
	55				「あいさつ代わりのように」			
3	0				板書をする	板書を見る		

	5				「しょっちゅう話しかけてくる」　「はい，続けます」			
	10				資料を読む　資料の台詞のとき児童を見る	資料を見ながら線を引く		
	15				同様			
	20				同様			
	25				同様			
	30				同様			
	35				同様			
	40				同様			
	45				同様			
	50				同様			
	55				「湯山っていう地名ね，みんな」	頷く		
4	0				資料を読む			
	5				同様			
	10				同様			
	15				同様			
	20				同様			
	25				同様			
	30				同様			
	35				同様			
	40				同様			
	45				同様			
	50				同様			
	55				同様			
5	0				同様			
	5				同様			
	10				同様			
	15				同様			
	20				同様			
	25				同様			
	30				同様			
	35				同様			
	40				同様			

	45				同様			
	50				同様			
	55				同様			
6	0				同様			
	5				同様			
	10				同様			
	15				読み終える			
	20				準備	顔を上げ隣同士で意見交流をする		
	25				同様			
	30				時計をチェックする			
	35				机間指導			
	40				同様			
	45				同様			
	50				児童２人の話を聴き頷く			
	55				同様			
7	0				「いいところ挙げたね．みんなにまた教えてあげて」　赤ペンで線を引く			
	5				同様			
	10				同様			
	15				同様			
	20				児童の意見を聴く			
	25				相づちをうつ			
	30				「ごめんね，Ｓ３さんどうしてここに引っ張ったの」			
	35				「うん，あー，そうだね．みんなに是非教えてあげて，ね．」			
	40				同様			
	45				隣の児童の資料に線を引く			
	50				「＿＿＿＿＿＿＿＿やね！」			
	55				別の児童のところへ			
8	0				同様			
	5				「うん，あー，」聴きながら			

					赤ペンを入れる			
	10				同様			
	15				「そんなん思えたんやね．Ｓ４さん，どうしてここは引っ張ったんですか」			
	20				相づちをうつ			
	25				時計を確認する			
	30				「是非みんなに教えてあげて」			
	35				移動			
	40				同様			
	45				同様			
	50				1人1人のを次々に見ていく			
	55				同様			
9	0				同様			
	5				同様			
	10				「ここ何で線引っ張ったの」			
	15				笑み			
	20				話を聴く			
	25				「考えたいってこと，みんなで？うん，そうか．わかった，よし」			
	30				「ちょっと見せて」			
	35				「Ｓ５さん，何でここ引っ張った？」			
	40					答える		
	45				同様			
	50				同様			
	55				同様			
10	0				同様			
	5				同様			
	10				同様			
	15				「ああそうか，てみようと思ったんやね．よしオッケー」			
	20				移動			

	25				移動			
	30				「ちょっと見せて．はっとしたんやね」　二重丸を付ける			
	35				移動			
	40				移動			
	45				「あー，ここ考えたいんやね，みんなで．よし」			
	50				「みんなに教えてあげて」			
	55				赤丸を付ける			
11	0				同様			
	5				同様			
	10				「みんなで考えたいんやね」			
	15				「ここみんなで考えたいの」「ここ？」	「はい」		
	20				「じゃあ，みんなにここ教えてあげて」			
	25				同様に机間指導			
	30				同様			
	35				同様			
	40				準備する			
	45				挿絵を貼る			
	50				同様			
	55				時計を確認する			
12	0				「はいじゃあね，途中かもしれないけども前向いてください．では」	話し合いを止め，前を向く		
	5				「えー，最初の感想ちょっと教えてください」　手を挙げながら			
	10				「どうですか」	手を挙げる「はい」		
	15				「はいではえー，Ｓ６さん教えてください」	話す児童の方を向き話を聴く		
	20					S 発「えっと私は，一行目の『〇〇の中で無視してしまった』というとこ		

						ろで，・・・」　S「うん」発言に反応し資料を目で追う		
	25				紙を貼る	S 発「えっと私もなんかお母さんとかに，うんと，沢山言われたりするんだけど，その時に自分がむしゃくしゃしていたら，えっとやっぱり，そんなこと言われなくても分かってるよって思ってしまって，無視することがよくあるから」		
	30							
	35							
	40							
	45							
	50							
	55					「うん」		
13	0				板書をする	S 発「裕二さんみたいに，その立場になっていたら私も，そんなこと言わなくてもと思ってしまって，無視してしまうと思いました．」		
	5				相づちを打つ	「う～ん」		
	10					「他に」挙手をする		
	15				「はいじゃあ，Ｓ７さん」	S 発「7 行目の『ちぇっ小さな親切大きなお世話だ』ってとこに線を引いて」　S「うん」　S 発「これは裕二さんが心の中でしゃべって心の中で思っていることが分かるよね．それで，『ちぇ』ってことは，前にもむしゃくしゃしていたってことで，何かちょっと苛ついていて，その後に『小さな親切大きなお世話だ』はなんか，ちょっとそれ		
	20							
	25				しゃがんで話を聴く			
	30							
	35				板書をする			
	40							
	45							
	50							

						以外の気持ちも入っていると思うので，みんなとちょっと話し合いたいです．」　S「うん」		
	55					「う～ん」		
14	0				相づちをうつ　紙を貼り直す	「他に」挙手をする		
	5				「はいじゃあ，Ｓ３さん教えて」	S 発「はい私は，17 行目の『ぼくは，はっとした』というところに線を引いて」		
	10					S「うん」　S 発「私がこの裕二さんだったら，えっと何かどうしようって思うし，心の中で『ちぇっ小さな親切大きなお世話だ』って言ってしまったことをどうしようって思うから，そこをみんなで話し合いたいです．		
	15				紙を貼る			
	20							
	25				相づちをうつ	（一同）「うん」		
	30				板書をする	「他に」挙手をする		
	35				「えーっとでは，Ｓ８さん教えて」	S 発「はい．えーと私は最後の行の『幸せな気持ちになった』というところに線を引いて」		
	40					S「うん」　S 発「私はその子の，裕二さん，幸せな気持ちになるのは何となく分かるんだけど」		
	45							
	50				板書を確認する	(一部)「うん」		
	55					S 発「その詳しい理由みたいのがちゃんと分からないので，みんなでそこを話し合いたいです．」		
15	0				相づちをうつ	(一同)「うん」　「他に」挙手をする		

	5				「よし」　紙を貼る　「はい，えーっと，Ｓ５さん」	S発「はい．えっと私は23行目のところで」		
	10							
	15					S「うん」　S発「『情けなく思えて仕方がなかった』ていうところに線を引きました．」		
	20							
	25					S「うんうん」　S発「えっと最初の行を振り返ってみると，やっぱなんか，自転車って言うのは速いから，頭の中の心の整理ができないじゃないですか」		
	30				紙を貼り直す			
	35				笑う	S「うん」　S発「だから，もうあの，自分の感情でコントロールされているからあの，『ちぇっ』て何かそういう無視してしまったと思って，なんか，えっと，なんか『仕方なく思えて仕方がなかった』ていうのはやっぱり，無視したことにも，自分の情けないっていうか，自分の感情のままにコントロールして，えっと，なんか，相手の考えを，あ，相手の気持ちを考えずに言ったから情けないって思ったし」		
	40							
	45							
	50							
	55							
16	0							
	5					S「うん」　S発「あの，なんか体験したやんか．なんか日暮れになって寂しい気持ちになったところがあったりも，後悔の		
	10				児童・資料・黒板を順に見る			
	15				同様			
	20				同様　時計を見る			
	25				同様			

	30					情けなく思えて，自分が人の考えも無視して，ただ自分の感情だけで動く自分が『ロボット』て言うのは言い方が悪いかもしれないかな？うんでも，やっぱりそういう風に『情けなく思えて仕方がなかった』ていうのはこの人には分かっていたと思います.		
	35							
	40					S「う～ん」		
	45				板書をする	S「それに」ばらばらと挙手をする（ほぼ全員）		
	50				「はいじゃあ，えーっとじゃあ，Ｓ４さん．ちょっと教えて」			
	55				板書と見比べながら聴く	S 発「はい私は，えっと，１．２．３・・・13 行目の『ぼくは泣きたい気持ち』あっ，えっと『帰ったら叱られるだろうなと思うとぼくは泣きたい気持ちになってきた』っていうところに線を引いて」		
17	0							
	5							
	10				相づちをうつ	S「うん」		
	15					S 発「やっぱりみんなもそうだと思うけど」　S「うん」　S 発「なんかお母さんとかに『何時までに帰ってきます，きてね』て言われるときあるやん？」		
	20					S「うん」		
	25					S 発「でも，それまでに		

						帰ってこれんときあるやんね？」　S「う～ん」		
	30					S 発「で，私もよくあるんだけど，その時って何かもう，家に帰った時の気持ちを想像すると」		
	35				相づちをうつ	S 発「怖くて泣きたい気持ちになってくるから」		
	40					S 発「この子の，えっと，裕二さんの気持ちがよく分かりました」		
	45				相づちをうつ	（一同）「う～ん」　（一部）挙手をしようとする		
	50				「じゃあ，ちょっと前向いてくれるかな，みんな．え一っとね，みんなが今あのー，裕二さんの気持ちを分かるよっていうところとか，話し合いたいよっていうところを今黒板に書いてみました．」	S「はい」　体を黒板にむき直す		
	55							
18	0				「最初にねえ，おじいさんがあいさつ代わりのに，しょっちゅう裕二さんに言うんだよね，みんな」			
	5					S「うん」		
	10				「『危ないで暗ろうならんまでに帰っておいでよ』って，そのとき，いつもなら『うん分かった』て言うんだけど，このときは･･･」			
	15							
	20				「無視したんだよね」	S「うんうん」頷く		
	25				「このときの裕二さん，どんな気持ちだったと思う？」	話し合いを止め，前を向く，挙手をする		
	30							
	35				「はい，じゃあ，Ｓ９さん」	S 発「はい．えっとたぶん裕二さんは，えっと何		

						回もしょっちゅう声を掛けてくるから，もうそんなに言わなくてもわかってるよって」		
	40				しゃがんで聴く			
	45				同様	S「うん，あ～」　S発「て思ってるって，思ったよ」		
	50				板書をする	S「うん～」　「それに」（挙手をする）		
	55				「はい，じゃあ，Ｓ１０さん」			
19	0					S発「私は，その気持ちはたぶん，『そんなこと分かっているから放っといてくれよ』っていう気持ちだと思うよ」		
	5				板書をする	S「う～ん」　「それに」（挙手をする）		
	10				「放っておいてくれよ」　しゃべりながら板書をする			
	15				「えっとじゃあ，Ｓ１１さん教えて」	S発「うんと僕も，Ｓ１０さんとＳ９さんに似ていて，僕も何回も言われると，鬱陶しくなってくるやん？」		
	20				話す児童の居る側に移動する			
	25							
	30				口に紙をあてて笑う	S発「何で，あ，何でっていうか，鬱陶しくなってくるやんか？みんなも鬱陶しくなってくるよね？」		
	35				「うん」	S「うん」　S発「その鬱陶しいって言葉，誰かいい・・・鬱陶しいっていうか」（少し手を挙げる）		
	40				板書をする			
	45					数名手を挙げる　S「どういうこと？」		
	50				「あ，うっとうしいの中身？」	S発「鬱陶しいってこと		

						は，あの，その，鬱陶しい『何で僕ばっか』とか・・・その中身っていうか」		
	55					S発「中身って言うか・・・誰かちょっと教えて」		
20	0					(助ける)S１２「今友達の家に向かうよね？」		
	5				相づちをうつ	S「うん」　「だから友達の家に向かうってことは，僕もなんだけど，いっぱい遊びたいじゃん」S「うん」		
	10				笑う	S１２[だからこんなところで，いちいちおじいちゃんと話もしたくないし,話をしたくないから,さっさと行かせてくれよ，みたいな」		
	15				板書を見る　相づちを打つ	S「あー」		
	20					S１２「だから，さっさと行かしてよっていう風に思ってたと思います」		
	25				紙を直して板書をする	S「う～ん」　S発（S１１）「僕も今らいがさんみたいに，行くときに毎回毎回言われていたら，もう僕自分にかまって欲しくないと思うので，その裕二さんの気持ちは，すごく分かるよ」		
	30				板書をする			
	35							
	40					S[あ～あ」		
	45				書きながら相づち	S「それに」挙手をする		
	50				「うーん」　誰にあてるか全体を見る			

	55				「はいじゃあ，Ｓ１３さん教えて，ちょっと」	S 発「えっと，たぶん，えっと，似とるんやけど，いっつもいつも言っとるもんで，もうなんかもう，分かっとるよっておもってたと思います」		
21	0							
	5							
	10				相づちをうつ　紙を貼り直す	S「それに」「他に」（挙手をする）		
	15				「はいじゃあ，Ｓ１４さん教えて」			
	20				しゃがんで話を聴く	S 発「えっとー，裕二さんは（指でなぞって数える）24 行目の『これまで 12 年間』て書いてあって，たぶん裕二さんは 12 歳で，もう中学生くらいに入ろうとしている位なのに」		
	25							
	30							
	35							
	40							
	45				相づちをうつ	S「う～ん」　S 発「えっと，おじいさんが，まだ小学校 2 年生ぐらいに心配しているから」		
	50							
	55					S「あぁ～」		
22	0					S 発「大人ぐらいに近いんだから，もうそんな子ども扱いしないでよって思って，思ったと思います」		
	5							
	10				相づちをうつ　「Ｓ１５さん，いま『うーん』て頷いていたけど，どう？」	S「う～ん」		
	15							
	20				板書をする	S 発「えっと，僕もお母さんにこういうことやってよって言われて，何回も何回もそういうこと言		
	25							
	30				向かって左側の児童に手で合			

					図をする	われると・・・えっと，それは僕だって，12 歳なんだから，1 回聞けば覚えているよってなると思う」		
	35				「うん」　一同笑う	S　笑う　S 発「気持ちはよく分かります」		
	40				「あー」と言いながら板書をする	S「う～ん」		
	45				「はい，えっと」			
	50				「はい，で，ぼくはあのー，思っていたんだろうね，みんな」	「うん」		
	55				「で，ぼくは結局友達の家に，家へ行って，どうなったかな？」　資料に目をやる	「7 時まで遊んだー」		
23	0				「7 時まで遊んでいたよね」			
	5				②笑う	①自由発言「7 時までとかすごい！」「7 時とかありえん！」		
	10				②「ね，そうだよね．で，さっきね，Ｓ４さんが言ってくれたけど『ぼくは泣きたい気持ちになって，帰ってきた』ところに登場したのは誰やった？」	①同様　「ご飯やん！」		
	15				「お父さんやったね」（挿絵を指しながら）	S「お父さん」		
	20				「お父さんどんなこと言ってくれたっけ，そのとき？」　資料を見る	S：自由発言		
	25				「えーっと，『どこ行っとったんや』って話になって，おじいさんが教えてくれたんだね，みんな」			
	30					S「うん」		

	35				「そのおじいさんが，ぼくが行った行き先を教えてくれたんで，ぼくね，裕二さんは･･･」			
	40				板書を指しながら，児童の方に向き直し「で，はっとしたんやね，みんな」	S「うん」		
	45				「このときどんな気持ちだったんだろう，裕二さんは」　胸に手を当てながら「はっとしたときの気持ち」	S:ばらばらと挙手をする		
	50				「ねえ」　手を挙げるのを待つ			
	55				同様			
24	0				「はい，じゃあ，Ｓ１６さん教えて，Ｓ１６さん！」(返事がなかったため)			
	5				笑う	S 発「はい．僕はえっと，おじいさんに声を掛けられたときに，ただ自分がむしゃくしゃしていただけで，無視なんかしなければよかったと思っていたと思います」		
	10				時計を確認する　板書を見る			
	15				「あー」　板書をする	S「あ～，それに，他に」(挙手をする)		
	20				同様			
	25				同様			
	30				「はいじゃあ，えーっと」			
	35				「Ｓ１７さん教えて」	S 発「えっと，おじいさんに何回も言われていると」		
	40				児童の後方へ立つ	S「うん」(数名)　S 発「心配しとる気持ちが分かるやんか？」		
	45				相づちをうつ	S 発「それで心配しとったら，裕二さんだって早		
	50				板書と児童を交互に見る			

	55					く帰らなあかんていう気持ちが分かってくると思うから，そうやってなんか心配されていると，自分だってなんか，12歳だけど，地域の人に心配されていると何か，愛されている気持ちになって，なんか家族みたいな気持ちになって，ずっとなんか，心配されていると，大人になってくると，ずっとどんどん心が変わって行くから，今から，今でも，愛されるようなことにしたいから，裕二さんは情けないとか思ったんだと思います」		
25	0							
	5							
	10				「あー」（納得したように）口に手をあてる			
	15							
	20							
	25				考えるポーズをする			
	30							
	35							
	40							
	45				「うーん，ふーん」（納得するように）	S「うーん，それに」（挙手をする）		
	50				板書をする			
	55				黒板に波線を入れる			
26	0				「はいじゃあ，えーっと，Ｓ１２さん」	S発「えーと，僕は，今の意見とはちょっと違うんだけど，はっとしたってことは，この裕二さんは，おじいさんがせっかくこの裕二さんのためを思って，えっと，早く暗くなる前に帰ってきなさいよって言ったよね？」		
	5							
	10							
	15				板書と資料を見る	S「うーん」　S発「でも，裕二さんはそんなことも知らずに，自分が遊びたいばっかで，自分が遊びたいばっかで，行ってま		
	20				相づちをうつ			

						ったよね，友達の家」		
	25					S「うん」		
	30				相づちをうつ	S 発「そんなことを今分かった裕二さんは，おじいさんがこんな心配してくれたのに，うんと・・・こんな自分のことを思って『小さな親切大きなお世話だ』って思ったことや，おじいさんが自分が向こうへ行ったって教えてくれたってことで，おじいさんにも悪いと思ったし，そんな自分が，えっとね，自分勝手で情けないと思ったんだと思います」		
	35							
	40				紙を直す			
	45							
	50							
	55				板書をする	S「う～ん」		
27	0					S「それに，他に」（挙手をする）		
	5				「はいじゃあ，Ｓ１８さん教えて」	S 発「はい．えっと私は，おじいさんが，あと，裕二さんがはっとしたときに，なんかおじいさんが，えっと，おじいさんが心配して電話かけてくれたから，えっと，お父さんが安心してくれたと思っていて，その時に裕二さんはおじいさんに，無視してしまってごめんねとか思ったし，あと，伝えてくれてありがとうとかも思ったんだと思うよ」		
	10							
	15							
	20				時計を確認する			
	25							
	30				相づちをうつ			
	35							
	40					S「う～ん」		
	45				「ほおぉ」　板書をする	S「それに」（体をむき直		

						して挙手)		
	50				板書をする　丸をつけて強調する			
	55				「うーん」　誰にあてるか全体を見る			
28	0				「じゃあ，Ｓ１９さん教えて」	S 発「はい，えっと，『ごめんね』とほとんど同じなんだけど」		
	5					S「うん」		
	10					S 発「あのー，裕二さんはおじいさんが一生懸命親切に注意をしてくれたんだけど，無視をしていて，無視をしてしまったから，ごめんなさいの気持ちでいっぱいだと思ったと思います．」		
	15							
	20							
	25				違う児童の様子を見る	S「う～ん」		
	30				チョークを手に持つ　「どんな今，ちょっと『ごめんね』てＳ１９さんもＳ１８さんも言ってくれたけど，どんなことに対して『ごめんね』なの？」			
	35					S：自由発言		
	40				児童の様子を見る			
	45				「ちょっとＳ２０さん教えて．どんなことに対して『ごめんね』なの？」　話す児童の方に向き直す	S 発「さっきのＳ１２さんの意見に付け足しで，おじいさんはじぶんの身のために言葉を掛けてくれたのに，自分はそれに対して無視をして，おじいさんの気持ちを台無しっていうか，おじいさんの気持ちを台無しにしてしまったから，ごめんね		
	50				相づちをうつ			
	55				頷く			
29	0							
	5				「あぁ」（納得したように）			
	10				板書をする　丸で囲む			
	15				矢印でつなぐ			

	20					っていう気持ちでいっぱいだと思います」		
	25				「あぁ，こういう気持ちに『ごめんね』」（板書を示しながら）	S「う～ん」		
	30				「と，おじいさんの気持ちにも『ごめんね』て．で，こっちの気持ちにも『ごめんね』て」			
	35				「おじいさんの気持ちも『ごめんね』て言ってくれたんだけど，ちょっと訊いていい，一つ」			
	40				「おじいさんはじゃあさ，どんな気持ちでいつも，あいさつ代わりにしょっちゅう裕二さんに（資料を見る）言ってるの？」			
	45							
	50				「『早う帰ってこいよ』，『暗くならないまでに帰ってこいよ』って．どんな気持ちで言っているの，おじいさんは」			
	55					S：挙手をする		
30	0				「さっきちょっとＳ１７さんも言ってくれたけどね．Ｓ２１さん教えて」	S発「はい．えっと，おじいさんは小さい頃から，なんか，裕二さんを見とるやんか．だから自分のなんか，孫っていうか，孫みたいに心配して・・・事故に遭わないで帰ってきてねみたいな感じで思っていると思うよ」		
	5							
	10				「うん」			
	15				チョークを持つ　相づちをうつ			
	20				「ああ」（納得したように）板書をする			
	25							
	30				一度児童の方へ向く			
	35				板書をする	S「う～ん」　「それに，他に」（挙手をする）		
	40				「うんうん」			
	45				「はいじゃあえー，Ｓ２２さ	S発「はい．さっきＳ１		

					ん教えて」	７さんが家族みたいだからって言うとったやんか？」		
	50							
	55				「うん」	S「うん」		
31	0				「あぁ～」	S 発「私もＳ１７さんの意見に似ていて，家族やんか，もう地域が」　S「うんうん」		
	5					S 発「だからさりなさんの意見とも似とるんやけど，家族やったら，みんなのお父さんやお母さんも心配するやんか」		
	10					S「うん」		
	15					S 発「おじいさんも同じような気持ちで心配したんだと思うよ」		
	20				挿絵を直す　板書に波線を書く			
	25				「はいじゃあ，Ｓ２さん教えて」	S 発「私もＳ２２さんの意見と似ていて，えっと，ちょっとＳ２２さんの意見からも分かったことなんだけど，えっと，なんかみんなたぶん地域の人で優しくしてくれる人もいると思うんだけど，私も時々地域っていうか，近所の人に，よく帰ってくるときに言われたりするんだけど，あとよくさ，学校の下校の時とかに，旗当番の人とか居るやんか」		
	30							
	35				「うん」			
	40							
	45							
	50							
	55				板書を見る			
32	0					S「う～ん」		

	5				「あぁ～」（納得したように）	S 発「たぶんおじいさんの気持ちとかもそういう人たちと同じようで，安全にちゃんと帰ってねとか，もしも事故とかにあったら，さっき言ったみたいに，家族みたいな人だからすごい悲しいやんか？」		
	10							
	15				板書をする			
	20				板書を見ながら「うん」	S「うん」		
	25					S 発「で，安全にちゃんと帰ってもらって，そういうちょっと厳しいこと言うかもしれないけど，そういうのが可愛いがっているっていうか，裕二さんを大切にしていることだから，えっと，うん，大切にしていて，ちゃんと安全に帰るんだよって思って，おじいさんはそう言ったんだと思うよ」		
	30							
	35				板書をする			
	40				同様			
	45				「Ｓ１さん，どう思う？」	S「う～ん」		
	50				笑いながら「何も言ってないよ，何も言ってないよ」	S 発「えっと，僕は，え!?」 S：笑う		
	55					S 発「急に笑い出したから！」　S：笑う		
33	0					S 発「えっと，裕二さんはずっとむしゃくしゃしていたよね？」		
	5				相づちをうつ	S「う～ん」　S 発「でもこうやって思い返すと，自分を大切にしているおじいさんが，そうも大切な存在だということは，最初の方は裕二さんは気		
	10							
	15				「う～ん」			

						付いていなかったよね」		
	20				沈黙	S 発「だからあの・・・」言葉に詰まり沈黙		
	25				同様	同様		
	30				同様	同様		
	35				同様	S 発「ちょっともう一回考えてもいいですか」(小声で)		
	40				オッケーサインを出す　「今，Ｓ１さんが言ったこと分かった？」	S「うん」		
	45				「大切な存在に，なんて言いかけた，いま？いやいや，みんなに訊いているんだ」	S：笑う		
	50				「ごめんごめん，いまＳ１さん何て言ってくれた？」	S：自由発言		
	55				「いやいや，その次や」			
34	0				「『大切な存在に』，何て言おうとしたの？」　「うん」	S「気付いた」　黒板を見る		
	5				板書をする　囲む　矢印でつなぐ			
	10				「えーとね，そんな気付いたんだろうね，きっと」	S「うん」		
	15				「で，そんなぼくはおじいさんに，こんなことしようとしたね」			
	20				本文を読む	（ほとんどの児童）資料を見る		
	25				同様			
	30				①「『･･･声をかけてみよう』って考えたんだね．」　③「ちがうの？」　」	②頷く　④「そう」		
	35				「ぼくはどんな声をかけるんだろう，おじいさんに」			
	40				黒板に紙を貼る	それぞれ考えて手を挙げる		

	45				「どんな声をかけるんだろう，おじいさんに会ったら次は」			
	50					徐々に手を挙げ始める		
	55							
35	0							
	5				「はい，じゃあＳ２３さん」	S 発「えっと，裕二さんは，おじいさんが自分を大切にしてくれているってことに気付いたから，おじいさんは心配っていうか，そういう風に例えば，ちゃんと体に気をつけてねとか」		
	10				チョークを持つ			
	15							
	20							
	25				相づちをうつ	S「う～ん」　S 発「そう言う言葉を言うと思います」　S「う～ん」		
	30				板書をする	S「他に」（挙手をする）		
	35				同様			
	40				「はい，じゃあ次，Ｓ８さん」	S 発「えっと，さっきみんなが言ったみたいに，『ごめんね』って最初に謝って，それで今Ｓ２３さんが言ったみたいに，『無理しないでね』みたいな感じのことを言うと思います」		
	45							
	50				板書をする			
	55				相づちをうつ	S「う～ん，他に」（挙手をする）		
36	0				「他に．他にっていってくれたね．はいじゃあ，Ｓ３さん」	S 発「はい，えっと，私は今の２人とは違って，『いつも声を掛けてくれてありがとう』って言うと思います」		
	5							
	10				「あぁ～」（納得）	S「あぁ～」　（一番にＳ２４さんが手を挙げる）		

	15				チョークを置く　「はい，じゃあＳ２４さん」	S発「はい，えっと，Ｓ３さんが『声を掛けてくれてありがとう』って言ってくれて，最後にはおじいさんに『これからもよろしくね』ってことを伝えると思うよ」		
	20				時計を確認する			
	25				板書をする（黄色で）	S「あぁ～」（同意）		
	30					板書をするのを見る		
	35							
	40							
	45				「で，みんなが言ってくれた声やね，ぼくはかけたんだろうね，きっと」	S「うん」		
	50				「で，おじいさんこんなこと言うんやね」　資料を読む	資料を見る児童と黒板を見る児童		
	55				児童を見ながら，資料を読む			
37	0				同様			
	5				「Ｓ８さん最初に言ってくれたね」			
	10				「何で幸せな気持ちになったか，みんなで話し合いたいって，授業の最初に言ってくれたけども．何でぼくは幸せな気持ちになったんだろう」	Ｓ１２さん・Ｓ３さん・Ｓ９さんが挙手をする．その後何名か挙げる		
	15							
	20				「はいじゃあ，Ｓ２５さん」	S発「はい．えっと，裕二さんは前，最初の方では，むしゃくしゃしていて，おじいさんが心配して声を掛けてくれたけど，無視してしまったよね？」		
	25				チョークを持つ			
	30							
	35				相づちをうつ	S「うん」　S発「でも，お父さんにおじいさんが教えてくれたとか言って		
	40							
	45							

	50					くれて，その時におじいさんとかが，えっと，自分のこと心配してそうやって声掛けてくれたって気付いて，自分は地域の人にそうやって，優しくしてくれたり，見守られて，そうやって安全にいつもいられて，おじいさんがいつも心配してくれるから，そうやって何か自分でも気をつけたりとか，そういうことができるから，自分が見守られているって思うと，なんかすごい幸せっていうか，それですごい嬉しくなって，みんなも何か，お母さんとかそうやって心配されると，結構嬉しい．何かちょっと寂しいときとか，うんと何て言うんやろ？心配されたりすると，それだけ自分が思われているって思って，嬉しいじゃんか」		
	55				板書をする（黄色で）			
38	0							
	5							
	10							
	15							
	20							
	25							
	30				時計を確認する			
	35				相づちをうつ	S「うん」　S発「だから裕二さんも，その時もそれだけ自分が思われている，みんなに思われているから，ずごい幸せな気持ちになったんだと思うよ」		
	40							
	45					S「う～ん」		
	50				波線を書く	S「それに～」（挙手をする）		

	55				全体を見回す			
39	0				同様			
	5				「最初に疑問を言ってくれたＳ８さん，ちょっと教えて．今はどう？」			
	10					S 発「えっと，最初は，裕二さんはその大切に思われているとか，家族みたいに思われているってことを感じていなかったやんか」		
	15							
	20				相づちをうつ　板書を見る	S「うん」　S 発「それでだけど，お父さんの話とか，今思うとそうやって大切にされてきたということが実感できたから，裕二さんは幸せな気持ちになれたというか，分かったよ」		
	25							
	30				板書をする（黄色で）			
	35							
	40				板書しながら相づち	S「う～ん」		
	45				「もう１人教えてくれる？じゃあ誰か，はい」　全体を見回す	S「はい」（挙手をする）		
	50				「じゃあ，Ｓ２４さんちょっと教えて」	S 発「はい．えっと，幸せっていうのは，今まで声を掛けてくれたありがたさが」		
	55					S「うん」（頷く）		
40	0					S 発「分かって，そうやって普通に声を掛けてくれるってことが，何よりも幸せってことに気付いたから，そうやって明日？明日えっと『そんな年じゃないで，若い者にはまだまだ負けんぞ』，		
	5				相づちをうつ			
	10				板書をする（黄色で）			
	15							
	20				プリントを配る準備をする			
	25							
	30							

						て普通におじいさんと会話ができる，触れることができることが，すごく幸せなことだって気付いたから，そうやって言えておじいさんと会話ができたら，本当の幸せが得られるんだろうな，って思ったんだと思うよ」		
	35				板書をする（白で）	S「あぁ～」		
	40							
	45				「はい，じゃあね，えーっと，道徳の勉強をして自分が思ったことをノートに書いてくださいね．道徳ノートに」			
	50				プリントを配り始める	（一部の児童）少し頷く		
	55					プリントが配られた児童から感想を書き始める		
41	0							
	5							
	10				「えー時間がないのでね，日にちとか資料名はもう無しで，名前を書いたらもう，思ったことをその下から書き始めてください」			
	15							
	20				赤ペンを持ち机間指導			
	25				同様			
	30				同様			
	35				同様			
	40				同様			
	45				同様			
	50				小声で「鉛筆は？ふふっ　他には？」			
	55				机間指導			
42	0				板書に目を向ける			

	5				机間指導（児童のノートに線や丸を付けながら）			
	10				同様			
	15				同様			
	20				同様			
	25				同様			
	30				同様			
	35				同様			
	40				同様			
	45				同様			
	50				同様			
	55				同様			
43	0				同様			
	5				同様			
	10				「あぁ，いいねえ」（ささやく）			
	15				同様			
	20				同様			
	25				同様			
	30				時計を確認する			
	35				「お，いいねえ」（ささやく）			
	40				机間指導			
	45				同様			
	50				「うん，あ～」			
	55				同様			
44	0				児童の書いた意見に反応する			
	5				「あぁ，いいねえ」（ささやく）			
	10							
	15							
	20							
	25							
	30				「うんうん，そやね」			
	35				「ちょっと見せて」　チャイムが鳴る			

	40				「ちょっとＳ１７さんは違うってことやね」			
	45				移動する「うんそうやね，そういうところ大事やね」	S「うん」		
	50							
	55							
45	0							
	5				「はい，じゃあ，途中ですけどちょっと鉛筆置いてください」	S「はい」　鉛筆を置き，顔を上げる		
	10				「途中だけどちょっとね，思ったこと教えてください」	S「はい」　挙手をする		
	15				全体を見渡す			
	20				「はい，じゃあ，Ｓ２０さん教えて」	S 発「はい，私は，今までお母さんに，あれやりなさいとかこれやりなさいとか言われて，裕二さんのように大きなお世話だって思ったり，うるさいと思ったりしたけと，道徳の勉強をして，お母さんは私が大人になったときとか，１人で片付けとかできたり，言われなくてもできるように心配して声を掛けてくれたんだと思ったし，私のために一生懸命働いたり，家事をやったり，私のためにやってくれているんだから，これからは，ちゃんとお母さんの注意とか,声を掛けてくれたら,ちゃんと受け止めて自分のことは自分でやりたいと思いました．」		
	25				他の児童の様子を何度か見る			
	30							
	35							
	40							
	45							
	50							
	55							
46	0				相づちをうつ			
	5							
	10							
	15							
	20							
	25							
	30							
	35				相づちをうつ			
	40							

	45				相づちを打つ	S「う～ん」		
	50				「Ｓ２３さん，ちょっと教えて」	S 発「私は勉強する前は，自分はあんまり見守られてないんじゃないかと思っていたけれど，勉強して，自分は家族とか近所の方々にちゃんと見守られていて，それで，えっと，向こうに帰っていく人には分かると思うんだけど，〇〇の前で服を着て・・・」		
	55							
47	0							
	5							
	10							
	15							
	20							
	25				①「横断歩道のとこ？」　③「はい」	②S 発「そう」		
	30					S 発「おじいさんがいっつも立っていてくれるよね？」　S「うん」		
	35					S 発「そういう人に感謝をして，いつも大きな声であいさつをしたりしたいなと思いました」		
	40				②児童が意見を言い終えて直ぐに「はい，じゃあ終わりましょう」	①「う～ん」		
	45					S「背筋をのばしてください」　一同「はい」		
	50				先生「はい，じゃあ終わります」	S「これで 3 時間目の道徳の勉強を終わります」 一同「終わります」		
	55				「4 時間目何やったっけ？あ，ちょっとね一回集めて良いかな，みんな」	S「はい」		
48	0				「こうやって集めて，こうやって．折って班長に出しといて」	S：プリントを集める		
	5				同様	同様		

関連資料を基に（１）～（４）の授業分析を実践してみましょう.

（１）教師と児童の行動分析（Ｐ１４～１５参考）

場面/経過時間		教師の活動							児童の活動				
		1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5
		説明場面	指示場面	確認場面	発問場面	板書場面	支援場面	その他の場面	思考場面	発表場面	発問への応答場面	自主的な質問場面	その他の場面
0	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
1	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
2	0												
	5												
	10												

	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
3	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
4	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
5	0												
	5												

	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
6	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
7	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
8	0												

	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
9	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
10	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												

11	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
12	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
13	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												

	55												
14	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
15	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
16	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												

	50												
	55												
17	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
18	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
19	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												

	45												
	50												
	55												
20	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
21	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
22	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												

	40												
	45												
	50												
	55												
23	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
24	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
25	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												

	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
26	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
27	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
28	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												

	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
29	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
30	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
31	0												
	5												
	10												
	15												
	20												

	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
32	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
33	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
34	0												
	5												
	10												
	15												

	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
35	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
36	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
37	0												
	5												
	10												

	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
38	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
39	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
40	0												
	5												

	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
41	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
42	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
43	0												

	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
44	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
45	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												

46	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	50												
	55												
47	0												
	5												
	10												
	15												
	20												
	25												
	30												
	35												
	40												
	45												
	計												
	総数												

＜教師の場面＞

・「その他の場面」には，机間指導・教材準備の場面を含む．

＜児童の場面＞

・「その他の場面」には，ペア交流・プリントへの書き込み・挙手場面を含む．

（例）・「思考場面」は，ペア交流・プリントへの書き込み・教師の発問に対する思考の場面だけをカウントした．

■教師と児童の行動分析

教師と児童の行動分析から，どのようなことがわかりましたか.

この授業においてどの活動場面がみられたのか４つ記述しなさい.

（１）

（２）

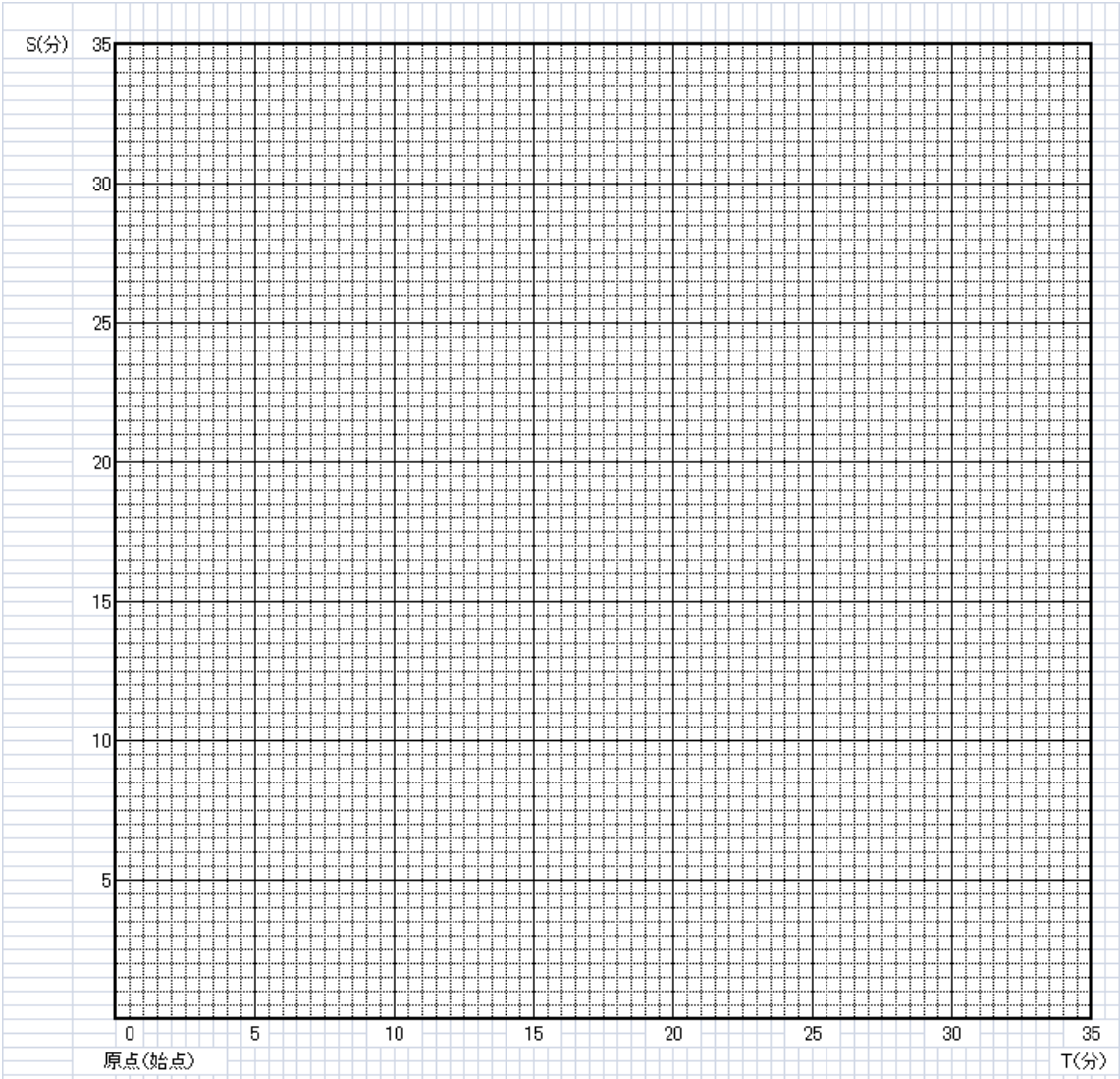
（３）

（４）

（２）Ｓ－Ｔ授業分析（Ｐ１６～１７参考）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	0:30	1:00	1:30	2:00	2:30	3:00	3:30	4:00	4:30	5:00
1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	5:30	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00
2	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00
4	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	20:30	21:00	21:30	22:00	22:30	23:00	23:30	24:00	24:30	25:00

5	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	25:30	26:00	26:30	27:00	27:30	28:00	28:30	29:00	29:30	30:00
6	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	30:30	31:00	31:30	32:00	32:30	33:00	33:30	34:00	34:30	35:00
7	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	35:30	36:00	36:30	37:00	37:30	38:00	38:30	39:00	39:30	40:00
8	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	40:30	41:00	41:30	42:00	42:30	43:00	43:30	44:00	44:30	45:00
9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	45:30	46:00	46:30	47:00	47:30	48:00	48:30	49:00	49:30	50:00



S-Tグラフ

■Ｓ－Ｔ授業分析

Ｓ－Ｔ授業分析から，どのようなことがわかりましたか.

授業中の児童と教師との行動関係の特徴を４つ記述しなさい.

（１）

（２）

（３）

（４）

（３）コミュニケーション分析（Ｐ１８～２０参考）

①コミュニケーション分析記録表（P32～62）のカテゴリー分析をして完成させなさい

②カテゴリー分析からマトリックス表を完成させなさい.

＜コミュニケーション分析＞

データの個数／先	後の発言																							
先の発言	1	2	3	4	5a	5b	5c	5d	6a	6b	6c	7a	7b	7c	8a	8b	9a	9b	10a	10b	11a	11b	12	Z	総計
1																									
2																									
3																									
4																									
5a																									
5b																									
5c																									
5d																									
6a																									
6b																									
6c																									
7a																									
7b																									
7c																									
8a																									
8b																									
9a																									
9b																									
10a																									
10b																									
11a																									
11b																									
12																									
Z																									
総計																									

領域の説明(VICS)

データの個数／先	後の発言																							
先の発言	1	2	3	4	5a	5b	5c	5d	6a	6b	6c	7a	7b	7c	8a	8b	9a	9b	10a	10b	11a	11b	12	Z	総計
1	A				B							C											U		
2																									
3																									
4																									
5a	D				E				F			G													
5b																									
5c																									
5d																									
6a					H				I			J													
6b																									
6c																									
7a	K				L				M			N									O				
7b																									
7c																									
8a																									
8b																									
9a																									
9b																									
10a																									
10b																									
11a	P				Q				R			S									T				
11b																									
12	U																								
Z																									
総計																									

＜コミュニケーション分析＞
カテゴリー・システム

自発	教師の始めた会話	１　提示			
		２　指示			
		３　せまい質問			
		４　広い質問			
応答	教師の反応	５　受容	5a	アイデア	
			5b	行動	
			5c	感情	
			5d	視聴	
		６　拒否	6a	アイデア	
			6b	行動	
			6c	感情	
応答	児童の反応	７　反応	7a	対　教師	予測可能
			7b		予測不能
			7c	対　児童	
			7d	感情	
		８　活動	8a	個人	
			8b	グループ	
		９　視聴	9a	対　教師	
			9b	対　児童	
		１０　拒否	１０a	対　教師	
			１０b	対　児童	
自発	児童の始めた会話	１１　発言	１１a	対　個	
			１１b	対　全体	
その他		１２　沈黙			
		Ｚ　無関係			

＜コミュニケーション分析＞
領域の説明

A	情報や意見の提示、指示、質問など教師のはじめの発言。教師が長い間はなし続けていることが特徴。教師と生徒間の相互作用を示す領域ではない。
B	教師のはじめの発言に受容か拒否に入る。教師の応答としての発言が続いていることを意味している。
C	教師のはじめの会話に続く生徒の会話すべての会話が含まれる。
D	教師の応答としての発言に続いて、教師のはじめの発言がなされている。
E	教師の受容行動の継続を示す。アイディア、行動、感情の広範な受容と、これらの言語的なパターンのいずれかから他のパターンへの移行も含まれる。
F	教師の受容行動に続いて、教師の拒否行動が生じている。
G	教師の受容的発言に続く生徒の発言を示す。
H	教師の拒否行動に続いて、教師の受容行動が生じている。
I	教師の側の広範囲にわたる拒否行動が含まれる。アイディア、行動、感情の拒否と、これらの行動のいずれかから他のパターンへの移行も含まれる。
J	教師の拒否的な発言に続く生徒の発言すべてが含まれる。
K	生徒の応答行動に続いて、教師のはじめの行動を指す。
L	生徒の応答に、教師の受容が続いている。
M	生徒の応答を教師が拒否している。
N	教師、あるいは他の生徒に対する生徒の広範な応答、または活動を示す。
O	生徒の応答発言に生徒のはじめの発言が続いている。
P	生徒のはじめの行動に教師のはじめの行動が続いている。
Q	生徒のはじめの会話に続いて、教師の受容がなされる。
R	生徒のはじめの会話に対する教師の拒否を示す。
S	生徒のはじめの発言に続いて、生徒の応答としての発言がなされている。
T	教師あるいは他の生徒に向けての生徒のはじめの発言が含まれる。
U	沈黙か混乱を表す領域。

■コミュニケーション分析

コミュニケーション分析から，どのようなことがわかりましたか.

マトリックス表からこの授業の特徴を４つ記述しなさい.

（1）

（2）

（3）

（4）

（４）ジェスチャー分析（Ｐ２１参考）

授業記録（ＤＶＤ）を視聴し，教師のジェスチャー分析をしなさい.

ジェスチャー動作のカテゴリー		5	10	15	20	25	30	35	40	45		総数	%	
模倣動作	人や物の動きや形を模倣する													← カウント
														← 実数
指示動作	眼前にある物あるいは人を指す													
様態動作	人や物のようすを表す													
数字動作	数を示したり、数えたりする													
強調動作	語句や文節を強めたり、聞き手に同意や確認を求めたりする													
実演・資料説明動作	実物・資料の提示やそれらを使った説明をする													
黒板説明動作	板書の一部を指し示す													
同意動作	児童の意見に同意する動作													
思考動作	教師の考えている動作													
その他の動作														
総数														
%														

■ジェスチャー分析

ジェスチャー分析から，どのようなことがわかりましたか.

分析表からこの教師のジェスチャーの特徴とその効果を記述しなさい.

第２章　授業アーカイブの実践

１．　英国教育の概要

本学ではロンドンの学校の授業を撮影し，授業分析を行った．日本とは教育制度やカリキュラム等が異なる諸外国において，授業研究を行う際には，その国の教育についての情報を収集・整理しておく必要がある．映像や授業分析の結果だけでなく，教育の背景，制度や変遷等を合わせて記録に残すことが重要である．

注：イギリスは，４地域（イングランド，ウェールズ，スコットランド，北アイルランド）からなる国家である．その中でも，スコットランドと北アイルランドは独立性が強く，それぞれ独立した法律によって教育改革等を進めている．イギリスの人口はイングランドが全体の８３％を占めており，イングランドとの共通性が高いウェールズと合わせると約９０％になる．したがって，本報告書における「英国」・「イギリス」とは，４地域の中でも主にイングランドに対応している．

１．教育改革の概要

英国における教育改革の概要を以下に示す．

（１）サッチャー，メージャー政権の取り組み（1987 年～）

① 主な改革の内容

＜サッチャー政権＞

・「ナショナル・カリキュラム」を作成した．

・ナショナル・カリキュラムの到達度をみるための「全国テスト」を実施した．

・地方教育当局の権限を縮減，国庫補助学校の創設，親の学校選択を促進．

＜メージャー政権＞

・学校監査制度の再編強化を行った．

・学校の説明責任を重視し，「パフォーマンス・テーブル」を導入した．

・「保育ヴァウチャー」を導入した．

・中等教育における「スペシャリスト・スクール」を創設した．

サッチャー政権は，他の先進国と比べた学力低下を大きな問題として教育改革を前面に出し，市場原理の教育への応用による教育水準向上と効率的な学校運営を重視した．

サッチャー第３次政権には「1988 年教育改革法」が成立した．大規模かつ急進的で，イギリスの教育制度を抜本的に改革する画期的な法律であった．義務教育段階の公立学校のカリキュラムについて，共通の

履修すべき教科と教育内容をナショナル・カリキュラムとして定め，その実施評価としてナショナルテストを行うことが規定された.

メージャー首相の教育政策として，挙げるべきは教育水準局(Office for Standards in Education) の創設である. 1996 年には，学校監査法(School Inspection Act) が制定されたことにより学校監査制度はより精緻化された. しかし，メージャー政権では新自由主義教育の限界が見られ，保守党教育改革への批判が生じた.

② 改革の評価

明確な指標の導入によって学校や児童生徒の達成度の客観的な評価を可能になった. しかし，競争から取り残される学校や生徒への配慮不足や教育困難地域等に対する具体的な施策の不足という状況から，国全体としての教育水準は向上しなかったといえる.

（2）第一期ブレア政権の取り組み（1997 年～）

① 主な改革の内容

・読み書き計算を重視する授業の編成.
・「保育ヴァウチャー」「国庫補助学校」を廃止した.
・特に小学校（5－11 歳の 6 年間）に重点を置き，教育条件の改善を目指した.
・小学校低学年における 30 人学級を実現した.
・教育への公財政支出の充実させた.
・学校や地方教育当局の運営に際し，民間資金の導入に積極的であった.

ブレア首相は「政策のトップに教育をかかげた最初の首相」といわれている. 就任直後の演説で「私に最優先事項は何かと聞いてくれ. 答えよう. 教育，教育，そして教育である. 」と述べた言葉は有名である.

また「市場原理」より，親と学校，地方と中央，官と民など様々なレベルで連携を強調し，とりわけ地方教育当局の役割を再確認した.

② 改革の評価

小学校を中心に学力向上ついて改善が見られた. 一方，様々な新制度の導入や報告事務の増加に伴い，教員の事務量が増大するなど，教員の待遇改善が進まず，都市部を中心に教員不足が深刻化した.

（３）第二期ブレア政権の改革（2001 年～2007 年）

① 主な改革の内容

・小学校に引き続き，中等学校（11－16 歳の 5 年間）の改革を推進した.

・小学校と同様に，読み書き計算重視の授業編成を重視した.

・学校の多様化・弾力化を通じた教育の活性化.

・スペシャリスト・スクールの増加，宗教団体や民間企業による学校経営参画を奨励.

・教員確保のための各種方策を取り入れた.

２．教育行政の概要

（１）法制度

・「1996 年教育法（Education Act1996）」は，1994 年以降の様々な教育法を統合したものである．初等・中等・継続教育や義務教育，地方教育当局，ナショナル・カリキュラム，特別な教育的ニーズ，私立学校等，基本的な教育制度について定めている.

・「1998 年学校水準・枠組法（School　Standards and Framework Act 1998）」は，教育水準向上のための施策（小学校 1・2 学年の 30 人学級，教育改善地区，大臣，地方教育当局公立学校による閉校命令等）の他，公立学校の種類・予算の仕組み，学校への入学手続き等について定めている.

・「2001 年特別な教育的ニーズ･障害法」は，画一性の打破やアカウンタビリティ強化などの改革方針を示した改正法案を基に「2002 年教育法」として成立した.

（２）教育機関

教育技能省（DfES：Department for Education and Skills）は，日本の文部科学省に当たる政府の教育部門であるが，イギリスでは教育技能省から独立した教育に関わる政府機関も多くある．以下に示すのは，イギリスの基本的な教育機関である.

【イングランド教育機関の基本概略図】

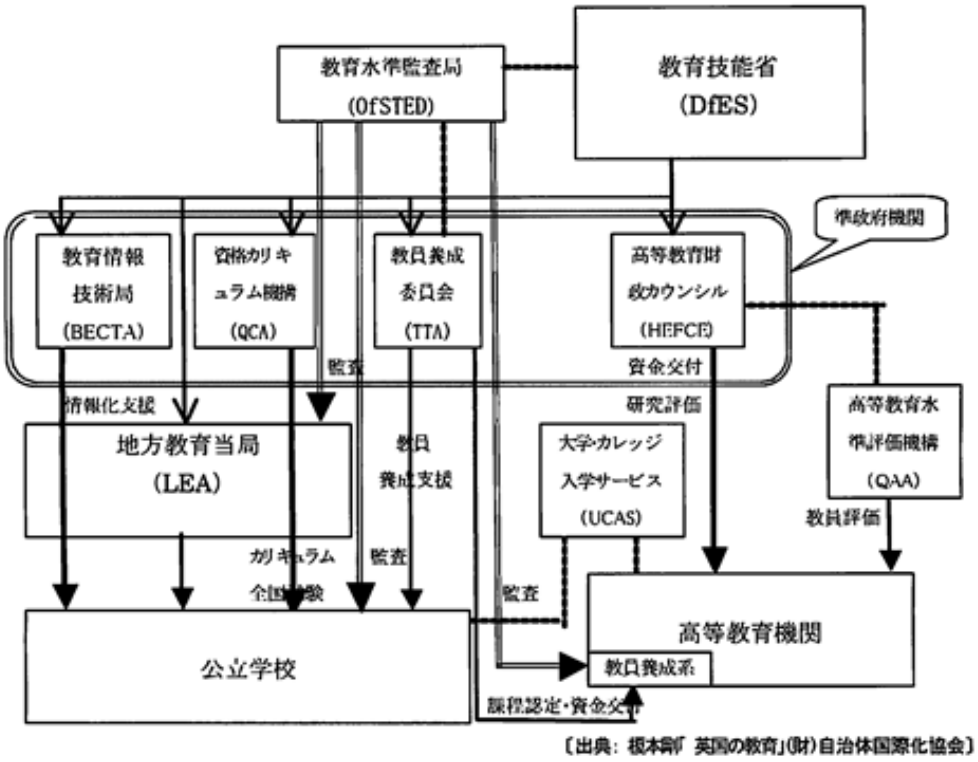


図１８　イングランドの教育機関

① **準政府機関**・・・・・・教育技能省（DfES）と一体的に活動する教育機関もあるが，独立した組織であり，通常，教育技能大臣により任命された理事会により運営されている．

② **教育水準監査局**（OfSTED）・・・・・・1839 年に創設された勅任視学官制度が，その後 150 年以上の歴史を踏まえ，教育（学校）法改正により，1992 年 9 月に政府機関として設立された機関である．現在は 2005 年に制定された教育法に設立根拠がある．

③ **資格カリキュラム機構**（QCA）・・・・・・「1997 年教育法」第 21 条により設置された．ナショナル･カリキュラムに関する具体的な業務や全国テスト･資格テストの水準管理業務などを担当している．

④ **教員養成委員会**（TTA）・・・・・・「1994 年教育法」により設置された．教育技能大臣が任命した理事 13 人，職員約 110 人からなり，教育水準監査局の監査結果等を基にして教員養成機関の課程認定や評価の業務を担っている．

⑤ **地方教育当局**（LEA）・・・・・・地方公共団体における教育部局として 150 の地方教育当局が存在している．地方教育当局の役割は「地域における精神的，道徳的，知的及び身体的発達に貢献するため，地域住民のニーズに沿った 効果的な初等教育，中等教育及び継続教育を保証する」(「1996 年教育法」第 13 条)とされている．

（３）教育水準監査局（OfSTED：Office for Standards in Education）

公教育の成果と質を高めるため，イギリス全土の学校教育の査察・評価を行い，報告とアドバイスを行う公機関である．公立学校，私立学校，地方教委の査察・評価を行う．教育技能省（DfES）と教育水準監査局との間では，意見交換が行われているが，教育水準監査局の分析や助言については独立性が保たれている．

【主な機能】

①学校，地方自治体，教員養成についての監査を行う
②幼児保護や保護施策の監査と関係機関との調整を図る
③教育技能大臣に対し助言する
④国会答弁を行う
⑤教育技能省の施策を評価する
⑥子ども関連の意識調査等を実施する

【主な目的】

①学校から独立した第三者評価の提供
②学校の自己評価と改善の補完や促進
③保護者・地域に学校の教育情報（質・水準）を提供
④各校の強み・弱みを明確にし，改善の助言を行う
⑤学校水準を把握，大臣に進言，政策へ反映する

【主な監査内容】

①教育の質は，子どもたちの能力等に応じて提供されているか.
②教育目標や基準が到達されているか.
③校長のリーダーシップや経営の質（予算の効果的な執行を含める）.
④子どもたちの精神性，道徳性，社会性，文化性が開発されているか.
⑤子どもたちにとって，学校は満足できる状態にあるか.

【学校監査の特徴】

イギリスの全学校（小中学校では合計約 2 万 2 千校）・地方教委を定期的に査察・評価する．原則として，調査の２～１日前に，調査を実施することを学校に通知し，調査は普通 2 日間で行う．すべてのチームに，教職経験のない人が一人いることも特徴である．

監査の実施後，４段階の評定を行う（「１．大変優れている（outstanding）」「２．優れている（good or better）」「３．十分である（satisfactory）」「４．不十分である（inadequate）」）．「３」と判断された学校については 3 年に一度，「２」と判断された学校については，前回調査から 5 年以内の任意の時期に一度，調査が行われる．「４」と判断された学校は「改善必要校（Notice to Improve）」又は「特別措置対象校(Special Measure)」に分類され，学校改善等の措置を行わなければならない．また，OfSTED から「特別措置が必要」というの報告を受けても，2 年以内に改善が見込まれない場合，教育技能大臣は閉校を命じることができる．

報告書は，監査実施後 6 週間以内にまとめられる．学校は，報告書受領後 40 日以内に，

監査官の勧告をいかに実施するかについてまとめたアクションプランを公表することになっている．

（４）教育財政

イギリス全体（イングランド他３地域を含む）の公財政（国及び地方の合計）における教育予算の占める割合は，1984-85 年度の 10.3%から上昇し続け，2001-02 年度には 12.9%に達している．

また，政府は 2002 年に発表した「政府支出見通し」において，教育関連費は政府予算の中でも高い増額割合を示した．教育を政策の最優先課題と位置づけ，教育改革を重視･継続する姿勢を見せている．

（５）学校教育制度（初等・中等教育）

①学校制度

イギリスの義務教育の修業年限は 11 年間であるが，小学校から大学を卒業するまでの年限の合計は，日本と同じく 16 年となる．９月に新学期が開始される．

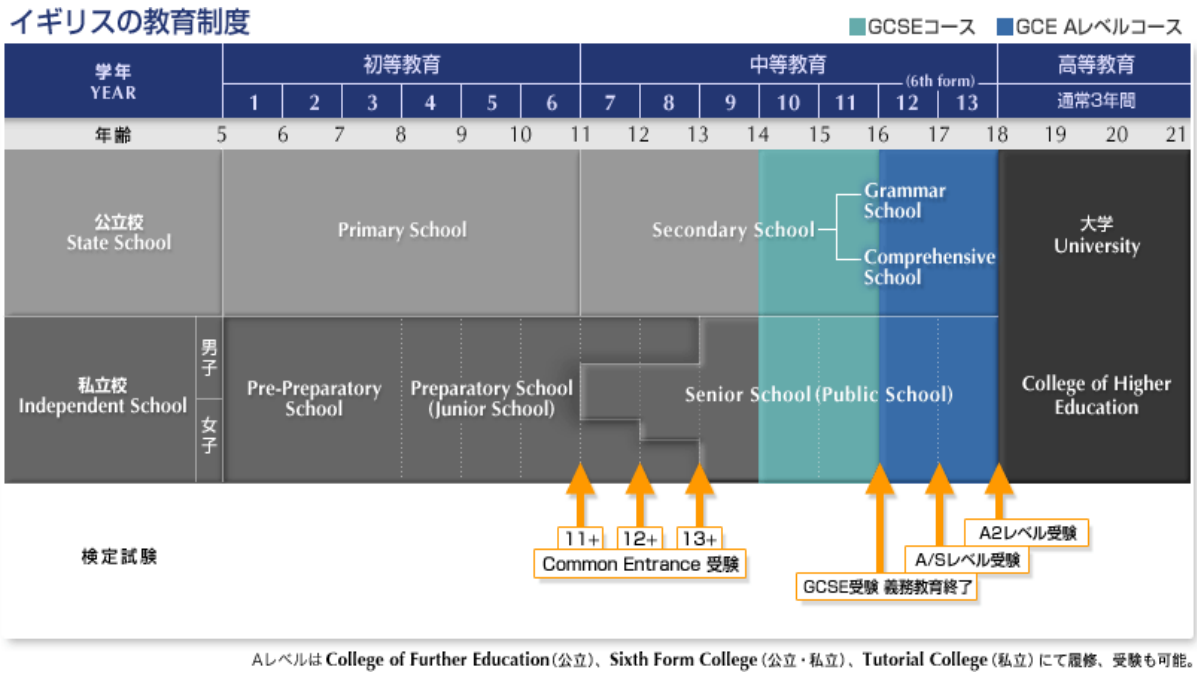


図１９　イギリスの教育制度（出典：ギャビタス http://www.gabbitas.co.jp/education/index.html ）

②学校の種類

・公立学校（maintained schools／state schools）…地方教育当局により設置・維持

・私立学校（independent schools）…公費を受けない

※ 英国の公立学校には，もともと自治体主導で設置されたものと，教会をはじめとする

民間団体が設置したものがあるため，いくつかの種類に分かれる．

・就学前教育

就学前教育は，一般的に３～５歳を対象としている．日本のような独立した幼稚園（nursery schools）もあるが，小学校に幼稚部が併設されている場合が多い（nursery classes within primary schools）．そのなかでも，義務教育直前の学級は就学前学級（reception class）と呼ばれる．

・初等教育

初等教育は５～１１歳（卒業時）までの６年間，小学校（primary school）で行われる．小学校ではさらに，１～２年生を低学年（infant），３～６年生を高学年（junior）として２つの段階に区分している．

小学校が，低学年のみの学校（infant schools）と，高学年のみの学校（junior schools）として別々に分かれている地域もある．

・中等教育

11～16 歳（卒業時）の５年間（義務教育の後期）は，中等学校（secondary schools）で学ぶ. 公立の中等学校のほとんど（９割弱）が, コンプリヘンシブ・スクール（comprehensive schools）という総合制中等学校であり, 小学校の卒業者は原則として無試験で入学できる．この他に，スペシャリスト・スクール（specialist schools）がある．ナショナル･カリキュラムに加え，専門とする教科を多く行う中等学校である．技術や外国語，スポーツ，芸術，科学，コンピュータ，ビジネスなどの分野に分かれている．一方，選抜試験により成績上位者を入学させるグラマー・スクール（grammar schools, selective schools）が少数ある．

また，新しいタイプの中等学校として，2000 年３月，政府は，社会経済的な困難による都市部の教育困難地域の教育水準の向上を目的に，公営独立中等学校（publicly funded independent schools）である「シティアカデミー」の導入を打ち出した．

私立学校（independent schools）としては，パブリック・スクールと呼ばれる伝統的なエリート校と，それ以外の私立学校がある．全体の約７％の生徒が私立学校で学んでいる．

トラスト・スクール（Trust School）は，2006 年，ブレア首相が「学校に更なる自由を」というスローガンを掲げて具体化した中等学校レベルの新たな形態の学校である．その特徴は，①自校の校舎や敷地をどの場所に立てるか，もしくは，購入するかについての学校独自に選択権がある．②学校が独自にそのスタッフを雇い入れることができる．③入学選考基準について学校が独自に設定，管理をすることができる．労働党政府が目指す公教育の柔軟性，多様性をテーマとする試みの一つであり，特に公教育を制度面から見直そうとする動きの中で導入された，新しい公立学校のあり方である．

・特別学校

特別な教育的ニーズ（SEN：Special Educational Needs）を必要とする児童生徒のための特別学校（Special Schools）が設けられている．地方教育当局（LEA）が設置するものと私立のものがある．学校規模としては児童生徒数 100 人以下の小規模なところが多い．特別な教育的ニーズ（SEN）があるかどうかは，各学校や地方教育当局が「実施規約」に沿って評価することとなっている．

・児童生徒受入施設

児童生徒受入施設（PRU：Pupil Referral Units）は，退学処分を受けた児童生徒等，通常の学校に通学することが困難な児童生徒を一時的に受け入れ，就学機会を与えるための施設である．施設での指導を通じて改善が見られれば，通常の学校に復帰することが期待されているが，中等学校の後期段階の場合は，施設に在籍したままＧＣＳＥ（統一試験）を受験して卒業する場合もある．また，通常の学校と児童生徒受入施設に二重在籍して，それぞれで指導を受けることも可能である．

③学校理事会

すべての公立学校には，学校理事会（School Governing Bodies）が置かれることになっている．理事の人数は，学校の種類や学校の児童生徒数により異なった定めがあるが，構成員は，保護者の代表，地方教育当局（LEA）の代表（政治家の場合もある），教員の代表，職員の代表，地域の代表，校長となっている．

公立学校は，学校理事会の監督の下に運営されるが，実際の管理運営を進めるうえで，校長と学校理事会の関係はどちらか一方が上に立つというものではない．意思決定機関は学校理事会，執行機関は校長とし，補い合って責任分担するとされている．

（６）カリキュラム

ナショナル･カリキュラムは，公立学校に適用されるものであり，「1988 年教育改革法」により制度化された．教育技能大臣がナショナル･カリキュラムを定めることとしており，教科ごとに「ナショナル･カリキュラムの到達目標及び学習事項に関する命令」が公表されている．カリキュラムに関する具体の業務は，法律・命令を受けて「資格カリキュラム機構（QCA）」が担う．ナショナル･カリキュラムは，義務教育段階の 11 年間を 4 段階のキーステージに分けている．

３．日本との共通点・相違点

イギリスの「ナショナル・カリキュラム」は，日本の学習指導要領と類似しているといわれている．実際「ナショナル・カリキュラム」導入時には，当時のイギリスの教育科学省はカリキュラム作業委員会の委員 19 名を日本に派遣し，日本の数学教育の実態を調査し，作成の参考にしている．しかし，日本との相違点もいくつかある．

①イギリスにおいては，日本のような教科に対する法的な授業時間数の規定がない．（コア教科(中核教科)では一定の授業時間数の縛りがあるが，周辺の教科(基礎教科)について厳密な授業時間数の規定はない）

②イギリスでは，ナショナル・カリキュラムの具現化は各学校に委ねられているが，唯一ナショナルテストを通じて，その到達度がチェックされる．それに対して日本では，検定教科書の使用によって，学習指導要領に沿った教育を行うことが義務付けられている．イギリスには国定および検定教科書は存在しない．また，ナショナル・カリキュラムは，教授方法や各学校でのカリキュラム組織方法までは規定していないため，教師は教材選択の際，自分の教える個々の生徒の状況を考慮に入れ，専門的判断を行うことができる．

イギリスでは，サッチャー教育改革以降ある程度の制限が課されるようになったとはいえ，教師は専門職として認められていること，また社会全体として専門職に自由裁量の余地を与える傾向が強いことから，依然として教師の自由裁量の余地が相当存在する，といえる．

■イギリスと教育を調べて，日本の教育との違いについて述べなさい．

２．　英国における授業アーカイブ

（１）学校の概要（OfSTED によるもの）

授業分析を行った学校は，英国のロンドン郊外に位置する“Stockwell Park High school”である．企業と事業経営についての専門学校であり，１１歳から１６歳の年齢の生徒が約1,000 人が通っている．女子よりも男子が多い．学校は，貧困レベルの高い地域にあり，生徒の多くは，経済条件において恵まれない状況の家庭から来ている．

子ども達の出身国は様々であり，ほぼ半分の生徒が英語を第一言語としない家庭の出身である．特別な教育上の必要性を申し立てる生徒の数は平均より少ないが，学習困難と学習障害を抱える生徒数は非常に多く，生徒数の半分以上を占めている．

（２）学校のカリキュラム

カリキュラムは豊かで，幅広く，バランスが保たれている．学校は，GCSE（General Certificate of Secondary Education：一般教育証明試験）という統一試験において，伝統的な職業コースの優れたカリキュラムを提供している．その中で，個人の需要を満たすことへのさらなるサポートが必要とされている．例えば，小グループによる指導などである．10 学年と 11 学年には，すべての生徒は広範囲にわたる資格から選ばれる職業コースをとる．『人生のためのポートフォリオ』プログラムは，非常に上手く設計されている．それは，カリキュラムに浸透するビジネスと企業学習を企画，評定，公認するためのモデルを提供している．

（３）授業資料

撮影したのは「ドラマ」という授業である．イギリスの中学・高校（11～18 歳）で行われている授業である．身体表現（ドラマ）を通して，国語・社会・歴史・数学など様々な教科と連動しながら行われている．その方法は，小学校の様々な授業の中でも活用されている．またドラマ教育は，言葉の通じない他国の子ども達にも，コミュニケーション・ツールとして大きな役割を果たしているといえる．以下に，教師カメラによる授業の様子と活動原簿表を示す．

①教師カメラ映像記録（英国）（２０秒ごと）

教師.Still001

教師.Still002

教師.Still003

教師.Still004

教師.Still005

教師.Still006

教師.Still007

教師.Still008

教師.Still009

教師.Still010

教師.Still011

教師.Still012

教師.Still013

教師.Still014

教師.Still015

教師.Still016

教師.Still017

教師.Still018

教師.Still019

教師.Still020

教師.Still021

教師.Still022

教師.Still023

教師.Still024

教師.Still025

教師.Still026

教師.Still027

教師.Still028

教師.Still029

教師.Still030

教師.Still031

教師.Still032

教師.Still033

教師.Still034

教師.Still035

教師.Still036

教師.Still037

教師.Still038

教師.Still039

教師.Still040

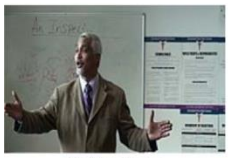
教師.Still041

教師.Still042

教師.Still043

教師.Still044

教師.Still045


教師.Still046

教師.Still047

教師.Still048

教師.Still049

教師.Still050

教師.Still051

教師.Still052

教師.Still053

教師.Still054

教師.Still055

教師.Still056

教師.Still057

教師.Still058

教師.Still059

教師.Still060

教師.Still061

教師.Still062

教師.Still063

教師.Still064

教師.Still065

教師.Still066

教師.Still067

教師.Still068

教師.Still069

教師.Still070

教師.Still071

教師.Still072

教師.Still073

教師.Still074

教師.Still075

教師.Still076

教師.Still077

教師.Still078

教師.Still079

教師.Still080

教師.Still081

教師.Still082

教師.Still083

教師.Still084

教師.Still085

教師.Still086

教師.Still087

教師.Still088

教師.Still089

教師.Still090

教師.Still091

教師.Still092

教師.Still093

教師.Still094

教師.Still095

教師.Still096

教師.Still097

教師.Still098

教師.Still099

教師.Still100

教師.Still101

教師.Still102

教師.Still103

教師.Still104

教師.Still105

教師.Still106

教師.Still107

教師.Still108

教師.Still109

教師.Still110

教師.Still111

教師.Still112

教師.Still113

教師.Still114

教師.Still115

教師.Still116

教師.Still117

教師.Still118

教師.Still119

教師.Still120

教師.Still121

教師.Still122

教師.Still123

教師.Still124

教師.Still125

教師.Still126

教師.Still127

教師.Still128

教師.Still129

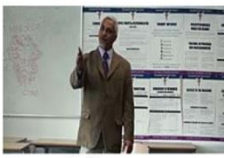
教師.Still130

教師.Still131

教師.Still132

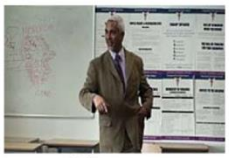
教師.Still133

教師.Still134


教師.Still135

教師.Still136

教師.Still137


教師.Still138

教師.Still139

教師.Still140

②コミュニケーション分析記録表（活動原簿表）

教　材　　drama　　２０１０年　２月　２６日

時分	秒	T(先生)	S（児童）	行動記録メモ　T		行動記録メモ　S	
0	0	1		Focus on the coin. Anybody can start now .	コインに集中して．誰が始めてもいいですよ，はい．		
	5		7c			One　Two　Three	一　二　三
	10		7c			Four　Five	四　五
	15		7c			Six　Seven　Eight　Nine	六　七　八　九
	20		7c			Ten　Eleven　Twelve　Thirteen	十　十一　十二　十三
	25		7c	Ahhhhh!　Good.	あー！　いいでしょう．	Fourteen　Fifteen　Ahhhhh!	十四　十五　あー！
	30	5c		That was good. Clap your hands. Come on. (clap) Very good. So, fifteen.	良かったですよ．拍手して．さあ．(拍手)よく出来ました．十五ですね．		
	35	1		I'll take fifteen. I'm going to add one thing else, now, to that.	十五ならいいでしょう．今からこれにもう一つ(ルールを)加えましょう．		
	40	1		If, Karis says a number, and then, you are not able to say one, neither is Mellisa.	カリスが数を言った場合，(右隣の)あなたも，メリッサ(左隣)も，両方とも言うことができません．		
	45	3		So, it's got to go across all the time.	つまり，常に向かい側の人に行くことになります．		

				Yes?	いいですか？		
	50	5c		Because, if, if somebody besides you says, and then you have to go. But, fifteen is good.	つまり･･･隣の人が言った場合は，それでおしまいです． でも，十五はいいですね．		
	55	2		It means that we've got four goes and we want to hold it up. All eyes on the coin… One!	あと４回チャンスがあります．この調子でやりましょう． みんな，コインを見て･･･ 一！		
1	0		7c			Two Three Four	二 三 四
	5		7c			Five Six Seven Eight Nine Ten	五 六 七 八 九 十
	10		7c			Eleven Twelve Thirteen Fourteen	十一 十二 十三 十四
	15		7c			Fifteen Sixteen Seventeen Eighteen Nineteen Twenty	十五 十六 十七 十八 十九 二十

	20		7c			Twenty one Twenty two	二十一 二十二
	25		7c			Twenty three Twenty four Twenty five Twenty six Twenty seven	二十三 二十四 二十五 二十六 二十七
	30	5c		All right, good. Twenty eight is fine. Twenty eight is fine.	はい，いいでしょう． 二十八は素晴らしい． 二十八は素晴らしいです．	Eight…Ahhhhh!	八･･･あー！
	35	2		All right, three goes, all eyes on the coin, starting now!	さあ，あと三回です．みんなコインを見て･･･，はい，始め！		
	40	5c	7c	Good.	いいでしょう．	One Two Three Four (A pupil giggles)	一 二 三 四 (児童の一人，クスクス笑い)
	45	2		Close to each other. Two goes, all eyes on the coin, starting…	あと二回．みんなコインを見て，始めますよ･･･		
	50	2	7c	…now!	･･･はい！	One Two	一 二
	55		7c			Three Four	三 四
2	0		7c	Ahhhh!	あー！	Five Six Seven Eight	五 六 七 八

						Nine Ten	九 十
	5	1		We keep twenty seven. That's ten. All right, the last one.	最高は二十七ですね. 今のは十でした. さあ，最後です.		
	10	2		And, all eyes on the coin… Focus, concentrate!	みんな，コインを見て･･･ 集中，集中！		
	15	5c		Let us try to get into the thirties. You've done marvellously well... And…one!	三十台を目指しましょう. 今のところ，みんなとてもよくやってますよ．では･･･一！		
	20		7c			Two Three	二 三
	25		7c			Four Five Six	四 五 六
	30		7c	Ahhhh, eight, nine…	あー，八，九･･･	Seven Eight Nine	七 八 九
	35	5c		All right, well done. Twenty seven is good. So, next week,	はい，よく出来ました. 二十七はいいですね. さて，来週,		
	40	1		next week is the parents' evening. The parents…	来週の夜は保護者会があります．保護者は･･･		

	45	1		So, the following week, we'll pick up from twenty seven and we will continue to see how close we can get to a hundred.	だから，次の週は二十七から始めて，どこまで 100 に近づけるか試しましょう．		
	50	5c		But I think twenty seven is just good today.	でも，今日の二十七はとてもよく出来たと思いますよ．		
	55	1		All right, we are gonna play a game where we're just gonna walk around, walk around,	さて，これから，ぐるぐる歩き回って，		
3	0	3		walk around, and when I call the number, you will get into that group. Yes?　No running,	さて，これから，ぐるぐる歩き回って，先生が数を言ったら，その数のグループを作るというゲームをします． いいですか？　走ったり，		
	5	1		no pushing, no pulling, no shoving. Now, the pupil to get into the group	押したり，引っ張ったり，小突いたりしてはいけません．さて，最後に残ってしまった人は座って，先生がアウトの人を見つけるのを手伝います．		
	10	1		last will be the one going to sit and help me see			

	15	2		who is going to be out. Walk, walk, walk. Go! (sound of drum)	歩いて，歩いて，歩いて． 始め！ (ドラムの音)		
	20	2		(sound of drum) One! Ok. Good, good, what we are doing?	(ドラムの音) 一！ OK. いいですよ，いいですよ．何をしていますか？		
	25	2		Very good. Walk, walk, walk, walk, walk, walk, walk, walk, walk…	とてもいいですね． 歩いて，歩いて，歩いて，歩いて，歩いて，歩いて，歩いて，歩いて，歩いて…		
	30	3		Two! Who is grabbing? Who is pushing? Who is shoving?	二！ 誰かを掴んでいる人はいますか？ 誰かを押している人は？ 誰かを小突いている人は？		
	35	5c		Ok. Good. All, square.	OK，いいでしょう． みんなおあいこですね．		
	40	5c		Well done! Don't try to pitch up against anybody. Walk free.	よく出来ました！ 誰かにペースを合わせようとしないで， 自由に歩いて．		
	45	1		I'm going to give you, um, the	えー，これから，みんなの歩いてい		

				situation in which you are going to be walking	る状況を想定します.		
	50	2		and, uh, I'd like you to consider that while you are moving about.	その状況を考えながら動いてください.		
	55	1		All right? You are walking on the street hurriedly to meet your mum at the super market.	いいですか？ あなたは，お母さんとスーパーで落ち合うことになっていて，大急ぎで道を歩いています.		
4	0	2		Go. (sound of drum)	始め. (ドラムの音)		
	5	5c		Three! Well done,	三！ いいね,		
	10	5c		well done, well done. Very good. Why are you pushing? Come down here, you little one.	いいね，よく出来ました. とてもいいですよ. 君，なんで押しているの？ おちびさん，こっちに来なさい.		
	15	5c		You sit over there. Very good.	君はそこに座って. いいでしょう.		
	20	2		Same walking, Go! (sound of drum)	同じ状況で, 始め！ (ドラムの音)		
	25	3		(sound of drum) Five! Who is pushing?	(ドラムの音) 五！ 誰かを押している人は？		

	30	5c		Who is shoving? Let me see. Five - very good over there.	誰かを小突いている人は？ どれどれ？ 5 人-そちら(のグループ)よく出来ました.		
	35	5c		Seven - quite good there. Very good. And you've got five here. One, four, fifteen, sixteen…	7 人-そちらも，まあまあいいでしょう. いいですよ. こちらも 5 人いますね. 一，四，十五，十六，十七…		
	40	2		…and walk! (sound of drum) Six!	… はい，歩いて！ (ドラムの音) 六！		
	45	5c		Very good, very good! At six, six,	いいですよ，とてもいいです！ 六人，六人		
	50	5c		at that seven there, we've got there last five, another less. So sorry.	そちらは七人，最後のそちらは 5 人，一人足りないですね. 残念.		
	55	5c		You've got particularly well. Thank you. Is that your one, two, three, four, five, six, seven, and one, two, three, four, five, six.	君は特によく出来ていたのにね. ありがとう. そちらは，一，二，三，四，五，六，七人，それと，一，二，三，四，五，六人.		

5	0	1		Fantastic. Can we see now who is going to be getting there late?	すばらしい. じゃあ，次は，誰が遅刻しそうか見てみましょう.		
	5	1		And, you are late for school and you just saw a bus coming but, without running, you are walking fast enough to catch it.	あなたは学校に遅れています．バスが来るのがちょうど見えました．走らずに，でもバスに間に合うように早歩きします.		
	10	2		Go! (sound of drum)	始め！ (ドラムの音)		
	15	3		Seven! Who is pushing? Who is shoving?	七！ 誰かを押している人は？ 小突いている人は？		
	20	3		Who is pulling? Let's see. Oh, well, here we go.	引っ張っている人は？ さあ，どうでしょう？ さあ，始めますよ.		
	25	3		Did you see?(asking to children behind) One, two, three,	見えましたか？ (後ろの児童に尋ねる声) 一，二，三	(Noise of pupils)	(児童の声)
	30	5b		four, five, six, seven One, two, three, four,	四，五，六，七 一，二，三，四,		
	35	5b		five, six, seven, eight…so sorry but…	五，六，七，八･･･ 残念，でも･･･ 君はこっちへ.		

				Come on then.			
	40	1		Right, ready? A big enough space and walk around even more.	準備は良いですか？ 十分にスペースをとって，もっと歩き回りましょう.		
	45	2		Spread out, spread out, spread out. Quietly,	広がって，広がって，広がって.		
	50	1		you are going to a church… and go! (Sound of drum)	あなたは，静かに，教会に行くところです･･･それでは，始め！(ドラムの音)		
	55	5c		Four! Fine.	四！ いいでしょう.		
6	0	2		Same, walk! (Sound of drum) Three.	同じ状況で！ (ドラムの音) 三！		
	5	2		And walk, walk, walk, walk, walk.	歩いて，歩いて，歩いて，歩いて，歩いて		
	10	2		Go! (Sound of drum) One!	始め！ (ドラムの音) 一！		
	15	5c		Oh, there you go. (Sound of drum) Three!	そう，その調子. (ドラムの音) 三！　　(笑う)		
	20	2		Walk. (Sound of drum) Two!	歩いて. (ドラムの音) 二！		
	25	2		Everybody, back in the centre,	みんな，中央に戻ってください.	Ah!	あー！

				please.			
	30	5c		Everybody, back in the centre. Very good.	みんな，中央に戻って. よくできました.		
	35	2		Now, what I'd like you to do is to get close to together,	さあ，今から，みんなで出来る限りくっついてください.		
	40	2		as close as you can, Nadir, come, as close as you can, everybody,	ナディア，こっちに来て. みんな，出来るだけくっついて.		
	45	1		And you are going to reach out the hands and try to hold somebody else's hand. Don't let it go because we are going to try to unravel the holding of the hands and to make a complete circle.	そして，手を伸ばして，誰かの手を握ります. みんなの握りあった手を解いて，完全な円を作ります．だから途中で手を離さないように.		
	50	1		try to unravel the holding of the hands and to make a complete circle.			
	55	2		A big, big group together. All right, pupil? Come closer, closer, closer,	みんな一緒の大きな，大きなグループです みんな，いいですか？		

					近づいて，近づいて，近づいて，		
7	0	2		right in, right in, right in, right in. Reach out both hands, both hands. Don't squeeze,	入って，入って，入って，入って．両方の手を伸ばして，両方ですよ．ぎゅうぎゅう押さない，		
	5	6c		don't squeeze, Um, um... Feisal is tiny. Oh, good lord!	押さないで．うーん，ファイサルは小さいんですからね．おやまあ．		
	10	2		All right? And, relax everybody. Relax your hands, relax your hands, relax your hands,	大丈夫ですか？みんな，リラックスして．手をリラックスして，リラックス，リラックス．		
	15	2		Everybody, relax.	みんな，リラックスして．		
	20	3		Wait, wait! Listen! And… Is it all right, there?	待って，待ってください！聞いてください！そっち，大丈夫ですか？		
	25	5b	7b	Monica isn't in. All right. And Emmanuel, you stand here.	モニカが入っていないんだね．分かりました．それからエマニュエル，こっちに立って．	Monica isn't in.	モニカが入ってない．
	30	5a		Let me see. All right. Is everybody,	そうですねぇ．いいですね．みんな，みんな		

				everybody… You come around here.	は･･･ 君，こっちに来て．		
	35	3		Are all the hands held? All right. Wait, wait!	手はつながっていますか？ それでは， 待って，待って．		
	40	5c		Yes? Drop all hands now. Very good.	何ですか？ みんな，手を離してください． よく出来ました．		
	45	2		All right? Get back in. Nice? And just make yourself nice.	大丈夫ですか？ 元に戻って． 大丈夫ですか？ 楽にしてください．	Mr. White!	ホワイト先生！
	50	2	11a	Yes? Shinei, you lead this section for me, please.	何ですか．　シュネイ，このグループのリーダーをしてくれますか．	It takes time, these, and it hurts. Yeah.	これ，時間がかかって痛い！ うん．
	55	5c		Very good. And both hands must be held.	とてもいいですよ． 両手をつながないといけませんよ．		
8	0	5b			(生徒を誘導)		
	5	3		All right? Is that good? Ready? Three, two, one…	いいですか？ 大丈夫ですか？ 準備はいいですか？ 三，二，一，･･･		
	10	1		…without breaking the hands, you are going to try to come out in a nice big circle.	･･･手を離さずに，みんなで上手に大きな円を作りましょう．		

	15	5b		Here we go. Ready? Yeah, are you gonna talk to each other	せーの！ 準備は？ そう，お互い話し合って方法を探すんですよ．	(Pupils giggling and talking)	(生徒のクスクス笑いと会話)
	20	2		and find out? Take time. Oh, you drop your hands here. You sit down.	時間を掛けて． ああ，ここは手を離してしまいましたね． 君は座って．		
	25	2		Wait,	待って，	(Pupils giggling and talking)	(生徒のクスクス笑いと会話)
	30	2		wait, wait, and go! Stop, stop, stop! Drop hands.	待って，待って･･･，さあ，始め！ ストップ，ストップ，ストップ！ 手を解いて！		
	35	5a		Right. That might need…	はい． ･･･が必要かもしれませんね．		
	40	5d	11a	And… Yes. Two groups, please!	それでは･･･ そうですね． 二つのグループになってください！	Two groups might be good.	グループ二つのほうが良いかもしれない．
	45	2		Two groups! Two groups!	二つのグループに．二つのグループに．		
	50		8b	Right. Yes.	そう． はい，	Hey, come, John! Come on, girls! Come over here!	ジョン，こっち！ 女子，早く，早く！ こっちに来て！

	55	2		Very good. Shinei, can you lead this section for me?	よくできました． シュネイ，このグループのリーダーをしてくれますか．		
9	0	1		Everybody get close, hold hands, and points for the group that finishes.	みんな，近づいて，手を握って．それから，出来たチームには点をあげます．		
	5	2		And…, Emmanuel, you lead this for me.	それから，エマニュエル，このグループのリーダーをしてください．		
	10	5c		Close in, yes, Nadir, that's very good. Close in, close in.	近づいて，そう，ナディア，とてもいいですね． もっと，もっと近づいて．		
	15	5c		Very good. Hold hands, hold hands, hold hands.	いいでしょう． 手を握って，手を握って，手を握って．		
	20	2		Very good. Wait, wait, wait. Both hands. Ok. No pulling,	とてもいいですよ． 待って，待って，待って． 両手ですよ． OK. 引っ張ったり，		
	25	3		no pushing, no shoving. And both group ready?	押したり，小突いたりしない． 両方とも，準備はいいですか？		
	30	1		On the count of three.	(先生が)三つ数えてからですよ．		

				I'm going to explain to you to unravel	自分たちのペースで解くようにお願いしますよ.		
	35	2		in your own time. Listen. Ismail, can you…	聞いてください. イズマイル，ちょっと･･･		
	40	3		No, we haven't started yet. I said on the count of three. Ready?	いいえ，まだ始まっていません. 三つ数えてから，と言ったでしょう. 準備はいいですか？		
	45	3		Hold. Ready? Boys there.	手を握って. 準備はいい？ 男子はそっちに.		
	50	1		Three, two, one.	三，二，一		
	55	2		And, slowly…begin!	ゆっくりと･･･始め！		
10	0		8b		（生徒の様子を見まわる）	(Noise of pupils' unravelling hands)	(生徒，輪を解き始める)
	5		8b		同様		同様
	10		8b		同様		同様
	15	5c		And good. Well done. Drop hands,	いいですよ. よく出来ました. 手を下ろして		
	20	2		drop hands. And,	手を下ろして.		
	25	5c		ok, fine. Drop hands. Good.	OK，いいです. 手を下ろしてください. よく出来ました.		
	30	5b	5c	Drop hands. This group won.	手を下ろして. こちらのグループ	(Pupils cheer)	(生徒の拍手と歓声)

				Give them a loud applause.	の勝ち. このチームに拍手してください.		
	35	1		This group was much better. All right. Um…Shh!	こっちのグループの方が上手かったね. それでは, シー！		
	40	2		One last game to play. Can we stand in a circle, please?	最後のゲームです. みんな，円になってください.		
	45	1	7a	A big circle. Name game.	大きな円になって. 名前ゲーム.	Ahh!	あー！
	50	1		Hesitation, out. Repetition, not the one where we say it three times,	ちゅうちょはアウト. 繰り返しは，その名前を三回呼んだ場合ではなくて,		
	55	1		but the one where we say it once but it became too long.	一回しか呼んでいなくても，言うのに時間がかかりすぎた時のことです.		
11	0	5a	11a	And then you have to sit down. All right? Yes, I'm playing in. So, whom you can say.	これをしてしまった人は座ります. いいですか？ はい，先生も参加します. だから先生の名前も呼んでいいですよ.	Mr. White! Are you playing that one?	先生，先生も参加するの？

	5	5a	11a	Drew, hands out of your pocket. Yes. You go to the position. Well done.	ドリュー，ポケットから手を出して． いいですよ． そして，その(名前の人の)場所に行きます． 結構．	Mr. White! Can we say anybody's name?	先生！ 誰の名前を呼んでもいいんですか．
	10	5b	11a	Yes, please? No, no hesitation.	はい，何ですか． ちゅうしょはダメです．	Mr. White! Can we stop and then can we start?	先生！ ストップして，それから言ってもいいですか？
	15	2	7c	No repetition. And, Tanashe, can you start, please? Go! Good bye!	繰り返しもダメ． じゃあ，タナシェ，君から始めてください． 始め！ グッド・バイ！	Aswan Um…	アシュワン えーっと･･･
	20	5c	11a	You may sit. Very good. Well played.	座ってください． 結構． よく出来ました．	Mr., can I start?	先生，僕が始めてもいいですか？
	25	2		Yes, Tanashe, will continue because you just got Aswan out. Now, go!	はい，タナシェ，アシュワンがアウトになったので君が続けてください． では，始め！	Billy Elisa	ビリー エリサ
	30	5c	7c	Well done.	よく出来ました．	Um, E…mmanuel! Oh, good bye!	えーっと， エ･･･マニュエル！ あー，グッド･

							バイ！
	35	2	7c	And… Tanashe, yes, it was. Continue.	えっと…タナシェ，そうでしたね．続けて．	Laura Vaneeta John	ローラ ヴァニータ ジョン
	40	5c	7c	Very good, Vaneeta. All right, come.	よく出来ました，ヴァニータ． じゃあ，（こちらに）来て．	Emmanuel Umm…	エマニュエル うーん，
	45	3		Well done. Spot, spot the difference.(talking to children behind) No, it was you who got Vaneeta, wasn't it?	よく出来ました．君たち，違いを見つけて．（座っている児童に対して） いいや，君がヴァニータと言ったんじゃなかったかな？	?	?
	50	3	7b	Who's got Vaneeta? Oh, right. All right, you start.	誰がヴァニータと言いましたか？ OK. それじゃあ，君からだね．	I've got Vaneeta.	僕がヴァニータと言いました．
	55	2	7c	Ready? Play.	準備はいいですか？ 始め．	Alice Ismail Shinei	アリス イズマイル シュネイ
12	0	5c	7c	Ah, come here. Sit down here. OK. Very good.	あー，こっちに来て． ここに座ってください． OK. よく出来ました．	Asmir Vaneeta Ah…Fani…Ahhhh!	アジミール ヴァニータ えーっと，ファミ･･･あー!
	5	1	7c	Asmir, your go.	アジミール，君の番です．	? Joseph	? ジョセフ

						John	ジョン
	10	6c	7c	Too long! Yes? Too long.	長すぎ(時間がかかりすぎ)！ はい. 長すぎ.	Josh…umm… Mr.! ?	うーん，ジョシュ・・・ 先生！ ?
	15	6c		Too long. Hesitation. Yes? Good.	長すぎです. ためらいでしたね. そうじゃありませんか? いいでしょう.	? Michelle Ismail	? ミシェル イズマイル
	20	5c		Ta-ta! Right, very good. Have you seen…? （asking children behind）	バイバイ！ はい，よく出来ました. 君たち，見えたかな？(後ろの児童に向かって)	Umm…(he leaves)	うーん･･･（グループから離れて後ろに行く）
	25	2	11a	Yes, play!	はい，始めてください.	Can I play, Sir? Josh Asmir ?	先生，私が始めてもいいですか? ジョッシュ アジミール ?
	30		7c	Good bye, Shaneeda.	グッド・バイ，シャニーダ.	Joseph Michelle Shinei Carol Shaneeda Blahh!	ジョセフ ミシェル シュネイ キャロル シャニーダ あー！
	35	3		Right. Remember? (asking to pupils behind)	いいですか. 覚えていますか？ (後ろの児童に向かって)		

	40	2		Ready? Three, two, one…	準備はいいですか. 三，二，一･･･		
	45	2		…Play!	･･･始め！	Mr. White! (Pupil giggle)	ホワイト先生！ (児童，クスクス笑い)
	50	5c	7c	That was very good. All right, well done. Play!	とてもいい手でしたね！ やあ，よく出来ました. 始め！	Good bye! Asmir ?	グッド・バイ！ アジミール ?
	55		7c			? Michelle Laura ? Nigel …	? ミシェル ローラ ? ナイジェル ･･･
13	0	2	7c	Three, two, one, play!	（ドラム） 三，二，一，始め！	(Pupil giggle) Alice Umm…	(児童，クスクス笑い) アリス うーん,
	5	5c	7c	Well done, well done. Three, two, one, play!	いいよ，よく出来ました. 三，二，一，始め！	(Pupil giggle) Good bye!	(児童，クスクス笑い) グッド･バイ！
	10		7c			Joe Naseen Asmir Joseph Laura …	ジョー ナシーン アジミール ジョセフ ローラ ･･･
	15	5c	11a	Oh, well done. Two merits for the winner.	はい，よく出来ました！ 勝った人に 2 点.	Can I start?	始めてもいいですか.

	20	2	7c	Yes, please. Go!	はい，どうぞ. 始め！	Michelle Shinei Joseph Asmir Nigel Shinei	ミシェル シュネイ ジョセフ アジミール ナイジェル シュネイ
	25	5c		Well done. Well played.	よく出来ました. 上手かったね.	(The pupil laughs)	(児童，笑いだす)
	30	2	7c	And…three, two, one, play!	では･･･三, 二, 一, 始め！	Joseph Michelle Asmir Nigel Michelle Nigel	ジョセフ ミシェル アジミール ナイジェル ミシェル ナイジェル
	35	3	7a	Oh, I though that was… Wasn't that Michelle? Oh, didn't he? Didn't he?(asking to everybody)	ええと，今のは･･･ミシェルだったと思ったけど. ええと，彼じゃなかった？ (みんなに向かって)彼じゃなかったかな？	I never.	僕じゃない.
	40	5c		Oh, no, he didn't. Oh, it was Rochelle. Sorry about that.	そうか，彼じゃなかったか. ロシェルだったね. ごめんね.	Nigel	ナイジェルだった.
	45	2	7c	Play!	始め！	Joseph Asmir Nigel Joseph Asmir Joseph Asmir Joseph	ジョセフ アジミール ナイジェル ジョセフ アジミール ジョセフ アジミール ジョセフ

	50	2	7c	And three…All right.	三人･･･そこまで.	Asmir Joseph	アジミール ジョセフ
	55	5c		Give them a loud applause. (Sound of claps) Right.	彼らに拍手しましょう. (拍手) それでは,		
14	0	1		Now, let's go back a bit. And just to look	ちょっと戻りましょう.		
	5	4		at which game really works today, and which one was a bit challenging.	今日やったゲームの中で，どれがうまく行って，どれが少し難しかったですか.		
	10	4	7a	Well, let's look at the challenging one first. Which one was challenging, Carol? The holding of the hands.	じゃあ，まず難しかったものから考えましょう. どれが難しかったと思いますか，キャロル？ 手をつなぐのですね.	The hands	手の（ゲーム）
	15	4	7b	Why? Yes? Communication.	なぜ？ はい，君. コミュニケーション.	I don't feel we were communicating well.	上手くコミュニケーションできなかったと思う.
	20	4	7b	And what could you do to make it easier, now, Tanashe?	じゃあ，タナシェ，どうすればもっと簡単に出来るようになると思いますか？	We can work together.	もっとみんなで協力できると思う.

	25	5c	7b	Working together. Very good. Being Patient.	そう，みんなで協力することです. よく出来ました. そう，辛抱強くすることです.	Be patient.	辛抱強さ.
	30	3		Who squeezed anybody's hand? Very good,	誰かの手をぎゅっと握った人は？ 結構,	(Pupils raise hands and giggle)	(該当の生徒, 手を上げる)
	35	3		very good. Who had their hands squeezed? Yes.	いいでしょう. 手をぎゅっと握られた人は？ そうですね,	(Pupils raise hands and giggle)	(該当の生徒, 手を上げる)
	40	5c		Very good, very good. But it's being gentle, it's being patient,	結構，いいでしょう. でも，やさしく，辛抱強くすることです.		
	45	1		just like when you are playing or acting.	それは，演技をしている時とちょうど同じです.		
	50	1		You're playing somebody's part, you're pretending to be somebody else.	誰かの役を演じている時，あるいは誰かの振りをしている時は,		
	55	1		You've got to be gentle, compassionate about the person you are pretending to be. And in that way, slowly, how that character thinks or feels will be a	やさしく，その人の気持ちになることが必要です. そうすれば，だんだんと，その役柄がどのように考え感じるかが，あなたの演技の一部となって，その役が伝えようとしてい		

				part of how you communicate what the character is trying to say.	ることを表現することが出来るようになるでしょう.		
15	0	1		you are pretending to be. And in that way, slowly,			
	5	1		how that character thinks or feels			
	10	1		will be a part of how you communicate what the character is trying to say.			
	15	3		All right. So, what are we going to do again today…? Yes, Melissa.	いいですか. では，今日またすることになっていたのは何ですか. はい，メリッサ.		
	20	5d	7a	News bulletin. And you are going to be working in groups - threes to six.	そう，ニュース放送です. 三人から六人のグループになって行います.	News bulletin.	ニュース放送.
	25	1		So, some people can play two or three parts if they like. Say, who is going to do what part.	一人で二役，三役する人がいてもいいですよ. つまり，誰が何の役をするかです.		

	30	1		Choose an interesting piece of news. But you are going to handing over	興味深いニュースを選んでください. さて，ニュースはスタジオから		
	35	5d	7a	from the studio to the…? Reporter.	どこに中継しますか. レポーターですね.	Reporter	レポーター.
	40	3	7a	And the reporter is going to be talking to…? Victim or witness. Yes.	そして，レポーターは誰にインタビューしますか. 被害者や目撃者です. そう.	The victim (A pupil says 'witness' as Mr. White says). Yes.	被害者. (ホワイト先生と同時に児童が「目撃者」と言う) そう.
	45	3	7a	And after that, you'll have the…? Weather report.	そして，その後は？ 天気予報ですね.	Weather!	天気！
	50	1		The last thing; before…when you are watching the TV,	あともう一つ．テレビを見ている時,		
	55	3	7a	before you see that piece of news, what is it you hear?	ニュースが始まる前に，何が聞こえてきますか？	Theme music!	テーマ音楽！
16	0	3	7b	Theme music. And that theme music also comes when?	テーマ音楽ですね. そして，テーマ音楽はまたいつかかりますか？	(A pupil imitate a news music)	(児童，ニュース番組の音楽の真似をする)
	5	5d	7a	When it finishes. Very good.	そう，終る時ですね. よく出来ました.	… Finishes?	･･･終る時？

	10	2		Now, you can use one of the pupils in your group to just do the theme music, you see.	ですから，テーマ音楽だけをする人がいてもいいんですよ.		
	15	2		Make up one, make it nice, I mean, even though that is something you are accustomed to.	聞いたことがあるようなものでもいいですから，何かいい音楽を作ってください.		
	20	1		Mix group, please. Three girls, two boys, or one boy, two girls. You work it through, but time for you	男女混合のグループにしてくださいね. 女子三人に男子二人とか，男子一人に女子二人とか.		
	25	2		now is to organise yourselves into groups and to begin to discuss and to plan the short scenario	今からの時間で，みんなで(後で)見ることが出来るように，グループ分けをして，話し合いをして，短いシナリオを作るところまでしてください.		
	30	2		so that we can have a look at it. All right? Ready? Off you go. (A sound of drum)	いいですか？ 準備はいいですか？ では，始め. (ドラムの音)		
	35		8b		(輪に入っていない生徒に声かけ)	(Pupils start making groups)	(児童がグループに分かれる)
	40		8b		同様		同様

	45		8b		同様		同様
	50		8b		同様		同様
	55		8b		同様		同様
17	0		8b		同様		同様
	5		8b		同様		同様
	10	3		All right?	大丈夫ですか？		
	15	3		Ready? Is this five here? Yes?	準備は出来ましたか? ここは 5 人ですか？ そう？	Yeah.	はい.
	20		8b			(pupils making groups)	(児童がグループに分かれる)
	25	5c	8b	Right. Well sorted. Very good, well done. Um, what about here?	それでは, 上手く(グループに)分かれましたね. いいですね，よく出来ました. えーっと，こちらはどうですか？		
	30	3	8b	Are you all right?	大丈夫ですか？	(Pupils start working on a work)	(児童が作業を始める)
	35		8b		（見まわる）		同様
	40		8b		同様		同様
	45		8b		同様		同様
	50		8b		同様		同様
	55		8b		同様		同様
18	0	5c	8b	Very good, over there.	そちら，いいですね.		同様
	5	2	8b	This group, come around over here.	このグループ，こっちに来て.		同様
	10	2	8b	Put chairs around and sit, and plan it thorugh.	イスを並べて座って，計画してください.	(Pupils working on a work)	(児童が作業をする)

	15	2	8b	Decide who's gonna play what part	誰がどの役をするか決めてください.		同様
	20	5c	8b	Very good.	いいですね.		同様
	25	1	8b	And remember, the main objective is to keep	一番大切な目標は，劇の間中その役になりきる事だという事を忘れないでくださいね.		同様
	30	1	8b	in character for the entire length of the play.			同様
	35	5c	8b	Very good.	いいですよ.		同様
	40		8b		（輪に入っていない生徒に声かけ. 移動して話す.）		同様
	45		8b				同様
	50		8b		同様		同様
	55		8b		同様		同様
19	0		8b		同様		同様
	5		8b		同様		同様
	10		8b		同様		同様
	15		8b		同様		同様
	20		8b		同様		同様
	25	1	8b	I'm going to give you ten minutes, which means you would have had time to work	10 分あげますから,		同様
	30	1	8b	it through two to three times to do rehearses.	二回か三回は一通りリハーサルをするんですよ.		同様
	35		8b				同様
	40		8b	（Advises a group by the window）	（窓際のグループにアドバイス）		同様
	45		8b		(見まわり，アドバイス)		同様
	50		8b		同様		同様

	55		8b		同様		同様
20	0		8b		同様		同様
	5		8b		同様		同様
	10		8b		同様		同様
	15		8b		同様		同様
	20		8b		同様		同様
	25		8b		同様		同様
	30		8b		同様		同様
	35		8b		同様		同様
	40		8b		同様		同様
	45		8b		同様		同様
	50		8b		同様		同様
	55		8b		同様		同様
21	0		8b		同様		同様
	5		8b		同様		同様
	10		8b		同様		同様
	15		8b		同様		同様
	20	2	8b	Nine minutes, please! Nine minutes.	あと九分でしてください！九分です.		同様
	25	5c	8b	And then, we'll have a look. Very good so far. Well done.	その後，みんなで見ますよ. 今のところいいですよ. よく出来ました.		同様
	30		8b		(見まわり，アドバイス)		同様
	35		8b		同様		同様
	40		8b		同様		同様
	45		8b		同様		同様
	50		8b		同様		同様
	55		8b		同様		同様
22	0		8b		同様		同様
	5		8b		同様		同様
	10		8b		同様		同様

	15		8b		同様		同様
	20		8b		同様		同様
	25	5c	8b	Eight minutes, please! Eight minutes. Very good, well done.	あと八分ですよ！ 八分. いいですね，よく出来ました.		同様
	30		8b	（Advises a group by the window）	（窓際のグループにアドバイス）		同様
	35		8b		同様		同様
	40		8b		同様		同様
	45		8b		同様		同様
	50		8b		同様		同様
	55		8b		同様		同様
23	0		8b		同様		同様
	5		8b		同様		同様
	10		8b		同様		同様
	15		8b		同様		同様
	20		8b		同様		同様
	25		8b		同様		同様
	30		8b		同様		同様
	35		8b		（声かけ）		同様
	40		8b		(見まわり，アドバイス)		同様
	45		8b		同様		同様
	50		8b		同様		同様
	55		8b		同様		同様
24	0	2	8b	Six minutes, please.	あと六分です.		同様
	5	2	8b	Everybody, it’s six minutes. And counting. Very good.	みんな，あと六分ですよ. 残り時間に注意して. 結構.		同様
	10		8b	(Advises a group	（手前のグループ		同様

				in the front)	にアドバイス）		
	15		8b		同様		同様
	20		8b		同様		同様
	25		8b		同様		同様
	30		8b		同様		同様
	35		8b		同様		同様
	40		8b		同様		同様
	45		8b		同様		同様
	50	1	8b	And don't forget that we could talk all the time about it,	それから，いいですか，いくらでも話し合いはできますが，		同様
	55	1	8b	but now you have five minutes.	あと 5 分しかないですよ．		同様
25	0	1	8b	This is about where you begin to do it; once, twice, three times.	そろそろ実際に，一回，二回，三回とやってみるころですよ．		同様
	5	1	8b	So that you can get the feel of what you are doing.	そして，自分たちの作品がどんな感じか感触をつかんでみてください．		同様
	10	1	8b	All right? So, time to really give it a go.	いいですか？ そろそろ実際にやってみる頃ですよ．		同様
	15	2	8b	Yes. To really give it a rehearsal.	そう．さあ，実際にリハーサルをしてみてください．		同様
	20	2	8b	Give it some practice.	何回か練習してください．		同様
	25		8b				同様
	30		8b				同様
	35	2	8b	Five minutes, please.	あと 5 分でしてください．		同様

				Five minutes. And counting.	あと 5 分. 残り時間に注意して.		
	40	5c	8b	Thank you.	ありがとう.		同様
	45		8b		（その場で見まわす）		同様
	50		8b		同様		同様
	55		8b		（動いて見まわる．にこやか．見守る．）		同様
26	0		8b		同様		同様
	5		8b		同様		同様
	10		8b		同様		同様
	15		8b		同様		同様
	20		8b		同様		同様
	25		8b		同様		同様
	30		8b		同様		同様
	35		8b		同様		同様
	40		8b		（時計を見る）		同様
	45	1	8b	We'll begin with this group; group one.	このグループから始めますよ．君たちは第一グループです.		同様
	50	1	8b	And then, you; group two. And then, we'll look at you; group three.	それから，君たち，第二グループ. そして，君たち，第三グループ.		同様
	55	1	8b	So, one, two, three. (as pointing to each group)	つまり，第一，第二，第三です．（各グループを指差しながら）		同様
27	0		8b				同様
	5		8b				同様
	10		8b				同様

	15		8b				同様
	20		8b	(Sound of buzzer)	(ブザーの音)		同様
	25	2	8b	Four minutes, please.	あと四分ですよ.		同様
	30	5c	8b	And, counting. Thank you. Four minutes. Well done. Very good. Lovely.	残り時間に注意して. ありがとう. 四分. よく出来ました. とてもいいですね. 上手ですね.		同様
	35	5c	8b	Fantastic. That's it. You made it together. (talks to the group by the window)	素晴らしい. そうです. みんなで作りましたね. （窓際のグループに対して）		同様
	40		8b				同様
	45		8b				同様
	50		8b				同様
	55		8b				同様
28	0		8b				同様
	5		8b				同様
	10		8b				同様
	15		8b				同様
	20		8b		（手前のグループにアドバイス）		同様
	25		8b				同様
	30		8b				同様
	35		8b				同様
	40		8b				同様
	45		8b				同様
	50		8b				同様
	55		8b				同様

29	0		8b				同様
	5		8b				同様
	10		8b				同様
	15	1	8b	(Sound of bell) Two minutes extra for that.	(ベルの音) 追加であと 2 分あげます.		同様
	20	5c	8b	Fine. Good.	いいですね．いいですよ.		同様
	25		8b				同様
	30		8b				同様
	35	2	8b	Remember, break away from the discussion. Two minutes.	いいですか，話し合いを切り上げて. あと 2 分.		同様
	40		8b		（生徒の質問を聴く）		同様
	45		8b				同様
	50	5c	8b	Very good, very good, well done. (talking to a girl in the group at the back)	いいですね，いいですね，よく出来ました．（後ろのグループの女子生徒に対して）		同様
	55		8b				同様
30	0		8b				同様
	5		8b				同様
	10	1	8b	Break away from the discussion and plan it now as far as possible.	話し合いは切り上げて，出来るだけ計画を立ててください.		同様
	15	2	8b	Do it, rehearse it, practice it.　OK?	やってみて，リハーサルしてみて，練習してみてください. いいですか？		同様
	20	1	8b	Give it a go. Build up your	試してみてください.		同様

				confidence. Thank you.	自信を築いてください．ありがとう．		
	25	1	8b	Only three minutes, now.	あと 3 分しかありません，さあ．		同様
	30	1	8b	Only three minutes.	あと 3 分ですよ．		同様
	35	1	8b	Start with the music,	音楽で始まって，		同様
	40	1	8b	then news presenter, over to the announcers,	次にアナウンサー，レポーターに移って，		同様
	45	1	8b	back to the studio, weather, end with the music.	スタジオに戻り，天気，そして音楽で終了ですよ．		同様
	50	5c	8b	Very good.	結構．		同様
	55		8b				同様
31	0		8b				同様
	5		8b				同様
	10		8b				同様
	15	5c	8b	Very good, well done. (to the group by window)	いいですね，よく出来ました．（窓際のグループに対して）		同様
	20		8b				
	25		8b				
	30	1	8b	Very good. (Sound of bell) Two minutes! And that will be all. Two minutes.	とてもいいですよ． (ベルの音) あと 2 分！ それで終わりですよ． あと 2 分です．		
	35	5c	8b	Winding down. Very good.	まとめてください． いいですね．		
	40		8b				

	45	1	8b	Enjoy but keep in role.	楽しんで，でも役になりきって.		
	50	2	8b	Keep ? in focus.	集中力をキープしてください.		
	55		8b		（声かけ．）		
32	0		8b				
	5		8b				
	10	1	8b	One minute, please. Thank you.	あと 1 分ですよ. ありがとう.		
	15	1	8b	One minute. And counting down.	あと 1 分. さあ，カウント・ダウンをしますよ.		
	20		8b				
	25		8b				
	30		8b		（思わず笑う．）		
	35		8b				
	40		8b				
	45		8b				
	50	1	8b	We are counting down.Ten!	カウント･ダウンを始めます. 十！		
	55	2	8b	Thirty seconds, please.	あと 30 秒でしてください.		
33	0		8b				
	5		8b				
	10		8b				
	15		8b				
	20	1	8b	Ten, nine,	十，九,		
	25	1	8b	eight, seven,	八，七,		
	30	1	8b	six, five,	六，五,		
	35	1	8b	four, three,	四，三,		
	40	1	8b	two,	二,		

	45	1	8b	one. (Sound of bell) Stop working, please.	一 (ベルの音) はい，作業をやめてください.		
	50	2		And just take the seat in your groups.	そしてグループごとに座ってください.		
	55	2		Stop working, please. (Sound of bell)	作業をやめてください. (ベルの音)		
34	0	2		And pull up a chair and take seat. Thank you.	イスを持ってきて座ってください. ありがとう.		
	5	5c		Well done, here, Shinei. Thank you. Laura, very good,	ここ，よく出来ましたね，シュネイ. ありがとう. ローラ，よく出来ました.		
	10	2		Emmanual, if you could take a seat. Ismail, Bermuda, can you take a seat.	エマニュエル，席についてください. イズマイル，バミューダ，席についてください.		
	15	3		Can we start, please? Thank you. Come this side. OK.	始められますか？ ありがとう. こっちに来て. OK.		
	20	2		(Sound of bell) Now, listen.	(ベルの音) さあ，聞いてください.		
	25	3		Good. Who's talking, please?	結構. 話しているのは誰ですか.		

	30	3		Remember? When you are not in the drama,	覚えていますか？ 自分が演じていない時は,		
	35	3	7a	you are a member of the? Audience. Very good.	何の役割をすればいいですか？ そう，観客です. よく出来ました.	Audience	観客
	40	1		And the audience has a responsibility to listen	そして，観客は聞き，見る責任があります.		
	45	2		and to look and not to talk.	おしゃべりをしてはいけません.		
	50	1		It is a respect for those who are performing.	これは演じている人に対して敬意を払うことです.		
	55	1		All right? So, within the time… Sit up Nadir, turn around, please,	いいですか？ ですから･･･, ナディア，ちゃんと座ってこっちを見てください,		
35	0	1		absolutely no talking. Anybody who talks is going to lose marks.	おしゃべりは絶対にいけません. おしゃべりをしている人は減点です.		
	5	1		The whole group will not lose a mark; it's only the individual who is going to talk.	グループ全体の減点ではなくて，おしゃべりをした人だけの減点になります.		
	10	1		So, this is a good practice. So, when you grow up,	これは良い練習になりますね. つまり，君たちが大人になって		

	15	1		and you go to the theatre as responsible citizens, you will take your rightful place	責任のある市民として劇場に行ったときに,		
	20	1		and you will be a part of that process. All right? We gonna watch group one.	その場に相応しい人間として参加することが出来るようになるでしょう. いいですか. これから第一グループの発表を見ます.		
	25	2		And, please, pay attention. Absolutely no talking.	よく注意して見てください. おしゃべりは絶対にダメですよ.		
	30	1		Stand by on your positions, please. Five!	では，位置について. 五！		
	35	1		Speak loudly and clearly. Four! Remember to keep the concentration	大きな声ではっきりと話してください. 四！ 集中力を保って,		
	40	1		and to sustain the character from start to the finish. Three!	始めから終わりまで役になりきってください. 三！		
	45	1		Two! One!	二！ 一！		
	50		8b	(Sound of bell)	(ベルの音)	(A pupil sings a theme music)	(テーマ音楽を歌う)

	55		8b			Hello. Reporting from the Channel 4 news. And now it's two o'clock.	こんにちは. チャンネル4のニュースをお伝えします. ただいまの時刻は2時です.
36	0		8b			We are about to speak to you about a tragic accident at the Stockwell Park High School,	月曜朝にストックウェル・パーク・ハイスクールで起きた痛ましい事故についてお伝えします.
	5		8b			which occurred on a Monday morning. A child got caught in a fire drill as her blazer got caught in a stove.	火災非難訓練中に児童の一人のブレザーが調理台に引っ掛かり，この児童が事故に巻き込まれました.
	10		8b			We are about to pass it on to Karis Mishet who is on live at Stockwell Park High School.	ストックウェル･パーク･ハイスクールから，カリス･ミシェットが生中継でお届けします.
	15		8b			So, Karis, tell me what has happened?	それでは，カリス，状況を説明してください.
	20		8b			Oh, good morning, Melissa. I'm here with one of the victims, Shinei Bedford.	メリッサ，おはようございます. 被害者の一人，シュネイ・ベッ

						And she is going to tell us exactly	ドフォードさんがこちらにいます. これからシュネイさんに，今朝，実際に
	25		8b			what happened to her this morning. So, Shinei, what did happen to you?	何が起こったのかをお聞きします. それではシュネイさん，何が起こったのですか.
	30		8b			Umm, I was in my class, ah, of food technology,	ええと，私は家庭科の授業で教室にいました.
	35		8b			and someone had caused a fire, and then, we all lined up to go,	それで，誰かが火を起こして，みんな整列することになったんですが,
	40		8b			but I had not noticed that my blazer was caught in the stove. Everyone had left.	私は自分のブレザーが調理台に引っかかってたのに気づきませんでした. みんな教室を出ていました.
	45		8b			And then, I was scared, I was coughing, couldn't breathe properly, umm…, nearly fainted.	それで，私は怖くて，咳をしていて，上手く息を吸うことが出来ませんでした．ええと，

							気を失う寸前でした.
	50		8b			And then the door burst open, I saw my friend, Nasheen, and he actually came in and helped me out.	その時，ドアがいきなり開いて，友だちのナシーンが見えました．実際に，彼は教室の中に入ってきて，私を救出してくれました.
	55		8b			Thank you very much.	大変ありがとうございました.
37	0		8b			Michelle, now we are going to the hero of the story, Nasheen Thomas Giaconda.	ミシェル，それでは，この事件のヒーロー，ナシーン・トーマス・ジャコンダくんにインタビューします.
	5		8b			So, tell us how you saved Shinei? Umm, it was terrible.	どのようにシュネイさんを救出したのですか. ええと，ひどい状況でした.
	10		8b			I noticed that my friend, Shinei Bedford, was not next to me. As I noticed that, I ran back to the class room,	友達のシュネイ・ベッドフォードさんが隣にいないことに気が付いたんです．それで，教室に走っ

							て戻りました．そうしたら彼女が咳をしているのが見えました．
	15		8b			and I saw her coughing, almost fainting…umm, to her death on the floor.	床で，失神寸前で，ええと，死にそうでした．
	20		8b			And I saw her, I dragged her, and I dragged her out of the class.	彼女を見つけて，引っ張って，教室から引っ張り出したんです．
	25		8b			And I told the teacher and he came and gave her CPR, mouth to mouth.	それから先生に伝えて，先生が来て CPR(蘇生救急)，つまり人工呼吸をしました．
	30		8b			Oh, thank you very much. Michelle, now shall go to the teacher of Shinei Bedford and Nasheen Thomas Giaconda,	そうですか，ありがとうございました． ミシェル，それではシュネイ・ベッドフォードさんとナシーン・トーマス・ジャコンダくんの先生，
	35		8b			Joe Kelly. Yes, I am, even though,	ジョー・ケリー氏にお話を伺います． ええ，実際，私は

	40		8b			the teacher of, actually, Nasheen Thomas Giaconda…	ナシーン・トーマス・ジャコンダの教員ですが・・・
	45	2	8b	Concentrate. Focus. Very good.	集中. 集中力. いいですよ.		
	50	2	8b	And compose yourself.	気持ちを落ち着かせて.	(Pupils giggle)	（クスクス笑い)
	55	2	8b	Relax.	リラックスして.	And, umm, the, the fire alarm actually went off.	それで，えーっと，実際，火災警報器がなったのです.
38	0		8b			I lined everybody.	私は生徒を整列させました.
	5		8b			OK, thank you very much, Joe. And back to you, Melissa Bancroft.	そうですか，ジョー先生，ありがとうございました. では，メリッサ・バンクロフト，スタジオに戻します.
	10		8b			OK. Reporting from BBC news.	はい．このニュースは BBC からお伝えしております.
	15		8b			Thank you for listening to this tragic accident which happened today, on a Monday morning.	本日月曜日の朝に起こった，この痛ましい事件についてお伝えしました.
	20		8b			(giggle) Now…	(クスクス笑い) それでは,
	25	2	8b	Focus,	集中，集中して.		

				concentrate.			
	30		8b			Now, reporting to the weather read.	それでは，天気予報に移ります.
	35		8b			(giggle)	(クスクス笑い)
	40		8b			Well, Good Morning, London.	ロンドンの皆さん，おはようございます.
	45		8b			Well, down in London today, it's very foggy this morning, but, during, as you go on to the rest of the day,	本日のロンドンの天気は，朝の中は霧が立ち込めますが，ご存知のように，とても冷え込んでおります．ほぼ一日中雪が降り，この雪は今週一杯続くでしょう．･･･以上です．ありがとうございました.
	50		8b			it shall be very sunny and you'll have a great day. And up in Scotland,	それ以降は快晴になり，素晴らしい一日となるでしょう．北部のスコットランドでは,
	55		8b			it's very cold, as you know, and it's going to be snowing most of the day, and this snow should continue	ご存知のように，とても冷え込んでおります．ほぼ一日中雪が降り，この雪は

39	0		8b			throughout the week. …and thank you very much.	今週一杯続くでしょう． ･･･以上です．ありがとうございました．
	5	3		And the end music takes us out?	それと，終了を告げる音楽は？		
	10		8b			(A pupil sings a theme music) (Pupils clap)	（生徒，テーマ音楽を歌う） (拍手)
	15	5c		Right. OK. Well done!	いいでしょう． OK です． よく出来ました．		
	20	2		Very quickly, very quickly, Monique… Shh!	手短に，手短に，モニーク･･･， シー！	(Pupil talking)	(おしゃべり)
	25	2		Monique,	モニーク，		
	30	4		can you just tell us who in that group kept concentration from start to the finish?	このグループの中で，誰が初めから終わりまで集中力を保っていたか教えてください？		
	35	5d	7a	Shinei.	シュネイだったね．	Umm, Shinei.	えーっと，シュネイ．
	40	5d	7b	He did, actually. Kind of. OK.	彼も出来ていたかな？ まあまあ，でしたね． OK.	Did Tanashe. Kind of.	あと，タナシェも． まあ，まあ．

	45	5a	7b	OK. So, with more practice, we should be able…	OK. でも，もっと練習すれば，きっと出来るように･･･	He started laugh. (A pupil talking)	(彼は)笑い始めたから. (児童おしゃべり)
	50	2		Joel?	ジョエル？		
	55	1		Of course, in a newscast, people do have the giggles. But this is part of the rehearsal.	もちろん，ニュース番組でもクスクス笑いが起きることはあります. でも，今回はリハーサルの一部です.		
40	0	1		The more you do it, the more the giggles go. ‘Cause it is infectious from the start.	練習すればするほど，クスクス笑いはなくなります. (クスクス笑いは)初めから伝染しますからね.		
	5	1		And what? So, you are year eight.	そうすると，どうでしょう？ 君たちは今，8 年生です.		
	10	1		But if you can vision yourself in the year eleven,	でも，11 年生になった時のことを想像してみてください.		
	15	1		doing the drama exam, all that good work; 40%;	どんなに一生懸命してきたとしても，演劇の試験の最中に笑ってしまったら 40%,		
	20	1		laugh, not you keeping your character;	役になりきれなかったら 10%になってしまいます.		
	25	1		10%. We can’t do that.	そんなことではいけません.		

	30	4		But with the more practice, we'll get there. Now, what was funny? Yes!	でも，もっと練習すれば出来るようになります. さあ，何がそんなにおかしかったのですか. はい，君！		
	35		7c			Umm, his accent. No, he does it! Yeah, And he started laughing. No, it wasn't 'cause me accent…'Cause at the start, I weren't laughing, you see?	えーと，彼のアクセント. 違うよ，彼だよ！ そうだ, で，彼が笑い始めたんだ. 違う，僕のアクセントのせいじゃない．だって，僕は最初は笑ってなかったんだから.
	40		7c			But when I said, actually, Nasheen Thomas Giaconda started to laugh. Looked at me and laughed. And then, And then what? We… It's just you laughed.	でも，僕が言った時，実際，ナシーン・トーマス・ジャコンダが笑い始めたんだ. 僕を見て，笑ったんだ. それで, それで，なんだよ？ 僕たちは･･･ 君だけが笑ったんじゃないか.

	45	6b	7c	All right.	そこまで.	You laughed at start. You made me laugh.	君が先に笑ったんだよ. で，僕もつられて笑ったんだ.
	50	2		OK.　Listen. But, as a whole group, a whole group should be working together.	OK.　聞きなさい. でも，グループ全体で，グループとして協力しなければいけません.		
	55	4		Any comments from any of us who saw? Anything you observed? Anything that you want to say?	見学した人で，他にコメントがありますか．何か気付いたことは？ 何か発言したいことはありますか.		
41	0	5c	7b	Yes? You liked the song. Very good. And quite a good song, it was, too.	はい，君. 音楽が良かったね. 結構. 本当に，なかなかいい音楽でしたね.	I liked the song.	音楽が良かった.
	5	4	7b	Anybody?　Yes, Laura?	他には？　はい，ローラ.	I liked the story, story line, yeah.	お話，プロットが良かったと思う．うん.
	10	3		It was a good story. And can you imagine? Can you imagine, a child	いいお話でしたね. そして，想像できますか？ 児童が		
	15	1		almost died because of a fire,	火事のために危うく死にそうになったのに,		

	20	1		and the teacher is laughing? It's very important.	先生が笑っていたんですよ. とても大切なポイントです.		
	25	5c	7c	Just think. Well done, though. Give them another round of applause!	考えてみてください. でも，よく出来ました. みんな，もう一度拍手しましょう.	(Pupil applause)	(拍手)
	30	3		Right. Group two, please. Can we have a look?	それでは, 第二グループ，どうぞ. みんなに見せてくれますか.		
	35	1		Five, four,	五，四,		
	40	1		three, two… And you lot over there.	三，二･･･ そちらのみんな,		
	45	3	7a	Are you able to see? So, why can you…? Come closer quickly,	見えますか？ じゃあ，なぜ･･･ 早くこっちに来て,	Not really.	あんまり.
	50	2		as a member of the audience. Very good. Come here, Tanashe. Stand by! Two!	観客になってください. よろしい. タナシェ，こっちにきて. スタンバイ！ 二		
	55	1		Standing by.	スタンバイ･･･		
42	0	1		One, Focus, concentrate,	一， 集中，集中,		

	5	2		believe in what you are doing, and play!	自分のしていることを信じて，そして，始め！		
	10		8b			(A pupil sings a theme song) Good evening. This is Saturday evening news.	(児童，テーマ音楽を歌う) こんばんは. 土曜夕方のニュースです.
	15		8b			Breaking news. Umm, during the Queen Elizabeth's wedding,	ニュース速報です. えー，エリザベス女王の結婚式の最中に
	20		8b			an assassination has tried to take place. And the Queen was shot in her shoulder blades.	暗殺が試みられました. そして，女王陛下が肩甲骨に銃弾を受けました.
	25		8b			Umm, now we go live outside of the ?. Well, thank you very much.	えー，それでは，?の外から生中継を行います. ありがとうございます.
	30		8b			OK. Umm, I'm inside the House of Parliament where the Queen was shot.	はい，　えー，私は女王陛下への発砲が行われた国会議事堂に来ています.
	35		8b			The police says they have no victim, but they do have a witness. We are very sad	警察は，犠牲者はいないと発表していますが，目撃者がいます.

						that	本当に悲しく思います
	40		8b	(A Pupil in the audience started to talk and Mr. White stopped him with 'Shh!')	（観客の児童の一人が話し始めたところをホワイト先生が「シー！」と言って制止）	… we were just here to see the wedding when the Queen was shot.	･･･私たちは女王の結婚式を見に来ていたのですが，その最中に女王が狙撃されました･･･
	45		8b			Oh, such a tragic story. Do you have any comments?	それは痛ましい話ですね. 何かコメントはありますか？
	50		8b			?	?
	55		8b			Well, ha, ha! (Pupil giggle)	そうですか, は，は！ (児童クスクス笑い)
43	0		8b			Thank you for that. And now, I'm over to Emanuel for the weather.	ありがとうございました. それでは，次はエマニュエルの天気予報です.
	5		8b				（準備）
	10		8b			Well, if you look up at the north of Scotland, you see, there is quite a lot of snow. And, if you go lower down	スコットランド北部を見ますと，かなりの雪が降っています. 次に,

	15		8b			into England and north of England, where are Manchester and Newcastle, you see, it's quite cold there.	イングランドに下り，北部イングランドのマンチェスターおよびニューカッスルを見ますと，かなり寒くなっています.
	20		8b			A huge snow showers.　And if you go down into London,	かなりの雪が降るでしょう. ロンドンまで下っても,
	25		8b			you see that it's quite really freezing, around one degree.	かなり寒くなっており，気温は0度程度でしょう.
	30		8b			But, because of the chill coming up from the lower down, you would feel a lot more colder.	しかし，低地からの冷たい空気の流れを受けて，さらに寒く感じることでしょう.
	35		8b			And so, that was for the weather new. Thank you for listening to the evening news. (A pupil sings a theme song)	以上，お天気ニュースをお伝えしました. 夕方のニュースをご覧頂きありがとうございました. (児童，テーマ音楽を歌う)
	40		8b				
	45		7c			(Pupils clap)	(生徒たちの拍手)

	50	4		Right.　Any observation? Was there a concentration a little bit much more there, than the group one?	よろしい.　何か気付いたことは？第一グループよりやや少し集中力がありましたか？		
	55	3	7a	Yes?　Yes? Would you give them more marks than the group one?	そうですか？　そうですね. では，第一グループよりも高い点数をあげますか？	Yeah.	うん.
44	0	3	7a	Yes? Yes? Think about it. Think, think, think.	あげますか？ あげますか？ この点を考えてみてください. 考えて，考えて，考えて.	No. No. We said 'No'.	ううん. ううん. あげない.
	5	5d		Well done. One difference… I come to you in a minute, Joel,	いいでしょう. 一つ違った点は･･･ ジョエル,		
	10	6a		because you were talking as a member of the audience. We weren't talking when you were performing,	君には後で聞きます．君は観客としておしゃべりをしていましたね. 君が演技をしていた時にみんなはおしゃべりしていなかったのに,		
	15	6a		but you chose to talk. I had to talk to	君はおしゃべりすることを選びました.		

				you several times about this,	君のおしゃべりについては何度も注意してきましたね.		
	20	6a		and I'm not gonna talk to you again because you are a big boy now, you are growing up.	君は成長して大人になってきているのだから，先生はもう注意することはしません.		
	25	1		You listen, look, and you wait.	聞いて，見て，そして待たなければいけません.		
	30	4		Please. I'll come to you in a minute. What was the difference between the fist news cast and the second one?	お願いしますよ. 君，後で聞きますね. 最初のニュースと二番目のニュースでは何が違いましたか.		
	35		7b	Yes?	はい，君.	Umm, the first one was more organised,	ええと，一番目はもっと上手く構成されていました.
	40		7b			although they laughed, but they were organised. And the second one was not organised.	笑ったけど，上手くまとまっていました. 二番目はまとまりがありませんでした.
	45	5c	7b	OK. Good. Yes? The song was different. Very good.	OK.　いいでしょう.　はい，君. 音楽が違いましたね. 良い点です.	The song was different.	音楽が違った.

	50	3	7a	In the first one, there was only one…?	最初のには，誰が一人しかいませんでしたか.	Witness! Reporter…	目撃者！ レポーター・・・
	55	3	7a	Reporter? A presenter. And, in this one, there were…?	レポーターですか？ アナウンサーです. そして，今のには?	Ah, yeah! Two.	あ，そう！ 二人！
45	0	5d		Two. Yes. Quite, visually, they were different and interesting to look at.	二人.　そうですね. 実際，視覚的に違って，それが見ていて興味深かったですね.		
	5	4	7b	What did you think about the weather report from Emanuel?	エマニュエルの天気予報は，どう思いましたか?	Properly organised, very organised.	とても上手に構成されていました.
	10	5d	7b	Properly organised. Very good. They've got a scarf and they used it as a prop. Yes, sure.	上手く構成されていたね. よく出来ました. スカーフを小道具として使っていましたね.　全く，その通り.	They've got a scarf.	スカーフが使われていました.
	15	5c		Well done. Very good. And lovely song, too. Now, did you have another observation?	よく出来ました. とてもいいですよ. 音楽も良かったですね. さて，君は他に気付いたことがあった？		
	20	4	7b	Tell us about it?	みんなに聞かせて	They said that,	ええと，何を言

					ください.	umm…	っていたかというと･･･
	25		12				(つまる)
	30	5a		OK. We'll come back to you.	OK. 後で聞きますね.		
	35		11a	All right.	じゃあ,	I know. They said that they said that there were no witness but they had one. Look, look!	私，分かった！「警察は目撃者がいないと言っています」と言っていたけど，でも一人いました. ねえ，ねえ！
	40	2	7b	Go on.	(君が)続けて.	They said that there was no victim but a witness. That's what they said, But there was a victim…	「犠牲者はいないけれど，目撃者がいる」と言ったんだ. 彼らはそういったけど，でも犠牲者はいました.
	45		7c			Yeah. Now the victim is the person that… (Pupil discuss)	そうだ. 犠牲者っていうのは･･･の人なんだよ. (生徒たちの議論)
	50		7c			(Pupil discuss)	(生徒たちの議論)
	55	1	7c	The clarity, the clarity. Shh!	明白さ，明白さですね. シー!	(Pupil discuss)	(生徒たちの議論)
46	0	1		Now, if, if there was a wrong piece	さあ，もし間違ったニュースを流し		

				of news item,	たとしたら,		
	5	1		there are lots of people involved in that, there has to be a national apology.	たくさんの人が関わっていますから，全国的な謝罪をしなければなりません.		
	10	1		So, this is very, very important. Some point in future,	つまり，これはとてもとても深刻な問題です. いつか,		
	15	1		I'd like to take you to the television station… , if you don't talk during the show, Joel,	みんなをテレビ・スタジオに連れて行こうと思っていますが･･･, ジョエル，もし番組中におしゃべりをしないのなら, ですよ,		
	20	1		, so that you can see what goes on and the seriousness of bringing the news every day, every night,	その時に，何が行われているのか, 毎日毎晩ニュースを伝えるということの真剣さ,		
	25	1		and the importance of being accurate. All right?	そして正確であることの重要性などを見ることが出来るでしょう. いいですか.		
	30	5c		But, well done. Give them another round of applause. (clap) And now,	でも，よく出来ました. みんな，もう一度拍手をしましょう. (拍手)		

					それでは,		
	35	2		we are gonna look at the last group there. If you could come to the side here, please?　Back over here, Karis and company.	最後のグループを見てみましょう. 君たち，こっちの隅に来てください. カリスのグループ，こっちに戻ってください.		
	40	1		Stand by. Five, Very good, Norah.	スタンバイ. 五, ノーラ，いいですよ.		
	45	1		Four, three, Two.	四，三, 二,		
	50	1		Standing by. One	スタンバイ, 一		
	55	2		And in your positions, please. Begin.	位置についてください. 始め.		
47	0		8b			(A pupil sings a theme song)	(生徒，テーマ音楽を歌う)
	5		8b			Good Morning. I'm Feisal Ahmed I'm Mohamed Ali We are reporting live news.	おはようございます. ファイサル･アハメドです. モハメド･アリです. 生放送でニュースをお届けしています.
	10		8b			There has been a tragic incident in	ロンドンのストックウェル

						London, at Stockwell.	で悲惨な事件がありました.
	15		8b			A boy has been shot to death five times.　Now we are going to Geraldine ?	少年が5回銃で撃たれ，死亡しました.　それではジャラルディン・？に中継します.
	20		8b			Hello, Mr. Bob ?	ボブ・？さん，こんにちは.
	25		8b			How do you feel seeing your boy being dead shot.	息子さんが銃で撃たれて死亡するところを目撃したということですが，今のお気持ちは？
	30		8b			I felt really, really sad. My own boy was shot by some horrible, horrible person.	とても，とても悲しく感じました. 私の息子はひどい，ひどい人間に銃で撃たれました.
	35		8b			Your boy ? No.	息子さんは？ いいえ.
	40		8b			Did you go to ? Yeah.	？には行きましたか？ ええ.
	45		8b			How old was the boy? Only eight.	息子さんは何歳でしたか. たったの8歳です.
	50		8b			? ?	? ?

	55		8b			Oh, no. There are horrible people in this world.	いいえ．　この世界にはひどい人間がいます．
48	0		8b			Did he have a criminal record? No.	息子さんを撃った男は犯罪歴がありましたか． いいえ．
	5		8b			Does anyone hate you? No.	あなたは誰かに恨まれているということはありませんか． いいえ．
	10	5b	8b	Focus. What did he say?	集中して． 彼はなんと言いましたか？	We go back to you, Feisal Ahmed and Mohamed Ali.	それでは，ファイサル･アハメドとモハメド・アリに戻します．
	15		8b			Thank you, ?. Now, for the weather.	?，ありがとうございました． では，お天気です．
	20		8b			I'm ? ? and reporting the weather.	？・？です．お天気をお伝えします．
	25		8b			As you see, north in Scotland, there is a lot of snow,	ご覧の通り，北部のスコットランドでは，
	30		8b			especially in the hills and mountains. And further down in England, around Birmingham,	特に丘陵地や山間部で雪が多いでしょう． 下ってイングランドのバーミンガム周辺

							では
	35		8b			lots of rain. Once we go to the south-east in Wales, there are lots of sunny spells. And that's the weather today.	雨が多いでしょう. 南東のウェールズに行きますと，本日は
	40		8b			there are lots of sunny spells. And that's the weather today.	広範囲で晴れ渡るでしょう. 以上，本日の天気予報でした.
	45		8b			(Sings a theme song)	(生徒，テーマ音楽を歌う)
	50	5c		Very good. Loud applause.	よく出来ました. 大きな拍手.		
	55	2		Right. Can you all come back to the desks, please?	結構. みんな机に戻ってください.		
49	0	1		And we are going to evaluate, we are going to assess what you've done.	これから今日やったことの評価（反省）を行います.		
	5		7a			(Pupils moves to the desk)	(生徒，机に移動)
	10		7a				同様
	15		7a				同様
	20		7a				同様
	25	2	7a	OK.　Everybody back at their	OK. みんな席に戻ってください.		同様

				seats, please. Thank you.	ありがとう.		
	30	5b	7a	Come on.	さあ.		同様
	35	5c	7a	Right.	結構.		同様

■英国の授業映像を見て，日本の授業との違いと教師の授業デザインについて話し合いなさい.

カテゴリー・システム

自発	教師の始めた会話	1　提示			
		2　指示			
		3　せまい質問			
		4　広い質問			
応答	教師の反応	5　受容	5a	アイデア	
			5b	行動	
			5c	感情	
			5d	視聴	
		6　拒否	6a	アイデア	
			6b	行動	
			6c	感情	
応答	児童の反応	7　反応	7a	対　教師	予測可能
			7b		予測不能
			7c	対　児童	
			7d	感情	
		8　活動	8a	個人	
			8b	グループ	
		9　視聴	9a	対　教師	
			9b	対　児童	
		10　拒否	10a	対　教師	
			10b	対　児童	
自発	児童の始めた会話	11　発言	11a	対　個	
			11b	対　全体	
その他		12　沈黙			
		Z　無関係			

図２０　カテゴリー・システム

■コミュニケーション分析におけるカテゴリー項目の設定について，過去の研究経過を調べなさい.

（４）授業分析

撮影した授業の多視点映像から，コミュニケーション分析を行った．図２０であらかじめ設定したカテゴリー・システムに基づき，教師と生徒の発言・活動を分類し，相互関係をマトリックスで示すことにより，授業における教師と生徒のコミュニケーションの特徴を導いた．

データの個数 / 先	後の発言																								
先の発言	1	2	3	4	5a	5b	5c	5d	6a	6b	6c	7a	7b	7c	8a	8b	9a	9b	10a	10b	11a	11b	12	Z	総計
1	57	21	5	3		1	8					3		2		4					1				105
2	13	23	8	2	1	1	13				1		1	13		12					1				89
3	6	2	8			1	5					12	2			3									39
4			1	1								2	7	1											12
5a		1	1																		3				5
5b	1	2	1		1	1	2									1									9
5c	11	19	3	2		2	8						1	4		9					3				62
5d	1	2	1	1			1		1				2												9
6a	1								2																3
6b		1																							1
6c		1					1				1														3
7a	3	2	3	1			1	6				3	1												20
7b		1	3	1	1	1	3	2					3	1									1		17
7c	2	2	3	1			12			1	1			21											43
8a																									0
8b	9	8	2			1	8							1		229									258
9a																									0
9b																									0
10a																									0
10b																									0
11a		4			1	1	1	1																	8
11b																									0
12					1																				1
Z																									0
総計	104	89	39	12	5	9	63	9	3	1	3	20	17	43	0	258	0	0	0	0	8	0	1	0	684

領域の説明（VICS）

データの個数 / 先	後の発言																								
先の発言	1	2	3	4	5a	5b	5c	5d	6a	6b	6c	7a	7b	7c	8a	8b	9a	9b	10a	10b	11a	11b	12	Z	総計
1	A				B							C											U		105
2																									89
3																									39
4																									12
5a	D				E				F			G													5
5b																									9
5c																									62
5d																									9
6a					H				I			J													3
6b																									1
6c																									3
7a	K				L				M			N									O				20
7b																									17
7c																									43
8a																									0
8b																									258
9a																									0
9b																									0
10a																									0
10b																									0
11a	P				Q				R			S									T				8
11b																									0
12	U																								1
Z																									0
総計	104	89	39	12	5	9	63	9	3	1	3	20	17	43	0	258	0	0	0	0	8	0	1	0	684

図

図２１　分析結果（マトリックス表）

領域の説明	
A	情報や意見の提示、指示、質問など教師のはじめの発言。教師が長い間はなし続けていることが特徴。教師と生徒間の相互作用を示す領域ではない。
B	教師のはじめの発言に受容か拒否に入る。教師の応答としての発言が続いていることを意味している。
C	教師のはじめの会話に続く生徒の会話すべての会話が含まれる。
D	教師の応答としての発言に続いて、教師のはじめの発言がなされている。
E	教師の受容行動の継続を示す。アイディア、行動、感情の広範な受容と、これらの言語的なパターンのいずれかから他のパターンへの移行も含まれる。
F	教師の受容行動に続いて、教師の拒否行動が生じている。
G	教師の受容的発言に続く生徒の発言を示す。
H	教師の拒否行動に続いて、教師の受容行動が生じている。
I	教師の側の広範囲にわたる拒否行動が含まれる。アイディア、行動、感情の拒否と、これらの行動のいずれかから他のパターンへの移行も含まれる。
J	教師の拒否的な発言に続く生徒の発言すべてが含まれる。
K	生徒の応答行動に続いて、教師のはじめの行動を指す。
L	生徒の応答に、教師の受容が続いている。
M	生徒の応答を教師が拒否している。
N	教師、あるいは他の生徒に対する生徒の広範な応答、または活動を示す。
O	生徒の応答発言に生徒のはじめの発言が続いている。
P	生徒のはじめの行動に教師のはじめの行動が続いている。
Q	生徒のはじめの会話に続いて、教師の受容がなされる。
R	生徒のはじめの会話に対する教師の拒否を示す。
S	生徒のはじめの発言に続いて、生徒の応答としての発言がなされている。
T	教師あるいは他の生徒に向けての生徒のはじめの発言が含まれる。
U	沈黙か混乱を表す領域。

図２２　各領域の説明

領域の特徴から，授業の特徴を考察すると，

・Ｎの領域では，児童・生徒の活動が，229 ポイントと非常に多いことが分かる．このことから，本授業の多くが生徒の自主的な活動であったと分かる．

・Ｄの領域は，これらのＮの活動が教師の指示によって主体的に行われていることが分かる．

・Ｃの領域で，児童・生徒も，自主的な発言をしていることが読み取れる．

つまり，総合的に今回の授業の特徴をみると，教師の指示により児童・生徒が積極的に発言し，自主的に活動している授業であることが分かる．実際，本授業は，教師の指示により，自主的に活動している授業であったことからも，これらの分析結果には頷ける．

■コミュニケーション分析

コミュニケーション分析から，どのようなことがわかりましたか.

マトリックス表から英国の授業の特徴を４つ記述しなさい.

（1）

（2）

（3）

（4）

■この他の授業分析を行って，英国における授業の特徴を検討しなさい．また，英国の教育の現状を考察して，このような授業（ドラマ）が開発されたか，その背景を議論しなさい.

第３章　今後の課題

授業を多視点でデジタル・アーカイブし，長期保存を考えた授業アーカイブにおける関連教育資料の構成について報告した．授業アーカイブとは，単に，授業のビデオを撮影記録することではなく，これらの関連教育資料を総合的に収集・管理・保管することである．そして，教員を目指す学生を対象とし，授業アーカイブされた多視点映像による授業分析の実践から授業研究のための教材を開発研究してきた．このことにより，学生の授業分析の教材として，国内外の授業をアーカイブし，授業アーカイブとして長期保管することにより，様々な授業を後世にも伝えていくことが可能となる．ここでは，日本と英国の授業を多視点同時撮影することにより多視点映像として教材化し，定量分析することにより，実践的な教員養成での活用効果について報告した．

本研究における成果として，以下の３点を挙げる．

第一に，授業撮影において実践したことを通して，授業アーカイブには５つの視点による多視点同時撮影が必要であり，授業分析に有効に活用できることが分かった．本研究では，４方向からのカメラと教師を追うカメラを設置して，計５台のカメラによる多視点映像記録を行った．授業は，教授者と学習者によって成り立つ．そのため，授業分析を行う際，教師と児童全体のどちらも網羅的に記録することが必要である．そのために，この５つの視点が最低限必要になると考える．撮影方法では，主に児童の様子を記録する４台は，子どもの目線に近い高さで設定し，中心からの距離と画角の大きさを同じにして撮影することが重要である．今後はさらに必要な授業映像記録の視点を考え，撮影の方法とそれらの多視点映像記録を活用した授業分析を研究していきたいと考える．

第二に，授業アーカイブにおいて関連教育資料は，P（計画），D（実施），C（評価），A（改善）の４つの領域に体系的に構成することが効果的であると分かった．授業づくりには，常に向上心をもち，反省と実践を繰り返して授業改善する姿勢が必要である．授業は，日々省察を繰り返して改善を図っていく活動であるため，関連教育資料は，改善システムである PDCA サイクルによって構成することで，授業研究により役立てることができる．そして，関連教育資料をこのように総合的に構成し保存しておくことで，現在行われている授業，授業研究を後世にも有効に伝えていくことができる．今後は特に，C（評価）段階で授業分析した結果を，A（改善）段階の内容として，いかに反映させるか，という点について検討していくことが課題である．

第三に，外国の授業をアーカイブする場合は特に，教育制度や教育の動向などの情報を収集・整理しておくことが重要な意味を持つということを深く認識できた．社会情勢を踏まえ，日本の教育と共通する点，異なる点を把握しておかなければ，本当に外国の教育から学ぶことはできない．諸外国の授業を見学し単にその国の教育を学ぶだけでなく，そのような視点をもって授業アーカイブに臨むことで，諸外国だけでなく日本の教育の特徴や

良さをも再確認できる．

英国での授業撮影，授業分析を通して，我が国の授業の特質や諸外国の授業との差異を分析した．このような分析をすることで，授業を見る視野を広げることができるため，教員としての実践的な力量を付けるためには，諸外国の教育から学ぶことは必要なことである．

授業分析は教員に必要な実践的指導力を身に付けるために，有効な手法であると実感的に学びとることができる．実践的指導力を身に付けていくことは，教員として重要な課題である．授業を繰り返し行っていくことで教師としての力量は高められていく．その日々の授業実践を省察し，「経験知」の蓄積から「暗黙知」としての授業力，実践的指導力を向上させていくため，授業分析を行うことは重要である．したがって，授業分析の手法を習得しておくことが必要になる．授業分析を行うことで，分析結果と授業との間の関係性を見る訓練にもなり，授業中の些細な言動による効果や児童の小さな変化まで注目できるようになる．

授業分析の手法には様々なものがある．客観的な資料に基づき，複数の手法を用いて授業研究を行っていくことにより，一つの授業分析だけでは見えない事象を補い合うことができ，より深い授業研究を行うことができると考えられる．今後，教員養成の段階で授業分析を学ぶ機会が設けられなければならない．授業研究が教師の暗黙知の獲得を促進し，力量向上につながるという認識が広まれば，授業研究に主体的に取り組む教師が多くなる．

最後に，本研究は文部科学省の科学研究費補助金基礎研究（B）（課題研究番号 20300278）を受けて進めていることを，感謝をもってここに付記する．

参考文献

1)千々布敏弥：日本の教師再生戦略　教育出版（2005）

2)東京都教育委員会：小学校教諭教職課程カリキュラムについて（2010）

3)生田孝至編：子どもに向き合う授業づくり　図書文化（2006）

4)宮城倫：教育実践資料の長期保存と授業研究に必要なデジタル・アーカイブの構成について（2010.2）

5)神奈川県立総合教育センター：授業改善のための授業分析ガイドブック（2008）

6)河野義章：授業研究法入門　図書文化（2009）

（1979）P61-71

7)野津良夫：フランダース授業分析と TRR　島根大学教育学部紀要（教育科学）第 13 号

8)日本教育方法学会編：Lesson Study in Japan 日本の授業研究　上巻　学文社（2009）

9)日本教育方法学会編：Lesson Study in Japan 日本の授業研究　下巻　学文社（2009）

10)三重県教育委員会：英国教育改革調査報告書（2004）

11)吉田多美子：イギリス教育改革の変遷－ナショナル・カリキュラムを中心に－（2005）

12)OfSTED：Inspection Report（英国オフステッドによる撮影校の視察報告）

http://www.ofsted.gov.uk/oxedu_reports/display/(id)/72023　（2006）

13)ナショナル・カリキュラム　http://curriculum.qcda.gov.uk/

14)イギリス教育水準局(OfSTED)の学校監査の概要

www.kantei.go.jp/jp/singi/kyouiku/1bunka/dai3/siryou5-4.pdf

15)イギリス サッチャーの教育改革

http://www.h5.dion.ne.jp/~hpray/kyouikumondai/kyouiku-kaikaku/00-uk-edu.html

16)学校評価の推進に関する調査研究協力者会議（第２回）配付資料

www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/037/shiryo/06092508/002/003.pdf

17)久世・斎藤・松本・川田：学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【Ｖ】

－実践的な教師力を養成するための教材研究－（2009.7）

18)市川・丸山・斎藤・松本・久世：学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【Ｘ】－授業研究のための多視点映像教材の開発－（2009.11）

19)市川・丸山・斎藤・松本・久世：学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究

【１４】－授業研究のための映像教材の研究－（2010.2）

20)長慶寺・阿部・齋藤・松本・久世：子どもの生活リズム向上のための学習活動－太陽や影の位置の変化を調べる体感観測プログラムの試行－（2009.10）

21)長慶寺・阿部・齋藤・松本・林・久世：オンデマンドと双方向遠隔授業を融合した授業設計［Ⅱ］－「動く紙おもちゃ作り」における親子の意識調査とその分析－（2009.11）

22)阿部・長慶寺・齋藤・松本・林・久世：オンデマンドと双方向遠隔授業を融合した授業設計［Ⅲ］－「動く紙おもちゃ作り」の教材化と意識の調査－（2009.11）

23)長慶寺・阿部・松井・二ノ宮・水端・東海・松本・齋藤・久世：オンデマンドと双方向遠隔授業を融合した授業設計［Ⅳ］－紙おもちゃ講座における親子のコミュニケーション分析－（2010.2）

24)齋藤・久世・長慶寺・阿部・松井・二ノ宮・水端：我が国と諸外国における授業のビデオ分析と教員養成への活用効果に関する研究【Ⅰ】～英国の授業デザイン分析手法の開発～（2010.7）
25)長慶寺・阿部・松井・二ノ宮・水端・齋藤・久世：学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【１６】－授業分析に必要な教育資料の構成と総合化－（2010.11）
26)阿部・長慶寺・松井・二ノ宮・水端・齋藤・久世：学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【１７】－多視点映像教材の流通と授業への活用－（2010.11）
27)水端・二ノ宮・松井・阿部・長慶寺・久世・齋藤：遠隔教育と学生メンターによる学習支援システム【１】～テレビ会議システムを用いた効果的な学習支援の構築～（2010.11）
28)松井・水端・二ノ宮・阿部・長慶寺・久世・齋藤：デジタル・アーカイブ手法による社会科地域素材の教材化【２】～メタ情報の管理を含めた地域素材のデータベース化～（2010.11）
29)二ノ宮・水端・松井・阿部・長慶寺・久世・齋藤：デジタル・アーカイブ手法による社会科地域素材の教材化【３】～地域の伝統・文化を「伝え合う」授業デザインの開発～（2010.11）
30)山田・長慶寺・阿部・齋藤・久世：学習者の特性を活かす教育用メディア端末に関する総合的研究【１】－教育用メディア端末とデジタル教材の開発に関する課題－（2010.11）